

# ユーザーガイド



# 目次

PrintShop Mail について	7
ようこそ！	7
Atlas Software について	7
連絡先情報	8
本社	8
米国、カナダ、南アフリカ	8
欧州およびアジア	8
PrintShop Mail ヘルプの使用方法	9
ヘルプ ディスプレイについて	9
[目次]、[索引]、[検索]、および [用語集] の各タブ	9
ハイパーリンクと関連トピック	9
ヘルプのナビゲーション ツールを使用する手順	9
目次	9
索引	9
検索	9
用語集	10
ハイパーリンク	10
関連トピック	10
PrintShop Mail をご使用になる前に	11
PrintShop Mail のインストール	11
準備作業	11
カスタム インストールを作成する手順	11
PrintShop Mail の新機能	13
PrintShop Mail のアップグレード	14
シングルユーザー ライセンス	14
マルチユーザー ライセンス (Windows のみ)	14
PrintShop Mail のアップグレード オプション	14
ハードウェア キーをアップグレードする手順	14
以前の PrintShop Mail 書類	15
はじめに	16
PrintShop Mail のインストール	16
ステップ ガイド	16
PDF ファイルの使用方法	17
プリンタ ドライバのインストール	18
ハードウェア キーのインストール	19
ハードウェア キーについて	19
ハードウェア キーをインストールする手順	19
操作方法	20
新規書類の作成	20
空白のレイアウトから作成する手順	20
レイアウトの内容を PDF ファイルまたは画像ファイルに基づいて作成する手順	20
デフォルトの設定	21
レイアウト サイズの指定	22
サイズの自動調整	22
固定レイアウト サイズ	23
データベースと書類のリンク	24
データベースを開く	24
データベースを開く手順	24
データベースの内容を参照する手順	24
データベースをソートする手順	24
データベースをフィルタリングする手順	25
データベースをソートする手順	26
データベースをフィルタリングする手順	27
SQL Server との接続	28
テキストの追加	32
バリエーション テキストの追加	32
バリエーション テキストについて	32
バリエーション テキストを追加する手順	32
バリエーションにデータベース フィールドを割り当てる手順	32
バリエーションをプレビューする手順	33
バリエーションのフォーマット	34
連番の作成	35
連番について	35
連番を作成する手順	35

画像の追加	37
固定画像とバリアブル画像を追加する	37
固定画像について	37
固定画像を挿入する手順	37
枠について	37
バリアブル画像について	37
バリアブル画像を挿入する手順	37
結果をチェックおよびプレビューする手順	40
レイアウト条件の設定機能の使用	41
レイアウト条件の設定機能について	41
レイアウト条件の設定機能を指定する手順	41
レイアウト条件を適用する場合	42
レイアウト繰り返し機能の使用	43
レイアウト繰り返し機能について	43
レイアウト繰り返し機能を指定する手順	43
優先順位について	44
用紙トレイ選択	44
用紙トレイ選択機能について	44
レイアウトを用紙トレイに関連付ける手順	44
印刷部数	46
印刷部数を設定する手順	46
数値のテキスト文字列	46
数値以外のテキスト文字列	47
書類の確認	49
書類の確認機能について	49
書類の確認を実行する手順	49
書類の保存	50
書類の保存機能について	50
書類を保存する手順	50
書類の印刷	51
印刷の基本	51
印刷について	51
印刷テクノロジー	51
特定の RIP タイプおよびベンダーに依存するテクノロジー	51
プリンタを設定する手順は次のとおりです。	51
印刷テクノロジーを選択する手順	51
テクノロジー固有オプションを指定する手順	52
[印刷] ダイアログ ボックスの設定	52
印刷テクノロジー	53
印刷テクノロジー	54
印刷テクノロジー	55
印刷テクノロジー	56
印刷テクノロジー	57
印刷テクノロジー	58
印刷テクノロジー	59
印刷テクノロジー	60
印刷テクノロジー	61
印刷テクノロジー	62
印刷設定	63
サブセット フィニッシング	64
サブセット フィニッシングについて	64
サブセット フィニッシングを使用する手順	64
自動印刷	65
自動印刷について	65
自動印刷	66
コマンドライン引数を使用する手順	66
ショートカットへのデータベースのドロップ	66
自動印刷	67
拡張スクリプトのジョブを作成する手順	68
データベース フィルタ	69
ジョブのスケジューリング	70
自動印刷	71
PrintShop Mail では、次の DDE コマンドをサポートしています。	71
自動印刷	72
HotFolder の使用方法	72
HotFolder の初期化	72
書類操作の基礎	73

アイテムのプロパティ.....	73
プロパティ パネル.....	73
プロパティ パネル.....	73
PDF ページのプロパティ.....	75
PDF ページのプロパティを指定する手順.....	75
バウンディング ボックスで位置を指定します.....	76
ボーダー ボックスで表示形態を指定します.....	76
コンテンツ ボックスで PDF 画像の属性を指定します.....	77
固定画像とバリアブル画像のプロパティ.....	78
画像のプロパティを指定する手順.....	78
バウンディング ボックスで位置を指定します.....	79
ボーダー ボックスで表示形態を指定します.....	79
コンテンツ ボックスで固定画像の属性を指定します.....	79
テキストのプロパティ.....	80
テキストのプロパティを指定する手順.....	80
バウンディング ボックスで位置を指定します.....	81
ボーダー ボックスで表示形態を指定します.....	82
コンテンツ ボックスでテキストの属性を指定します.....	82
印刷ボックスでテキストの色の設定を指定します.....	82
テキストのフォーマット.....	83
テキスト スタイル.....	83
テキスト スタイルについて.....	83
1 つ以上のテキスト オブジェクトにテキスト スタイルを適用する手順.....	83
テキスト スタイルを一連の文字に適用する手順.....	83
カスタムのフォント サイズを指定する手順.....	83
テキストの色を指定する手順.....	83
段落のスタイル.....	84
段落スタイルについて.....	84
テキストを整列する手順.....	84
タブ位置について.....	84
タブ位置を変更する手順.....	85
フォーマットのマーク.....	85
コピー フィットting.....	86
テキストを整列する手順.....	86
段落設定を変更する手順.....	86
項目一覧の作成.....	87
デフォルトのタブ位置を変更する場合は次の手順に従います.....	87
コピー フィットting.....	88
レイアウトの基本.....	89
レイアウトの基本.....	89
レイアウトについて.....	89
レイアウトを挿入する手順.....	89
現在の書類にあるレイアウトを追跡する手順.....	89
レイアウトを複製する手順.....	90
レイアウトを削除する手順.....	90
ガイド ライン.....	91
ガイド ラインについて.....	91
ガイド ラインを表示する手順.....	91
「吸着」距離を設定する手順.....	91
ガイド ラインを削除する手順.....	91
折り線.....	92
折り線について.....	92
折り線を追加する手順.....	92
ブリード マージン.....	93
ブリード マージンについて.....	93
各レイアウトにブリード マージンを追加する手順.....	93
裁ちトンボ.....	94
トンボについて.....	94
トンボを追加または除去する手順.....	94
アイテムの操作.....	95
アイテムの選択.....	95
アイテムを選択する手順.....	95
下に隠れているオブジェクトを選択する手順.....	95
選択範囲を拡張する手順.....	95
オブジェクトの移動とサイズの変更.....	96
マウスを使用してアイテムを移動する手順.....	96
キーボードを使用してアイテムを移動する手順.....	96

マウスを使用してアイテムのサイズを変更する手順	96
新しい寸法を入力してアイテムのサイズを変更する手順	97
アイテムのコピー	98
マウスを使用してオブジェクトをコピーする手順	98
クリップボードを使用してオブジェクトをコピーする手順	98
オブジェクトを複数のレイアウトに貼り付ける手順	98
アイテムの整列	99
アイテムを整列する手順	99
アイテムのアレンジ	100
アイテムをアレンジし直す手順	100
オブジェクトのロック	101
オブジェクトのロックについて	101
テキスト オブジェクトのリンク	102
テキスト オブジェクトのリンクについて	102
ツールバー リアファレンス	103
ツールバーの概要	103
[データベース] ツールバー	104
[データベース] ツールバーについて	104
[アイテム] ツールバー	105
(Windows のみ)	105
[アイテム] ツールバーについて	105
[標準] ツールバー	106
[標準] ツールバーについて	106
[テキスト フォーマット] ツールバー	107
[テキスト フォーマット] ツールバーについて	107
テキスト リンク	108
[テキスト リンク] ツールバーについて	108
[ツール] ツールバー	109
[ツール] ツールバーについて	109
Mac OS の場合	109
[ビュー] ツールバー	110
[ビュー] ツールバーについて	110
サポートされているファイル形式	111
サポートされているデータベース フォーマット	111
サポートされている画像フォーマット	112
プリファレンス設定	113
プリファレンス設定	113
プログラムのプリファレンス設定を指定する手順	113
全般プリファレンスについて	114
データベースに依存しない件数	114
表示形態のプリファレンスについて	114
印刷可能範囲	114
印刷ジョブの設定	115
印刷ジョブのプリファレンス設定を指定する手順	115
印刷ジョブのプリファレンスについて	116
繰り返し	117
繰り返しのプリファレンス設定を指定する手順	117
繰り返しのプリファレンスについて	118
面付け設定	119
面付けのプリファレンス設定を指定する手順	119
面付けプリファレンスについて	120
ブリード マージン	120
折り線	120
式の使用	121
PrintShop Mail 式ガイド	121
PrintShop Mail の式について	121
バリエーションへの依存	121
よく使用される式	123
PrintShop Mail 式ガイド	123
例	125
PrintShop Mail 式ガイド	126
カスタムの連番について	126
例	126
関数と演算子	127
PrintShop Mail 式ガイド	127
PrintShop Mail 式ガイド	129
バーコード関数	130

PrintShop Mail 式ガイド	130
バーコードの基本	130
密度	130
チェックサム	130
ーコードは、次のものに対して使用できます。	130
バーコードのフォント	131
次の表は、各バーコードで使用できるフォント名の例を表しています。	131
PrintShop Mail のフォント名の説明	131
バーコードの設定	132
Codabar	133
Code 128	133
Code 39	134
EAN-13	134
EAN-8	135
ITF (インターリーブド 2 of 5)	135
JAN13	135
JAN8	136
KIX	136
MSI Plessy	136
NW7	137
UPC-A	138
UPC-E	138
パラメータの説明	138
ローラン バーコード関数	140
PrintShop Mail 式ガイド	140
YuBar	140
レイアウト関数	141
PrintShop Mail 式ガイド	141
レイアウト関数について	141
レイアウト条件を編集する手順	141
Blank	141
Print	141
Skip	141
論理関数	143
PrintShop Mail 式ガイド	143
AND (ブール演算子)	143
FALSE (ブール演算子)	143
FILE_EXIST	143
IF (ブール演算子)	143
NOT (ブール演算子)	144
OBJECT_EMPTY	144
OR (ブール演算子)	144
True (ブール演算子)	144
数値関数	145
PrintShop Mail 式ガイド	145
ABS (絶対値)	145
CHR	145
COUNTER	145
DIV	146
INT (整数)	146
MOD	146
PAGE_NR	146
RECORDNUMBER()	147
ROUND	147
SGN	147
STR	147
VAL	147
文字列関数	148
PrintShop Mail 式ガイド	148
ASC	148
CONTAINS	148
DATE	149
LEFT	150
LEN	150
LOWER	151
LTRIM	151
MID	151
POS	151
PROPER	151

REPLACE.....	152
RIGHT .....	152
RTRIM.....	152
TEXT_FILE.....	152
TODAY .....	152
TRIM.....	153
UPPER.....	153
Macintosh ショートカット .....	154
Windows のショートカット.....	156
使用許諾契約.....	158
用語集.....	160



## PrintShop Mail について

PrintShop Mail ユーザー ガイド

# PrintShop Mail

### ようこそ！

PrintShop Mail は、情報フローの最適化を目指す一流ソフトウェア ベンダーのAtlas Software B.V.社の製品です。

PrintShop Mail は、パーソナライズされた印刷タスクをすばやく簡単に実行します。データベース情報は書類のレイアウトに統合され、書類は任意のレイアウトやデザインで作成できます。また任意のデータベース フォーマットも使用できます。

データベース フィールドを書類レイアウトにドラッグ アンド ドロップするだけで、データベース フィールドと作成した書類がリンクできます。PrintShop Mail ではその結果をただちにプレビューでき、この機能は強力なリソース チェックのオプションとなっています。

データベースからのバリエーション情報は、印刷中にそのつどプリンタに送信されます。ジョブの固定部分を繰り返し切り取る必要はありません。そのため、印刷プロセスが大幅に短縮されネットワークの渋滞が回避されます。

また、PrintShop Mail では、RIP の機能によってお使いの PostScriptR プリンタで、定格またはほぼ定格のスピードで印刷することができます。そのため、バリエーション情報の印刷は効率的なプロセスとなります。

### Atlas Software について

Atlas Software 社は、パーソナライゼーションを通して印刷通信の最高の価値の達成を約束します。

Atlas Software 社は 1989 年にオランダで設立され、国内に研究開発機関があります。Atlas Software 社との提携関係によってデジタル プリント機能の強化に取り組む何社かの企業を次に紹介します。

- AHT
- Canon
- Creo
- Danka
- EFI
- Heidelberg
- Konica
- Nexpress
- Océ
- Xeikon
- Xerox

★ご質問等がありましたら、当社にお問合せください。





## 連絡先情報

PrintShop Mail ユーザー ガイド

### 本社

Atlas Software B.V.  
Daltonstraat 42-44  
3846 BX Harderwijk  
オランダ

### 米国、カナダ、南アフリカ

フリーダイヤル : 1-877-647-8715

営業窓口  
sales@printshopmail.com

テクニカル サポート  
support@printshopmail.com

### 欧州およびアジア

Atlas Software B.V.  
Daltonstraat 42-44  
3846 BX Harderwijk  
オランダ  
電話 : +31 (341) 426 700  
ファックス : +31 (341) 424 608

営業窓口  
sales@printshopmail.com

テクニカル サポート  
support@printshopmail.com

### オブジェクティブ・ルーン株式会社

〒103-0014  
東京都中央区日本橋蛸殻町2-2-2  
関口ビル6F  
PrintShop Mail サポート・デスク  
TEL: (03) 5847-2450  
FAX: (03) 3664-2475  
Eメール・アドレス: support@jp.objectiflune.com  
URL: www.objectiflune.com/japan



## PrintShop Mail ヘルプの使用方法

PrintShop Mail をご使用になる前に

このページでは、PrintShop Mail オンラインヘルプの使用方法に関するヒントを紹介します。

### ヘルプ ディスプレイについて

このヘルプ システムでは、いくつかのナビゲーション ツールが使用できます。ヘルプは左右のフレームに分かれています。右側のフレームには実際のテキストおよびナビゲーション エイドが表示され、左側のフレームにはナビゲーション エイドの本体が表示されます。左側のフレームの上部には次の 4 つの選択可能なオプションがあります。

- **表示/非表示** : コンテンツの表示または非表示
- **戻る** : 選択した前のトピックを表示
- **進む** : 選択した次のトピックを表示
- **印刷** : 1つ以上のトピックの印刷

### [目次]、[索引]、[検索]、および [用語集] の各タブ

左側のフレームには、次のタブがあり、各タブからそれぞれのナビゲーション エイドにアクセスできます。

- 目次
- 索引
- 検索
- 用語集

### ハイパーリンクと関連トピック

右側のフレームには、次のナビゲーション エイドがあります。

- ハイパーリンク
- 関連トピック

### ヘルプのナビゲーション ツールを使用する手順

#### 目次

**注** : 目次はデフォルトで表示されます。他のナビゲーション エイドにアクセスする場合は、対応するナビゲーション タブをクリックしてください。

1. 選択されていない場合は **[目次]** タブをクリックします。  
左側のフレームに目次が表示されます。目次は、本のアイコンの付いたツリー構造で表現されます。「本」は階層状に編成されています。
2. 本のアイコンをクリックします。
3. ページのアイコンをクリックします。  
右側のフレームに、対応するヘルプのテキストが表示されます。

#### 索引

1. **[索引]** タブをクリックします。
2. テキスト ボックスに、情報を求めているキーワードの最初の文字をいくつか入力するか、キーワード全体を入力します。次の一覧から入力された文字で始まる最初の語句にジャンプします。  
選択されたキーワードは強調表示されます。
3. 選択を絞り込むために、さらに文字の入力を続けるか、正しいキーワードが特定できる場合はそれを入力します。
4. **[表示]** をクリックします。  
右側のフレームに、対応するヘルプのテキストが表示されます。

#### 検索

1. **[検索]** タブをクリックします。  
**[検索]** タブ シートの上部に、キーワードを入力できるボックスがあります。
2. **[トピックの一覧表示]** ボタンをクリックします。  
キーワードを含むトピックの一覧が表示されます。
3. 目的のトピックをクリックします。
4. **[表示]** をクリックします。

右側のフレームに、ヘルプのテキストが表示されます。選択されたキーワードは強調表示されます。

## 用語集

1. **[用語集]** タブをクリックすると、PrintShop Mail の用語が表示されます。
2. 一覧にある用語をクリックすると、その定義が表示されます。

## ハイパーリンク

ヘルプのテキストにはハイパーリンクが含まれています。下線が付いたテキストがハイパーリンクです。下線が付いたテキストをクリックするとヘルプのトピックを参照できます。

## 関連トピック

**[関連トピック]** ボタンを使用して、類似のテーマを扱うトピックにアクセスできます。

**[関連トピック]** ボタンをクリックします。

- 関連トピックが 1 つのみの場合は、ただちにそのトピックが表示されます。
- 複数の関連トピックがある場合は、メニューが表示され選択することができます。

# PrintShop Mail をご使用になる前に



## PrintShop Mail のインストール

PrintShop Mail をご使用になる前に

### 準備作業

PrintShop Mail を Windows 2000、XP または 2003 が搭載されたコンピュータにインストールする場合は、インストールプログラムを実行する前に、完全な管理者権限を持つユーザーとしてログインしていることを確認してください。

### PrintShop Mail をインストールする手順

#### Windows の場合

1. CD-ROM 上のsetup.exeファイルを見つけます。
2. このファイルをダブルクリックし、インストール ウィザードを起動します。
3. インストール手順で使用する言語を選択します。
4. [OK] をクリックします。
5. [次へ] をクリックします。
6. 使用許諾契約を読み、「**使用許諾書の条項に同意します**」を選択します。（「**使用許諾契約の条項に同意しません**」を選択した場合は、インストールは停止します。）
7. [次へ] をクリックします。
8. PrintShop Mail をコンピュータを使用するすべてのユーザーに使用を許可するか、現在のユーザーのみに使用を許可するか指定します。
9. [次へ] をクリックします。
10. セットアップのタイプとして、[すべて] または [カスタム] を選択します。
  - [すべて] を選択した場合は、すべての必要なプログラム機能がインストールされます。このオプションは、すべての使用可能な言語をインストールします。
  - [カスタム] を選択した場合は、次の画面でプログラム機能を選択または削除してください。

#### カスタム インストールを作成する手順

1. ハード ディスクのアイコンをクリックすると、選択された機能について次の 4 つの選択肢が表示されます。
  - この機能はローカル ハード ドライブにインストールされます。
  - この機能およびすべての下位機能はローカル ハード ドライブにインストールされます。
  - この機能は必要に応じてインストールされます。
  - この機能は使用できません。
2. 目的のオプションを選択します。
3. デフォルトのインストール ディレクトリを変更する場合は、[変更] をクリックして、PrintShop Mail のインストール ディレクトリを選択します。

いずれを選択した場合も、インストール設定を確認するオプションがあります。

11. 目的のオプションを設定後、[次へ] をクリックします。
12. [インストール] を押して、インストール ウィザードを続行します。
13. [完了] をクリックします。

#### Mac OS の場合

1. CD-ROM にある PrintShop Mail インストーラを見つけます。
2. このファイルをダブルクリックし、インストール ウィザードを起動します。PrintShop Mail の起動画面が表示されます。
3. [続行] をクリックします。
4. 使用許諾契約を読み、「**使用許諾書の条項に同意します**」を選択します。（「**使用許諾契約の条項に同意しません**」を選択した場合は、インストールは停止します。）
5. [続行] をクリックします。
6. デフォルトでは、PrintShop Mail はアプリケーション フォルダにインストールされます。または、PrintShop Mail のインストール先を別々に選択することもできます。
7. [続行] をクリックします。

8. 次のいずれかの **[インストールのタイプ]** を選択します。

**イージー インストール** : 必要なプログラム機能がすべてインストールされます。

**カスタム** : 特定のプログラム機能を選択できます。

9. **[インストール]** を押して、インストール ウィザードを続行します。
10. インストールが成功したことを示すダイアログが表示されます。インストーラを終了する場合は **[終了]** をクリックします。他にインストールを行う場合は、**[続行]** をクリックします。  
ハードウェア キーは、このウィンドウからインストールすることも、後でインストールすることもできます。この機能の詳細は、ハードウェア キーのインストール。
11. すべての機能が「PrintShop Mail」というフォルダにインストールされます。



## PrintShop Mail の新機能

PrintShop Mail をご使用になる前に

各見出しをクリックすると、新機能についての情報が表示されます。

### Windows の場合

#### ユーザー インターフェイス

- ユーザー インターフェイスのデザインが一新され、いっそう使いやすくなりました。
- ハードウェア キーをアップグレードする場合、システムで使用している言語でアップグレード ページが表示されます。
- [プロパティ パネル] も新しくなり、オブジェクトを選択するだけで、A0;PrintShop Mail のすべての要素 (テキスト、画像、レイアウト、変数) を簡単に表示および編集できるようになりました。A0;
- [プロパティ パネル] では、ページの方向を表す新しいプロパティが、[ページ サイズ] に追加されました。A0;
- オンライン ヘルプは、アプリケーションのどの場所からでも使用できます。
- データベース ファイル名の情報が、データベース パネルに追加されました。
- 大容量のデータベースを開くと、進行状況を表すウィンドウが表示されます。
- 書類を開くと、警告一覧が生成され表示されます。この一覧で、デフォルトにリセットされている設定、およびデフォルトにリセットされた理由を確認できます。

#### オブジェクト

- A0;すべてのオブジェクトに名前を定義できるようになったため、書類の管理が簡単になりました。
- A0;テキスト オブジェクト内でフォーマットのマークの表示/非表示を切り替えることができます。A0; フォーマットのマークは、改行、タブおよびスペースです。デフォルトでは、PrintShop Mail を起動直後は、すべてのフォーマットのマークは非表示になっています。
- 変数に対して DATE フォーマットを設定すると、[プロパティ パネル] に例が表示されます。
- 同じコンピュータの別の場所、またはネットワーク内のコンピュータに移動した PrintShop Mail の書類を開こうとすると、不明なファイルのため、要求しているファイルの名前を示すよう要求されます。A0;

#### バリエーション

- 他の式の結果を再利用して、式を簡潔にすることができます。つまり、@variable 2@ の式の中にA0; @variable1@ を追加して式を簡単にできます。
- PrintShop Mail のライセンスで、JAN および NW7 のバーコードをサポートしています。

#### 印刷

- スクリプトが拡張され、スクリプト ファイルの使用に対して新しいコマンドが追加されています。"SetPrintTech <tech>"を使用すると、現行の印刷テクノロジーを変更できます。
- プリンタの設定は、PrintShop Mail の書類の中に格納されています。

### Mac OS の場合

#### ユーザー インターフェイス

- ハードウェア キーをアップグレードする場合、システムで使用している言語でアップグレード ページが表示されます。

#### オブジェクト

- 縦書きテキストのサポートがA0;追加されました。

#### 書類

- デザインの問題を事前にチェックするために、印刷前に [書類の確認] を使用できます。
- PrintShop Mail バージョン 4.3.x ( Mac OS 9.0 以前) で作成した PrintShop Mail 書類を開いて、保存したり印刷したりできます。
- [プリファレンス] > [繰り返し] で繰り返しの設定をプレビューすることができます。

#### バリエーション

- PrintShop Mail のライセンスで、JAN および NW7 のバーコードをサポートしています。
- KIX バーコードのサポートが追加されました。
- ページ番号を挿入できるようになりました。この関数は、メニューからもコールできます ([挿入] > [ページ番号])。

#### 印刷

- プリンタの設定は、PrintShop Mail の書類の中に格納されています。



## PrintShop Mail のアップグレード

PrintShop Mail をご使用になる前に

PrintShop Mail の一定の機能、たとえば、特定の印刷テクノロジーまたは自動印刷機能を使用するには、ハードウェア キーをアップグレードする必要があります。アップグレード手順を実行する場合、アプリケーションが使用可能なアップグレード オプションを検出しますので、そこから選択ができます。

Atlas Software BV は、シングルユーザー ライセンスとマルチユーザー ライセンス、およびネットワーク ライセンスを提供しています。



正式な小売価格については、プリント ショップ メール の Web サイトにアクセスして、[今すぐ注文/価格表] をクリックしてください。

### シングルユーザー ライセンス

Atlas ではシングルユーザー ライセンスのバージョンを提供しています。これは、レコード全体、または次の特定数のレコードに対してプログラムされています。

1. Unlimited または Professional バージョンは、無制限のレコード数を印刷できます。
2. Limited または Standard バージョンは、200,000 件のレコードを印刷できます。

### マルチユーザー ライセンス (Windows のみ)

マルチユーザー ライセンスでは、複数のユーザーが PrintShop Mail のジョブを、LAN 内のプリンタに対して同時に印刷することができます。

マルチユーザー ライセンスのすべてのバージョンでは、無制限のデータベース レコード数をマージできます。

### PrintShop Mail のアップグレード オプション

アップグレード オプション	PrintShop Mail 5 アップグレード			
PrintShop Mail バージョン アップグレード	Windows		Macintosh	
PrintShop Mail 98	はい		使用不可	
PrintShop Mail 4.X	はい		はい	
PrintShop Mail Product アップグレード	Windows		Macintosh	
Standard から Professional へ	はい		はい	
テクノロジー アップグレード	Windows		Macintosh	
	<b>標準</b>	<b>Production</b>	<b>標準</b>	<b>Production</b>
VIPP	使用不可	はい	使用不可	はい
自動印刷	使用不可	はい	使用不可	使用不可

### ハードウェア キーをアップグレードする手順

[ヘルプ] メニューで、次の 3 つのアップグレード オプションを選択できます。

- バウチャA0;
- アップグレード要求
- ドングル稼働

#### バウチャ

Atlas Software、代理店またはパートナーから提供された PrintShop Mail のバウチャ番号がある場合は、[バウチャ] オプションをクリックします。PrintShop Mail のバウチャ Web ページが開きます。ここで、バウチャ番号、および要求を確認するための追加情報を入力します。

#### アップグレード

クレジットを追加したい、バージョンをアップグレードしたい、SMA (サービス メンテナンス) を追加したい、またはドングルに

対して他のオプションを追加したい場合は、[アップグレード] オプションをクリックします。PrintShop Mail の アップグレード ページが開きます。ここで必要なオプションを選択し、要求を確認するための追加情報を入力します。

#### **ドングル稼働**

パウチャまたはアップグレード要求から (電子メールで) Authorization コードを返す場合は、[ドングル稼働] 画面にコードを入力します。次に [ドングル稼働] オプションを選択して、[稼働] をクリックします。

ハードウェアのキー情報を表示するには、[ヘルプ/クレジット情報] を選択します。

[アップグレード] オプションは、PrintShop Mail ハードウェア キーが、ご利用のシステムに装着されている場合にのみ有効です。

### **以前の PrintShop Mail 書類**

新しいバージョンの PrintShop Mail は、既存の PrintShop Mail 書類を読み込むことができますが、以前のバージョンで作成された PrintShop Mail 書類は、PrintShop Mail の新しいフォーマットを認識できません。詳細は次の項を参照してください。書類の保存方法 .



**PrintShop Mail の新しいバージョンを認識するには、ハードウェア キーをアップグレードする必要があります。**





## はじめに

### PrintShop Mail ユーザー ガイド

ここでは、PrintShop Mail のインストールおよびPrintShop Mail 書類の作成の基本的な手順を紹介します。

このステップ ガイドの内容は、各トピックをクリックして参照してください。

#### PrintShop Mail のインストール

- PrintShop Mail での Adobe PDF ファイルの使用
- インストール手順

#### ステップ ガイド

- 新規書類の開始
- データベースのオープン
- 固定画像とバリエーション画像の挿入
- バリエーション テキストの作成
- レイアウト条件の設定 (「ページ ピッキング」ともいいます)
- 用紙トレイ選択
- レイアウト繰り返し機能の使用
- レイアウトの確認
- 書類の保存

PrintShop Mail 書類の作成と確認が完了すると、次は印刷です。

- 印刷テクノロジーの選択
- 印刷オプションの設定



## PDF ファイルの使用方法

PrintShop Mail をご使用になる前に

PrintShop Mail で PDF (Portable Document Format) を使用するには、Adobe Acrobat のインストールが必要です (Windows のみ)。

PrintShop Mail は、Adobe Acrobat バージョン 5.x 以降に対応します。

価格については、最寄のソフトウェア販売店にお問い合わせください。

Adobe のWebサイトのアドレスは次のとおりです。www.adobe.com

**注 (Mac OS のみ):** コンピュータに Acrobat をインストールする必要はありません。PDF ファイルの表示および印刷は Mac OS X システムによって処理されます。



## プリンタ ドライバのインストール

PrintShop Mail をご使用になる前に

PrintShop Mail での PostScript の出力には、PrintShop Mail が PostScript のプリンタ ドライバと通信する必要があります。Adobe または Microsoft PostScript プリンタ ドライバの使用をお勧めします。

### Adobe PostScript Driver

Adobe PostScript Driver を使用してプリンタをインストールするには、AdobePS インストーラと PPD (PostScript Printer Description) ファイルが必要です。

PrintShop Mail の CD-ROM には、AdobePS インストールと一般的に使用される PPD ファイルの両方が含まれています。

Adobe PostScript Driver の詳細情報は、次のサイトを参照してください。 [www.adobe.com](http://www.adobe.com)

### Microsoft PostScript Driver (Windows のみ)

Microsoft PostScript Driver と Windows コントロール パネル の Add Printer ウィザードを使用してプリンタをインストールできます。ウィザードに、プリンタ固有の情報を含む INF ファイルを求めるメッセージが表示されます。

PrintShop Mail の CD-ROM には INF ファイルは含まれていませんが、使用するプリンタのメーカーから正しいファイルを取得することができます。



## ハードウェア キーのインストール

PrintShop Mail をご使用になる前に

### ハードウェア キーについて

[ドングル]とも呼ばれるハードウェア キーがない場合は、PrintShop Mail は**デザイナー** モードで実行されます。このモードでは、PrintShop Mail のすべての機能は使用できますが、セッションごとに印刷できるレコード数は最大 25 レコードに限定されます。また、各レイアウトに *PrintShop Mail* と印字されます。

PrintShop Mail の以前のバージョンのハードウェア キーはアップグレードする必要があります。アップグレードしない場合、PrintShop Mail は**デザイナー** モードで実行されます。詳細は次の項を参照してください。PrintShop Mail のアップグレード。

USB のハードウェアキーを図示します (キーの外観は異なる場合があります)。

1 レコードの印刷にハードウェア キーのクレジットを 1 つ使用できます。

### ハードウェア キーをインストールする手順

#### (Windows の場合)

ハードウェア キーを使用するコンピュータの平行ポートまたは USB に装着します。

**注：** 平行ポートを使用している場合は、ポートに現在接続されているデバイスを外します。ハードウェア キーを装着し、ハードウェア キーの端子にデバイスを接続し直してください。

ハードウェア キーに設定されたクレジット数を確認するには、次の手順に従います。

1. PrintShop Mail を起動します。
2. [ヘルプ] メニューの [クレジット情報] を選択します。

#### Mac OS の場合

1. ハードウェア キーを USB ポートに装着します。
2. Hardware Key フォルダを検索します。
3. Aksusb インストーラをダブルクリックします。
4. [インストール] ボタンを押して、ハードウェア キー ドライバをインストールします。
5. インストールが成功したことを示すダイアログが表示されます。 インストーラを終了する場合は、[終了] をクリックします。他にインストールを行う場合は、[続行]をクリックします。
6. [終了] ボタンをクリックして、インストールを終了します。
7. ドライバが正しくインストールされたかをチェックするには、PrintShop Mail を起動し [ヘルプ] メニューの [クレジット情報] を選択します。

**注：**

1. ハードウェア キーのドライバをインストールするには、「ルート」としてログオンする必要があります。
2. ハードウェア キーを Mac OS X にインストールする前に、OS 9x プラットフォーム用のハードウェア キーのドライバがシステムから削除されていることを確認してください。OS 9x のドライバは、OS X とは互換性がありません。以前のドライバがインストールされた状態では、OS X のハードウェア キーは機能しません。次の手順で確認します。コマンド キーを押しながら F キーを押し、ローカル ディスク上の MacHasp を検索します (通常は、OS9 のシステム フォルダ内の機能拡張フォルダにあります)。MacHasp4Shim および MacHaspUsbDD を含む一覧を表示し、それらを削除して確実にゴミ箱を空にします。

ハードウェア キーに設定されたクレジット数を確認するには、次の手順に従います。

1. PrintShop Mail を起動します。
2. [ヘルプ] メニューの [クレジット情報] を選択します。

# 操作方法



## 新規書類の作成

操作方法

### Windows の場合

PrintShop Mailの新規書類の作成方法は、次の 2 通りです。

- 空白のレイアウトから作成する方法
- 作成するレイアウトの内容とサイズを、PDF ファイルまたは画像ファイルに基づいて決定する方法

#### 空白のレイアウトから作成する手順

PrintShop Mail では、起動時には必ず空白のレイアウトが表示されます。[ファイル] メニューの [ブランク ペース] を選択するか、またはA0: (CTRL+N) を押して、新しい空白の書類を作成することもできます。

この空白のレイアウトのサイズは [自動調整] に設定されます。レイアウト サイズの詳細は、次を参照してください。レイアウト サイズの指定方法。

PrintShop Mail の設計ツールを使用して、固定オブジェクトおよびバリエーション オブジェクトをレイアウトに追加します。

#### レイアウトの内容を PDF ファイルまたは画像ファイルに基づいて作成する手順

[ファイル] メニュー (Ctrl + Shift + N) の [PDF ペース] を選択します。このオプションを使用すると、Microsoft Word の文書をインポートすることもできます。その際、Word 文書は自動的に PDF ファイルに変換されます。これで、PDF ファイルのページに一致するレイアウトが作成されます。

**注：** 作成した PDF ペースの新規書類のうち、PDF ページは別のオブジェクトとなります。PDF ページは、拡大縮小またはレイアウトを中心に移動することができます。PDF は、[挿入] メニューの PDF を選択または[ツール] ツールバーの [PDF の配置] ボタンをクリックして配置します。この方法で PDF をインポートすることによって、正しい比率で拡大縮小できるばかりでなく、レイアウトの任意の場所に PDF を配置することが可能になります。

### Mac OS の場合

PrintShop Mail では、起動時には必ず空白のレイアウトが表示されます。この空白のレイアウトのサイズは [自動調整] に設定されます。レイアウト サイズを変更するには、次を参照してください。レイアウトの指定方法



## デフォルトの設定

### 操作方法

PrintShop Mail では、短時間でデフォルト設定を行うことができます。デフォルト設定の内容が実際の作業に合わない場合は、作業を開始する前に各書類をカスタマイズします。

PrintShop Mail では、次のようにして [プリファレンス] でデフォルトの設定をリセットできます。

1. PrintShop Mail を開きます。
2. [ファイル] メニューの [閉じる] を選択します。PrintShop Mail では、起動時には必ず空白のレイアウトが表示されます。
3. (Windows の場合) : [編集] メニューの [プリファレンス] を選択します。  
(Mac OS の場合) : [PrintShop Mail] メニューの [プリファレンス] を選択します。
4. 必要な項目を変更します。

**注** : ドキュメントが開いていないときに設定を調整します。これらの設定がすべての新しい書類のデフォルトになります。ドキュメントを開いているときに行った変更は、その書類のみに反映されます。

A0; 次のデフォルト設定は、すべての書類に対して詳細に設定できます。

- プログラム設定

- 印刷ジョブ

- 繰り返し

- 面付け



## レイアウト サイズの指定

操作方法

### Windows の場合

PrintShop Mail の書類には、サイズの異なる 1 つ以上のレイアウトが含まれる場合があります。PrintShop Mail では、同一書類内で複数のレイアウト サイズを設定できます。[レイアウト] メニューの [サイズ] を選択して、レイアウトごとにページのサイズと形状(縦置または横置)を指定できます。

このダイアログ ボックスの場所  
[レイアウト] > [サイズ]



A0;レイアウト サイズは[プロパティ パネル] でも変更できます。このようにするには、[レイアウト] タブでレイアウトを選択し、[レイアウト サイズ] プロパティをクリックして、ドロップ ダウン メニューから [ユーザー定義サイズ] を選択して、要件に合わせて設定を調整します。

次の表は、[レイアウト サイズ]ダイアログのオプションに関する詳細情報を示しています。

設定	説明
サイズ	PrintShop Mail の書類の標準サイズを、[A3]、[A4]、[A5]、[Be]、[US レター]、[US リーガル] から選択します。カスタマイズした設定を入力するには、[ユーザー定義サイズ] を選択します。
幅	ユーザー定義の幅を入力します。この設定は、[ユーザー定義サイズ] を選択している場合のみ有効です。
高さ	ユーザー定義の高さを入力します。この設定は、[ユーザー定義サイズ] を選択している場合のみ有効です。
形状	[縦置] または [横置] を選択します。
適用先	現在のレイアウト このレイアウト以降 書類全体

### Mac OS の場合

PrintShop Mail 書類には、1 つ以上のレイアウトが含まれる場合があり、そのサイズはすべて同一です。レイアウトのサイズと配置方向を指定する方法は次の 2 通りです。

#### サイズの自動調整

[レイアウト] メニューで [レイアウト サイズ自動調整] を選択すると、[プリント設定] ダイアログ ボックスで現在選択された用紙サイズでレイアウト サイズを調整できます。この機能を指定すると、レイアウト繰り返し機能を使用している場合も、PrintShop Mail によってレイアウトのサイズが用紙上で自由に変更されます。

## 固定レイアウト サイズ

[レイアウト サイズ] ダイアログ ボックスで固定レイアウト サイズを指定できます。この機能により、現在選択されたプリンタと用紙サイズにかかわらず、一定のレイアウト サイズが維持されます。

このダイアログ ボックスの場所  
[レイアウト] > [サイズ] > [固定]



次の表は、[レイアウトの設定]ダイアログのオプションに関する詳細情報を示しています。

設定	説明
サイズ	PrintShop Mail の書類の標準サイズを、[A4]、[A5]、[Be]、[Us レター]、[US リーガル] から選択します。カスタマイズした設定を入力するには、[ユーザー定義サイズ] を選択します。
幅	ユーザー定義の幅を入力します。この設定は、[ユーザー定義サイズ] を選択している場合のみ有効です。
高さ	ユーザー定義の高さを入力します。この設定は、[ユーザー定義サイズ] を選択している場合のみ有効です。
配置方向	[縦置] または [横置] を選択します。



# データベースと書類のリンク

## データベースを開く



操作方法



サポートされるデータベース フォーマットの一覧は、次を参照してください。サポートされているデータベース フォーマット。

従来のデータベースはフィールド、レコードおよびファイルで整理されています。フィールドはひとつの情報、レコードは複数のフィールドの完全なセットで、ファイルはレコードの集まりです。

データベースの例

ZIP	CAR	CAR TYPE
91335	Mustang	A
75038	Explorer	B
60173	Windstar	C
33351	Explorer	B

ZIP、CAR および CAR TYPE はフィールドで、残りはレコードです。

注：PrintShop Mail では、アクティブな表は一度に 1 つのみサポートされます。データベースに複数の表が格納されている場合は、ダイアログ ボックスがもう 1 つ現れ、表の選択を促すメッセージが表示されます。

### データベースを開く手順

#### Windows の場合

1. [データベース] メニューの [開く] を選択します。
2. データベース ファイルを選択します。
3. ほかの方法として、サーバー ベースのデータソースに接続する場合は、左ペインで [ODBC データソース] アイコンをクリックします。
4. データソース名をダブルクリックします。

注：[ODBC データソース アドミニストレータ] ダイアログ ボックスで新規データソースの定義および既存データソースの変更ができます。このダイアログ ボックスは、コントロール パネルにあります。Windows 2000/XP/2003 では、[管理ツール] にあります。

制限事項：

- PrintShop Mail では、アクティブな表は一度に 1 つのみサポートされます。データベースに複数の表が格納されている場合は、ダイアログ ボックスがもう 1 つ現れ、表の選択を促すメッセージが表示されます。
- PrintShop Mail では、リレーショナル データベースはサポートされていません。

### データベースの内容を参照する手順

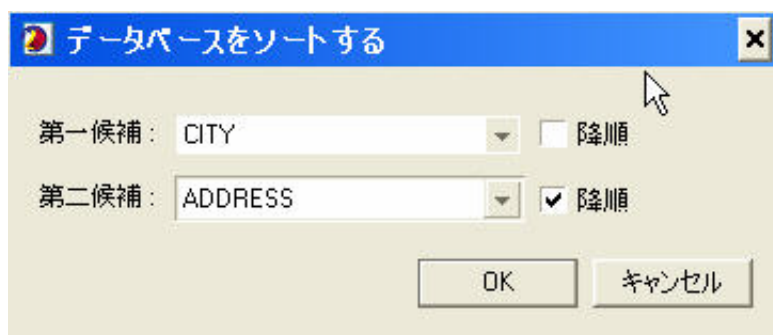
データベースを開くと、その内容が [プロパティ パネル] の [データベース] タブに表示されます。データベース内のレコードは、[データベース] ツールバーの参照ボタンをクリックすると参照できます。または、[データベース] メニューから次のように選択して参照できます。

- 先頭レコード (Alt + ↑)
- 前レコード (Alt + ←)
- 次レコード (Alt + →)
- 最終レコード (Alt + ↓)

### データベースをソートする手順

1. [データベース] メニューから次のように選択します。[ソート] > [編集]
2. ソート条件を指定してください。

3. [OK] をクリックします。



### データベースをフィルタリングする手順

たとえば、一定の範囲の郵便コード (10000 から 19999 まで) のみを印刷する必要がある場合に、[データベース] メニューの [フィルタ] > [編集] を選択して、データベースにフィルタを設定できます。



次の選択肢があります。

等しい  
等しくない  
未満  
以下  
より大きい  
以上  
空  
空ではない

2 つ以上のフィルタ ルールがあり、すべてを適用可能にするためには、AND を選択してそれらを結合します。

いずれか 1 つを適用する場合は、OR を選択します。

データベースをフィルタリングするもう 1 つの方法は、拡張スクリプトの使用です。この機能の詳細は、拡張スクリプトを参照してください。

### Mac OS の場合

PrintShop Mailでは、DBF、TXT および XLSのデータベース フォーマットをサポートしています。

1. [データベース] メニューの [開く] を選択します。

**注：**「データベース ファイルが DBF 形式でない場合、PrintShop Mail は DBF 形式でコピーを保存します。」というメッセージのダイアログが表示されます。

2. ★データベース ファイルを選択します。

#### ネイティブ (DBF) データベースの使用法

次のルールは、ネイティブのデータベース フォーマットのファイルに適用されます。例えば、PrintShop Mail 書類にリンクする場合は、.dbf ファイルに適用されます。

- データベースの先頭行にはフィールド名が格納されている必要があります。
- フィールド名には英数字とアンダースコアのみが使用され、長さは最大 10 文字です。
- バリアブル データは先頭行の下にリストされます。
- バリアブル データ アイテムには引用符は使用できません。
- PrintShop Mail は dbf3 と dbf4 フォーマットをサポートしますが、ファイル名の末尾は「.dbf」(dbf3 や dbf4 ではなく)です。

#### テキスト ファイルをデータベースとして使用する方法

次のルールは、テキスト ファイルをデータベースとして使用する際に適用されます。

- テキスト ファイルの先頭行にはフィールド名が格納されている必要があります。
- フィールド名には英数字とアンダースコアのみが使用されます。
- レコードはその後の行にリストされます。
- フィールド セパレータは、タブ、カンマ、スペース、セミコロン、またはユーザー定義文字 (英数字、アンダースコア以外) で、セパレータはフィールドに入力するデータには使用できません。
- フィールドにフィールド セパレータが含まれる場合は、二重引用符で囲み 1 つの文字列として扱われるようになります。
- 隣接する 2 つのフィールド セパレータは、その 2 つの間に空のフィールドがあることを意味します。
- レコード セパレータは改行文字です。
- 行の末尾にフィールドが欠落している場合は、空のままになります。

#### テキスト ファイルをデータベースとして開く方法

1. [データベース] メニューの [開く] を選択します。
2. データベースが定義されているフォルダを参照します。
3. テキス データベース ファイルを選択して[開く] をクリックします。
4. ダイアログ ボックスで、使用する[区切り文字] を選択します。

#### XLS ファイルをデータベースとして開く方法

注：このオプションには、Microsoft Excel が必要です。XLS データベース ファイルを選択すると、PrintShop Mail によって Excel が適用され、Excel ファイルのプレーン テキストのコピーが作成されます。次に、PrintShop Mail はこのプレーン テキスト ファイルを DBF に変換します。この DBF ファイルが使用されます。

1. [データベース] メニューの [開く] を選択します。
2. データベースが定義されているフォルダを参照します。
3. xls データベース ファイルを選択して[開く] をクリックします。

#### データベースをソートする手順

多数のソート キーを定義できます。これらのソート キーは開いているデータベースに適用されます。次に説明するように、ソート キーおよびその優先順の定義は、スイッチ オンまたはオフに関係なく定義されます。

1. データベース フロータを開いて、[ソート] チェックボックスの隣の [編集] ボタンをクリックします。



2. 左側の一覧からデータベース フィールドを選択し、[追加] ボタンを押して、右側の [ソート順] 一覧にコピーします。フィールド名をダブルクリックしても、同じ結果が得られます。ソート キーとして使用するすべてのフィールドについて、同じ手順を繰り返します。
3. 選択したフィールドごとに、[昇順] または [降順] のソート順を指定できます。このようにするには、右側の一覧からソート キーを選択して、それを適切な順序になるように上下にドラッグするか、またはソート キーを選択して [クリア] をクリック、またはソート キーをダブルクリックして削除します。
4. [ソート] を押してデータベースをソートし、[レディ] を押してダイアログを閉じます。

### データベースをフィルタリングする手順

PrintShop Mail では、書類をリンクするデータベースをフィルタリングすることができます。つまり、書類をリンクするデータベースは、必ず選択する必要があります。

1. [データベース] ウィンドウを開いて、[フィルタ] チェックボックスの隣の [編集] ボタンをクリックします。
2. 式を入力します。この式の結果は、True または False です。
3. [データベース] メニューの [フィルタ] を選択するか、またはデータベース ウィンドウのA0:[フィルタ] チェックボックスをクリックして、フィルタの設定を適用します。フィルタ オプションを選択または選択解除して、データベース全体を使用するか、またはフィルタリングしたレコードのみを使用するかを切り替えます。このフィルタ オプションは、データベースが開いている場合のみ有効です。



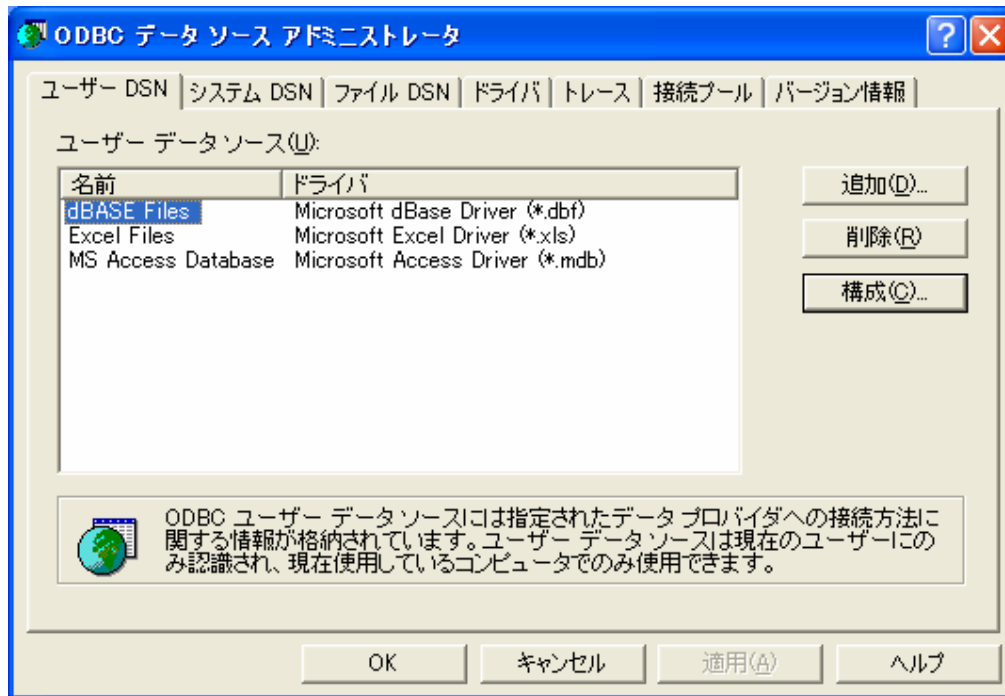
## SQL Server との接続

(Windows のみ)

操作方法

SQL Server と接続するには、接続する前に次の手順で SQL Server ODBC Data Source を設定します。

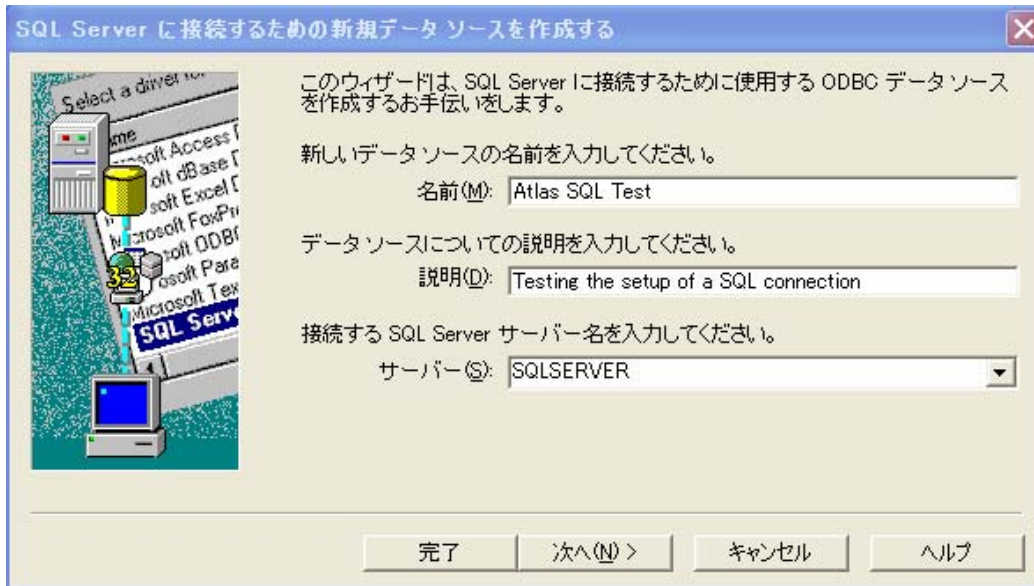
1. Windows のコントロール パネルから[データソース (ODBC)] を選択します。(Windows 2000/XP/2003では、このパネルは [管理ツール] にあります。)  
[ODBC データソース アドミニストレータ] ウィンドウが開きます。



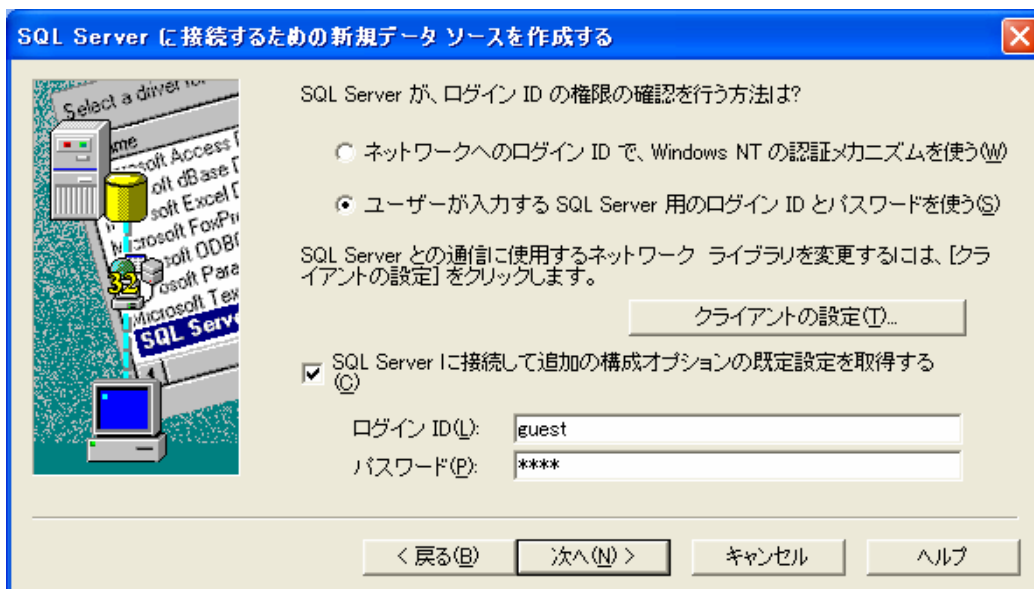
2. [ユーザー DSN] タブの [追加] をクリックします。  
[データソースの新規作成] ウィンドウが開きます。



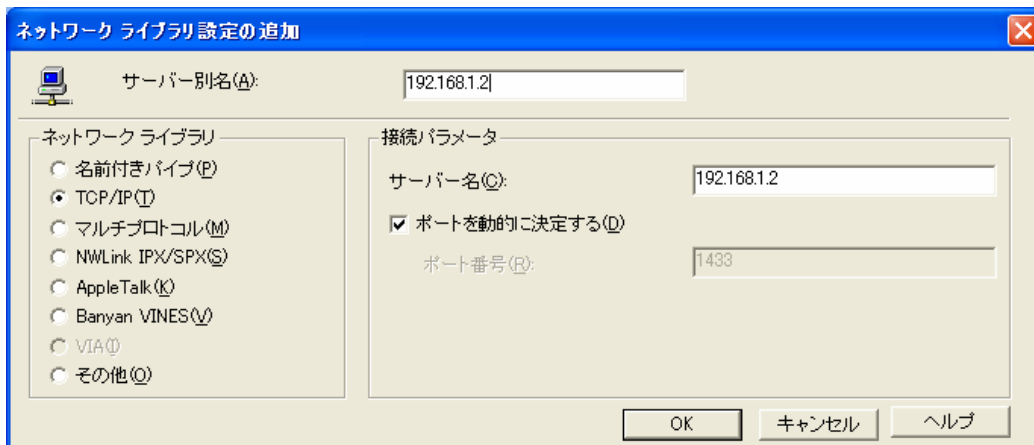
- データソース用のドライバの指定を求めるメッセージが表示されます。
3. [SQL Server]をダブルクリックします。



4. データソース名と説明を入力します。
5. SQL サーバー名または IP アドレスを指定します。
6. [次へ] をクリックします。



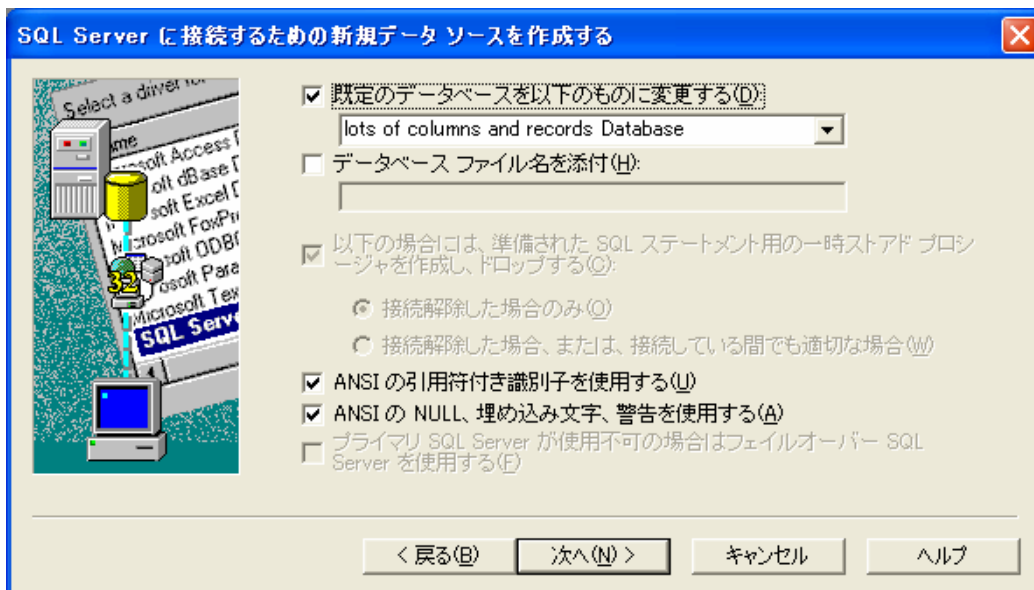
7. [ユーザーが入力する SQL Server 用のログイン ID とパスワードを使う] を選択します。
8. ログイン ID とパスワードを指定します。
9. [クライアントの設定] をクリックします。



10. [ネットワーク ライブラリ 設定を編集] ウィンドウの [ネットワーク ライブラリ] から [TCP/IP] を選択します。

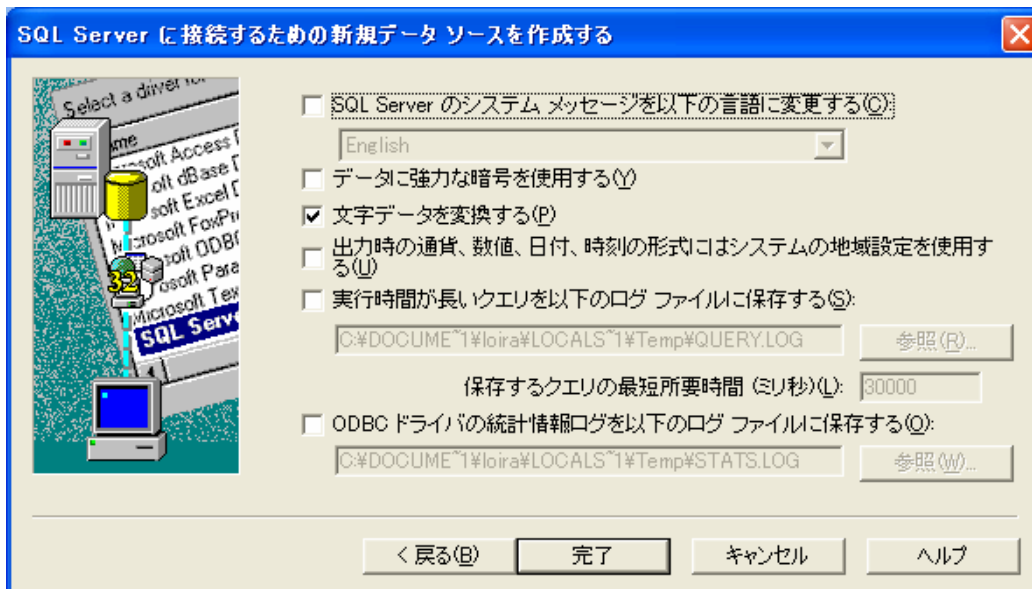
注：システム管理者の指示がない限り、サーバー名およびポート番号は変更しないでください。

11. [OK]をクリックします。



12. [既定のデータベースを次に変更する] を選択して、[Atlas SQL Test] (または任意の名前) を選択します。

13. [次へ] をクリックします。



14. [完了] をクリックします。



15. [Microsoft SQL Server セットアップ] ウィンドウでオプションの設定内容を確認し、[データソースのテスト] をクリックして接続をテストします。

16. PrintShop Mail でデータソースの使用を開始する場合は、[OK] をクリックします。



## テキストの追加



### バリエブル テキストの追加

操作方法

#### バリエブル テキストについて

PrintShop Mail のテキスト オブジェクトには、デリミタで区切られた形で固定テキストとバリエブル テキストの両方が含まれています。デフォルトでは、@ 文字でバリエブルを区切ります。各バリエブルは式と関連付けられます。式は、通常はデータベースの内容に基づいた計算です。

#### バリエブル テキストを追加する手順

注：次に説明する手順の代替手順として、直接データベースからレイアウトにドラッグ アンド ドロップすることもできます。この方法でテキスト ボックスおよびバリエブル名は自動的に作成されます。



1. In the [ツール] ツールバーで、[バリエブル テキストの指定] ボタンをクリックするか、または [挿入] メニューで [バリエブル テキスト] を選択します。
2. (Windows の場合)：[ウィンドウ] メニューの [データベース] (Ctrl+3) を選択するか、または [プロパティ パネル] の [データベース] を選択します。  
(Mac OS の場合)：[ウィンドウ] メニューの [バリエブルの表示] を選択します。
1. 入力します。バリエブル情報を含める場合は、2 つの区切り文字の間に意味の持つ名前を入力してください。デフォルトでは、@ 文字でバリエブルを区切ります。[プリファレンス] で区切り文字を変更できます。
2. 入力後、テキスト ボックスの外部をクリックします。

定義したバリエブルは、(Windows の場合は) [プロパティ パネル] の [バリエブル] タブに、(MAC OS の場合は) [バリエブル フロータ] に自動的に表示されます。



#### バリエブルにデータベース フィールドを割り当てる手順

次に、バリエブルをデータベース内のフィールドに割り当てる手順を説明します。次の手順に従ってください。

1. (Windows の場合)：[プロパティ パネル] の [バリエブル] タブでバリエブル名をダブルクリックし、[式ビルダ] を表示するか、または、テキスト オブジェクトを右クリックして、[式の編集] サブメニューのバリエブルを選択します。  
(Mac OS の場合)：[バリエブル] フロータでバリエブルをダブルクリックします

([式ビルダ] を使用して式をバリエブルに割り当ててください。)



2. バリアブルを関連付けるためのデータベース フィールドをダブルクリックします。
3. [OK] をクリックしてウィンドウを閉じます。

注： 式の結果は、(Windows の場合は) [プロパティ パネル] の [バリアブル] タブ、または (Mac OS の場合は) [バリアブル] フロータでチェックできます。

#### Mac OS の場合

[式ビルダ] ウィンドウのチェックボックスを使用して、[空白行の削除] 機能を切り替えることができます。

#### バリアブルをプレビューする手順

プレビュー モードでテキスト ボックスそのものに結果を表示できます。



プレビュー モードと 設計モードを切り替えるには、[ビュー] ツールバーのこのボタンをクリックするか、または [表示] メニューの [プレビュー] を選択します (Windows の場合)。Mac OS の場合は、[表示] メニューの [プレビュー] を選択するか、または [Command + Y] を押します。



テキスト オブジェクトの任意の部分のテキスト スタイル (たとえば、フォント、サイズ、色、スタイル属性) は変更できます。[テキストのフォーマット] ツールバー (Windows の場合)、または [テキスト] メニューの [フォントの表示] を選択します。



## バリアブルのフォーマット

(Windows の場合のみ)

書類操作の基礎

### バリアブルのフォーマットについて

バリアブルをフォーマットすることによって、数値、通貨、日付などの表示および印刷のスタイルを設定することができます。フォーマットは、地域設定に従って、書類の各バリアブルのテキスト オブジェクトごとに設定できます。

### バリアブルをフォーマットする手順

[プロパティ パネル] の [バリアブル] タブで、フォーマット設定の対象となるバリアブルを選択します。選択肢として、次のフォーマット カテゴリがあります。

- 数値
- 通貨
- 日付
- テキスト

### 数値の設定について

オプション	目的
小数点	小数点として使用する符号を選択します。
小数点以下の位	小数点以下の桁数を選択します。
桁区切り符号	大きな数値で使用する桁区切り符号を選択します。(例 : 1,000,000).
桁区切り	1 区切り内の桁数を選択します。
負符号	負の数を表す符号を選択します。
負の数のフォーマット	負の数を表すフォーマットを選択します。
先頭ゼロ表示	小数を表示する際、先行するゼロの有無を設定します (例 : 「0.7」または「.7」)。

### 通貨の設定について

オプション	目的
ロケール	地域を選択します。
通貨の符号	通貨の符号を選択します。
正の数のフォーマット	正の通貨のフォーマットを選択します。
負の数のフォーマット	負の通貨のフォーマットを選択します。
小数点	小数点として使用する符号を選択します。
小数点以下の位	小数点以下の桁数を選択します。
桁区切り符号	大きな数値の通貨に使用する桁区切り符号を選択します。
桁区切り	1 区切り内の桁数を選択します。

### 日付の設定について

オプション	目的
ロケール	地域を選択します。
日付のフォーマット	日付フォーマットを選択します。
例	MM/dd/yyyy

### テキスト カテゴリについて

フォーマットをこのカテゴリに設定すると、PrintShop Mail はバリアブルの数値コンテキストをテキスト文字列として扱います

。



## 連番の作成

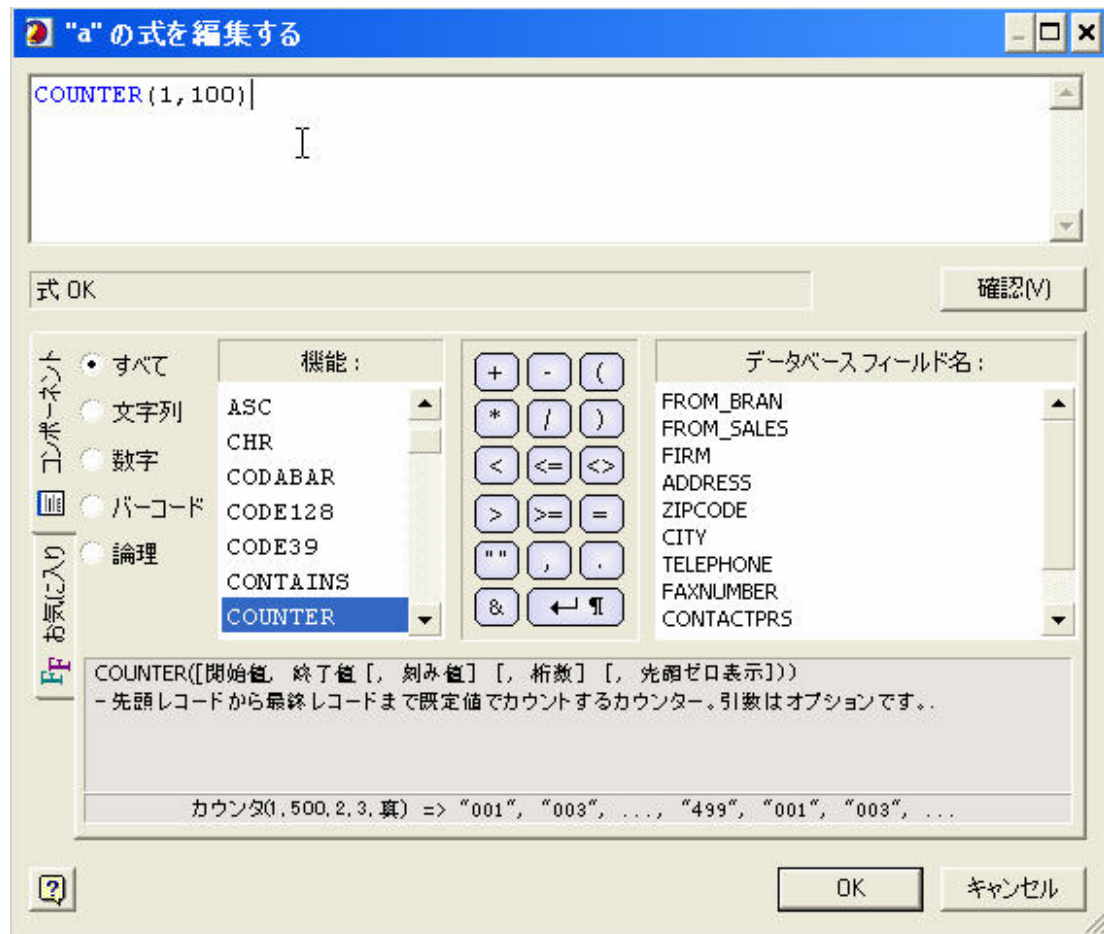
操作方法

### 連番について

連番は、次の関数を使用します。COUNTER 関数。

### 連番を作成する手順

1. バリアブルを、テキスト内の番号印刷位置に挿入します。
2. (Windows の場合) : [プロパティ パネル] の [バリアブル] タブで、作成したバリアブル名ダブルクリックするか、またはバリアブル テキストを右クリックして、[式の編集] を選択して [式ビルダ] を開きます。  
(Mac OS の場合) : [ウィンドウ] メニューから [バリアブルの表示] を選択します。



3. 「開始」と「終了」という語句を、カウンタで生成する値で置き換えます。

例 :

COUNTER(1, 100) は、「1」で始まり「100」で終わるカウンタを生成します。

注 : 無限カウンタは、COUNTER 関数をダブルクリックするだけで作成できます。演算子 COUNTER() によって、「1」で始まり、[プログラム設定] で [データベースに依存しない件数] の最大番号に設定された番号で終わるカウンタが作成されます。プログラム設定



結果を確認するには、[OK] をクリックして、[データベース] ツールバーの各ボタンでレコードを参照します。プレビュー モードを有効にするには、[ビュー] メニューの [プレビュー] をクリックします。レコードをスクロールすると、カウンタは 1、2、3 ... と表示されます。

注：この機能は、データベースを開かずに使用できます。



データベースが開いていない場合、レコードの合計件数を [データベース] ツールバー。

## 画像の追加



### 固定画像とバリエーション画像を追加する

操作方法

PrintShop Mail では、画像オブジェクトに固定画像またはバリエーション画像を含めることができます。PrintShop Mail でバリエーション画像を使用すると、画像付きの書類をパーソナライズできます。



サポートされる画像の一覧は、次を参照してください。サポートされている画像フォーマット。

### 固定画像について

固定画像は、バリエーション画像にリンクされていません。常に同じ画像ファイルに関連付けられます。印刷テクノロジーでは、これを利用して固定画像をジョブごとに 1 回のみスプールすることで、処理時間を最適化します。

### 固定画像を挿入する手順



1. [ツール] ツールバーで、[固定画像の配置] ボタンをクリックします。または、[挿入] メニューから [画像ファイル] を選択します。
2. ダイアログ ボックスで、挿入する画像を参照します。  
A0;画像を挿入します。

### 枠について

固定画像の枠は画像サイズに反映します。オブジェクトのサイズを変更する際は、元の縦横比が保持されます。画像の初期サイズは、その解像度によって決まります。PrintShop Mail では、画像の解像度は EPS (72 dpi) および TIFF ファイル以外は、96 dpi (Dots Per Inch) です。TIFF 画像の解像度は、そのファイル自体に格納されています。

### バリエーション画像について

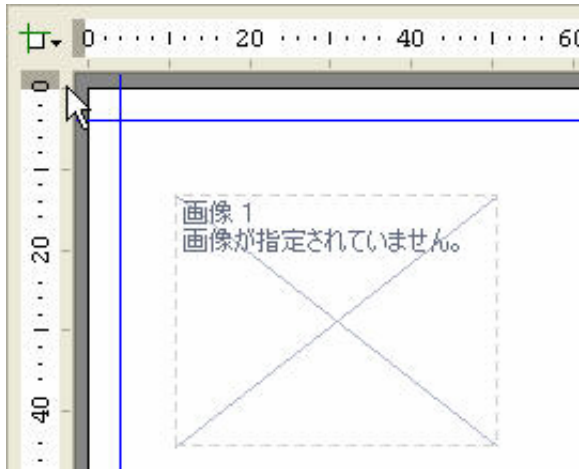
バリエーション画像は、バリエーション テキスト同様、変数にリンクされます。バリエーション画像に関連付けられた式の結果は、画像ファイル名となります。印刷テクノロジーでは、反復されるバリエーション画像をジョブごとに 1 回のみスプールすることで、処理時間を最適化します。

## Windows の場合

### バリエーション画像を挿入する手順



1. [ツール] ツールバーで、[画像の挿入] ボタンをクリックします。または、[挿入] メニューから [画像ボックスの挿入] を選択します。
2. [プロパティ パネル] の [バリエーション] タブでバリエーション画像の名前をダブルクリックして、[式ビルダ] を表示します (バリエーション画像を右クリックして、[式の編集] を選択することもできます)。  
[式ビルダ] で、式を定義するか、または画像ファイル名を含むデータベース フィールドを選択します。



PrintShop Mail では、データベースのフィールド情報を使用して、バリエーション画像を作成できます。この情報は次の 2 つの方法で使用します。「As is」処理では、フィールド データを使用して画像ファイルの名前を画像ボックスに通知します。「Trigger」処理では、フィールド データを論理式と組み合わせて使用し、画像ファイル名の結果を作成します。これらの 2 つの方法は通常、バリエーション データを生成する場合に使用します。

### バリエーション画像を「As is」で挿入する手順

#### データベースの設定

ZIP	CAR	CAR PIC
91335	Mustang	Mustang.jpg
75038	Explorer	Explorer.jpg
60173	Windstar	Windstar.jpg
33351	Explorer	Explorer.jpg

#### 式

CAR PIC フィールドを使用して、ファイル名を画像ボックスに通知します。



### バリエブル画像を「Trigger」で挿入する手順

データ トリガーには、アルファベット、数字または記号が使用できます。最も簡単な方法は、1 桁から 3 桁の短い文字列を使用できるように [Trigger] フィールドを設定します。

#### データベースの設定

ZIP	CAR	CAR TYPE
91335	Mustang	A
75038	Explorer	B
60173	Windstar	C
33351	Explorer	B

#### 式

IF([CAR TYPE] = "A", "Mustang.jpg",



```
IF([CAR TYPE] = "B", "Explorer.jpg",  
IF([CAR TYPE] = "C", "Windstar.jpg",""))
```

条件付き論理式で [CAR TYPE] フィールドを使用して、画像ファイル名を生成します。

## 結果をチェックおよびプレビューする手順

結果は、[プロパティ パネル] の [バリエーション] タブでチェックできます。画像は**プレビュー** モードで表示されます。



プレビュー モードと**設計**モードを切り替えるときは、[ビュー] ツールバーのこのボタンをクリックします。または、[表示] メニューの [プレビュー] を選択します。

**注** : EPS 画像は、TIFF プレビューが含まれている場合のみプレビューで表示されます。このTIFF プレビューは、実際の印刷と品質の点で異なる場合があります。



画像オブジェクトのプロパティを表示するには、「**固定画像とバリエーション画像を追加する**」を参照してください。

## Mac OS の場合

1. [ツール] ツールバーで[バリエーションテキストの指定]ボタンをクリックするか、または[挿入] メニューで、[バリエーション画像]を選択します。
2. [プロパティ パネル] ウィンドウでバリエーション画像の名前をダブルクリックして、[式ビルダ] を表示します。
3. [式ビルダ] で、式を定義するか、または画像ファイル名を含むデータベース フィールドを選択します。



この式は

[GENDER] フィールドの値が「M」ならページを印刷し、それ以外の場合はページを印刷しません。

これに対して、女性読者向けのレイアウトの式は次のとおりです。

*IF( [GENDER] = "F", Print, Skip)A0;*

**注：**レイアウトの繰り返しを使用して各ページの複数の書類を印刷する場合、SKIP 式を使用すると、ページ上のレコード順が変わってしまう可能性があることに注意してください。PrintShop Mail は、SKIP を BLANK として処理して自動の切り取りとソートで問題が発生しないようにすることがあります。

あるページのレターヘッドにあらかじめ会社名が印刷されており、その後に空白の 2 ページが続くなど、プリンタが特殊に設定されている場合の入力では、フルページのレイアウトで似たような問題が発生する場合があります。出力でレイアウトを省略すると、そのレイアウト用に用紙は使用されず、順序も影響を受けます。

印刷したレコードの順序を保持したうえで印刷レイアウトに不正なデータが印刷されないようにするには、SKIP のかわりに BLANK を使用します。このようにすると、ページ上には実際に何も印刷されずに PRINT と同じスペースが使用されます。

### レイアウト条件を適用する場合

- PrintShop Mail の 1 つのファイル内での複数のバージョンの書類の印刷
- レイアウト条件は、重いテキストのバリアブル (複数のバリアブル パラグラフ) を設定する代替方法です。[バリアブル] テキスト ボックス内で 1000 文字で式を作成することは退屈な作業です。ネイティブなデスクトップ パブリッシングまたは Word プロセッシング プログラムで複数の静的なページを作成する最も簡単な方法は、書類を PrintShop Mail のファイル形式 (EPS または PDF) に変換し、PrintShop Mail で出力の条件を設定します。
- 空白ページの挿入



式の詳細は、次を参照してください。式の概要。



## レイアウト繰り返し機能の使用

操作方法

### レイアウト繰り返し機能について

PrintShop Mail は、あるレイアウトより大きなフォーマットを持つ媒体に複数のレイアウトを印刷できます。たとえば、5.5" × 4.25" の葉書は、レターサイズ (11" × 8.5") の用紙に 2 × 2 枚印刷できます。

この場合、パーソナライズ書類 1 つ分のサイズのレイアウト、5.5" × 4.25" の葉書を生成します。

複数のレイアウトを含む書類の場合、同じページに異なるレイアウトを印刷できます。

### レイアウト繰り返し機能を指定する手順

1. (Windows の場合)[編集] メニューの [プリファレンス] を選択します。  
(Mac OS の場合) [PrintShop Mail] メニューの [プリファレンス] を選択します。
2. 左側のペインで、[繰り返し] をクリックします。
3. レイアウトの繰り返し回数および各レイアウト間の縦横の間隔を指定します。



注：最大繰り返し数は大括弧で囲って表示されます。

## 優先順位について

優先順位によってレイアウトの印刷順が決まります。次の 3 つの方向のそれぞれについて優先順位を変更できます。

- 前面から背面へ
- 左から右へ
- 上から下へ

「スタック全体」を印刷するためには、**[前面から背面]** を最優先（第 1 優先順位）に設定します。その次に（たとえば）**[上から下]**、**[左から右]** の順で優先順位を設定します。

この場合、第 1 のレコードは第 1 ページの右上隅に、第 2 のレコードは第 2 ページの左上隅に印刷され、それ以降、順に印刷されます。

この方法により、ジョブの印刷終了後にページ順に揃える必要がなくなります。



## 用紙トレイ選択

操作方法

### 用紙トレイ選択機能について

使用するプリンタが異なる用紙トレイをサポートし、作成した書類に複数のレイアウトが含まれている場合、異なるレイアウトを各トレイに送信できます。

### レイアウトを用紙トレイに関連付ける手順

#### Windows の場合

1. **[ファイル]** メニューから **[ページ設定]** を選択するか、またはレイアウトを右クリックして **[ページ設定]** を選択します。
2. **[トレイ]** ボックスで、該当する **[用紙トレイ]** を選択します。
3. **[適用先]** ボックスで、次のいずれかを選択します。

**現在のレイアウト** : **[プロパティ パネル]** で選択されているレイアウト。

**このレイアウト以降** : 現在のレイアウト、およびそれ以降のすべてのレイアウト。

**書類全体** : 書類のすべてのレイアウト。

4. **[OK]** をクリックします。

使用しているプリンタで、これ以外のトレイをサポートしているのに、**[ページ設定]** ウィンドウで使用できない場合は、次の手順を使用して、ドライバの詳細なプロパティでトレイを選択してください。

1. **[ファイル]** メニューの **[ページ設定]** を選択します。
2. **[アドヴァンス]** タブをクリックします。
3. **[プリンタ書類プロパティ]** で、**[アドヴァンス]** を選択します。
4. プリンタの **[アドヴァンス オプション]** で、**[プリンタ機能]** を選択します。

**注** : レイアウトごとに異なるトレイが必要な場合、それぞれのレイアウトについて上記のオプションの設定を繰り返します。

レイアウトを用紙トレイに関連付ける別の方法としては、**[プロパティ パネル]** の **[レイアウト]** タブを選択してレイアウトを選択してから、**[用紙トレイ]** プロパティで対象のトレイを選択します。

#### Mac OS の場合

1. **[ウィンドウ]** メニューの **[書類レイアウトの表示]** を選択します。
2. 目的のレイアウトを選択します。
3. **[レイアウト]** メニューの **[用紙トレイ]** を選択します。選択した PPD (PostScript Printer Description) によっては、使用可能な用紙トレイの一覧が表示されます。





## 印刷部数

(Windows のみ)  
操作方法

PrintShop Mail では、ページごとに印刷部数を指定できます。式ビルダを使用して、ジョブ内の各ページの部数を作成できます。

### 印刷部数を設定する手順

1. [プロパティ パネル] で [レイアウト] タブを選択します。
2. レイアウトを選択して [印刷部数] をクリックし、**式ビルダ**を開きます。

データベース フィールドのデータを使用して、ページごとの印刷部数を指定できます。数値の文字列が含まれていないフィールド データは、IF 文などの論理関数で使用できます。

### 数値のテキスト文字列

名前	内容	種類
COMPANY	Bill Co	テキスト
DATA	Short Text	テキスト
RTF	test.rtf	テキスト
COPIES	5	ダブル
TRIGGER	A	テキスト

**式ビルダ**が開いている状態で次のようにします。

1. [関数] セクションから VAL 関数を選択します。
2. [データベース フィールド名] で、印刷部数が含まれているデータベース フィールドを選択します。



### 数値以外のテキスト文字列

この場合には、データベース フィールドに数字の文字列は含まれていませんが、フィールドを「Trigger」として使用します。





式 IF([TRIGGER]="A",VAL("12"),IF([TRIGGER]="B",VAL("8"),VAL("1"))) で、フィールド名 TRIGGER は、A または B のいずれかになります。A の印刷部数は 12 で、B の印刷部数は 8 になります。関数の結果を数値にするために、式の最後に VAL("1") を追加します。

#### 制限事項

- 式のいずれかの部分でゼロ ("0") を使用した場合は、1 部しか出力されません。
- 複数ページの書類では、それぞれのページA0;ごとに印刷部数を設定する必要があります。
- 印刷部数は、次の機能と組み合わせて使用できません。レイアウト繰り返し機能の使用
- 印刷部数は、[FreeForm] 印刷テクノロジーが選択されている場合、使用できません。かわりに FreeForm 2 を使用します。



## 書類の確認

操作方法

### 書類の確認機能について

レイアウトの印刷に先立って、書類が印刷してもよい状態か確認できます。PrintShop Mail により、次のチェックが実行されます。

- 画像ファイルおよび PDF ファイルが存在するか
- すべてのアイテムが印刷可能枠内に配置されているか
- テキスト オブジェクト内のテキストはテキスト ボックス内に収まるか(返されたレコード位置には、最も長いテキスト文字列を生成するフィールドが格納されています。このエラーの再発は、テキスト ボックスのサイズ変更または他のテキスト ボックスとのリンクによって防止できます。) この機能の詳細は、テキスト オブジェクトのリンクを参照してください。
- 式に構文エラーがないか (たとえば、存在しない変数名を使用した場合、警告メッセージが表示されます。)

### 書類の確認を実行する手順

[レイアウト] メニューの [書類の確認] を選択します。

次に、レイアウトの確認結果の例を示します。

レイアウト	レコード	説明:
1	-	オブジェクトが印刷可能範囲からはみ出ている
1	-	オブジェクトが印刷可能範囲からはみ出ている
1	-	変数「画像 1」は、式にリンクされていません。
1	7	テキストは、バウンディングボックスに対応していません。

次のようなメッセージが表示される場合があります。

オブジェクトが印刷可能範囲外に配置されています
オブジェクトの一部がレイアウトに収まっていません
変数 X は式にリンクされていません
テキストが枠内に収まりません
画像 X が見つかりません
画像読み込みエラー
ページ番号 X は無効です。この PDF には、Y ページのみ格納されています。
変数 X: 引数 Y が不正です
変数 X: バーコード入力文字列 Y が不正です
変数 X: 日付フォーマット Y が不正です
X に、PDF に埋め込まれていない TrueType フォントが少なくとも1つ含まれています。
変数 X: データベース フィールド Y が見つかりません



## 書類の保存

操作方法

### 書類の保存機能について

書類を保存する場合は、書類のファイルおよびそのベースとなるファイル、つまり画像ファイルとデータベースの両方を 1 つのフォルダに保存することをお勧めします。

その理由は、PrintShop Mail 書類を補助するファイルは、書類ファイルに含まれないためです。書類ファイルには、書類フォルダからのパスとして格納された参照のみが含まれます。

例：

書類の保存場所が、  
「C:¥My Documents」で、

書類に、画像、  
「C:¥My Documents¥Images¥Car.tif」が含まれる場合、

この画像への参照は、  
「Images¥Car.tif」として格納されます。

書類フォルダとそのサブフォルダを別のドライブに移動しても、PrintShop Mail はこの画像の保存場所を特定できます。

**注 (Windows の場合)：** PrintShop Mail 98 および 4.x の書類は、PrintShop Mail の新しいバージョンにインポートできませんが、PrintShop Mail 98 および 4.x は、PrintShop Mail の新しいバージョンで保存された書類を操作できません。既存の PrintShop Mail 98/4.x 書類を新しい PrintShop Mail フォーマットで上書きしようとする、PrintShop Mail は、警告を発行します。

**注 (Mac OS の場合)：** PrintShop Mail 4.3 以前のバージョンで作成された PrintShop Mail 書類を開くことはできますが、新しいバージョンで保存された書類を PrintShop Mail 4.3.x で操作できません。既存の PrintShop Mail 4.3.x 書類を PrintShop Mail フォーマットで開くと、変更をまったく加えない場合も、PrintShop Mail は警告を発行し、この書類を閉じるとただちに、保存するのかを尋ねるダイアログ ボックスが表示されます。

### 書類を保存する手順

書類を保存する場合は、[ファイル] メニューの [上書き保存] または [名前をつけて保存] オプションを使用します。

最後に保存したバージョンの書類に戻すためには、[ファイル] メニューの [元に戻す] を選択します。

# 書類の印刷



## 印刷の基本

書類の印刷

### 印刷について

作成者による書類の確認が完了すると、その書類の印刷の準備は完了です。PrintShop Mail では、出力を最適化する印刷テクノロジーと呼ばれるオプションをいくつか提供しています。

各印刷テクノロジーで PostScript Level 2 が使用されるため、PrintShop Mail では、PostScript プリンタ ドライバおよび PostScript Level 2 互換の RIP の使用が必要です。

テクノロジーの中には、PostScript 標準に準拠しているものもあります。したがって、そのようなテクノロジーは、利用可能なあらゆるタイプの RIP によってサポートされます。他のテクノロジーは、PostScript の拡張機能に準拠しています。その場合は、特定タイプの RIP のみでサポートされます。

### 印刷テクノロジー

標準的なポストスクリプト  
最適化されたポストスクリプト

### 特定の RIP タイプおよびベンダーに依存するテクノロジー

AHT (Windows のみ)  
Creo VPS  
EVIPP  
Fiery FreeForm  
Fiery FreeForm 2  
PPML  
PPML/VDX 7 (Windows のみ)  
PrintStreamer (Mac OS のみ)

プリンタを設定する手順は次のとおりです。

注：印刷設定は、現在の PrintShop Mail セッションの終わりまで維持されます。印刷可能領域に境界線を表すレイアウトには線が描画されます。

### Windows の場合

1. [ファイル] メニューの [ページ設定] を選択します。
2. [変更] ボタンをクリックします。適切なダイアログ ボックスを使用してプリンタを選択します。
3. 印刷する媒体、印刷方向、およびジョブに特有のプリンタの設定を選択します。A0:[OK] をクリックすると、変更内容は現在のセッション用に保存されます。

### Mac OS の場合

1. [ファイル] メニューの [ページ設定] を選択します。
2. ダイアログ ボックスで [設定] ボタンをクリックして、プリンタ、印刷に使用する媒体、配置方向、およびその他のプリンタ固有のジョブ設定を選択します。[OK] をクリックすると、変更内容は現在のセッション用に保存されます。

### 印刷テクノロジーを選択する手順

1. (Windows の場合)：[編集] メニュー (Ctrl + K) の [プリファレンス] を選択します。  
(Mac OS の場合)：[PrintShop Mail] メニューの [プリファレンス] を選択します。
2. 左側のペインで、[印刷ジョブ] アイコンをクリックします。  
[印刷ジョブの設定] ダイアログ ボックスが表示されます。
3. 使用する RIP (プリンタ コントローラ) が RIP タイプとベンダーに依存するテクノロジーのいずれかをサポートしていることを確認してください。サポートされるテクノロジーがある場合は、そのオプションを使用してください。
4. ない場合は、最適化されたポストスクリプトを使用してください。
5. 使用するシステムの PrintShop Mail フォルダにインストールされているデフォルトの例を印刷します。

## テクノロジー固有オプションを指定する手順

1. [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。
2. (Windows の場合) : [印刷] ダイアログ ボックスで、テクノロジー固有オプションを指定します。  
(Mac OS の場合) : [印刷] ダイアログ ボックスで [PrintShop Mail] を選択して、テクノロジー固有オプションを有効にします。

## [印刷] ダイアログ ボックスの設定

**OPI を使用 (画像をスプールしない)**。一般的な印刷テクノロジーは、OPI (Open Prepress Interface) をサポートしています。そのため画像置換サーバーを使用して印刷プロセスを高速化することができます。OPI がサポートする画像フォーマットは、EPS および TIFF のみです。

**プリンタ内蔵 HDD にフォームを保存**。ハード ディスク上に PostScript フォーム (キャッシュされた画像) を保存することで、解像度の高い画像を数多く含む書類を処理する際のメモリー不足を回避できます。このオプションは、お使いの RIP がハード ディスクにアクセスする場合にのみ使用してください。

**キャッシュ サイズ指定**。PostScript のキャッシュ サイズを大きくすることによって、パフォーマンスが改善されます。最適の値を決定するためにテストをお勧めします。キャッシュ サイズ指定機能は、RIP のシステム設定がパスワードで保護されていない場合にのみ有効です。

**注** : [プリンタ内蔵 HDD にフォームを保存] または [キャッシュ サイズ指定] のオプションを使用し、RIP がパスワードで保護されている場合は、プリンタ エラーが表示されることがあります。このような場合は RIP のマニュアルを参照するか、またはシステム管理者に連絡してRIP の設定を変更します。

## 印刷テクノロジー



### 印刷テクノロジー

標準的なポストスクリプト

標準的なポストスクリプトは、特別な最適化メカニズムを使用しません。ただし、OPI を使用してスプールを高速化することができます。

使用するシステムで、他のいずれのテクノロジーもサポートされていない場合は、このテクノロジーを使用してください。

#### **[印刷] ダイアログ ボックスの設定**

- 1- OPI を使用 (画像をスプールしない)



## 印刷テクノロジー

### 最適化されたポストスクリプト

最適化されたポストスクリプトは、画像データを再利用可能な PostScript フォームにキャッシュします。この機能により、一意の各画像は一度のみ送信され印刷プロセスが高速化されます。

#### ヒント：

プリンタ ドライバには、[PostScript 出力オプション] の機能を、[速度の最適化] または [移植性の最適化] に変更できるものがあります。印刷速度を最高にするには、[PostScript 出力オプション] を [速度の最適化] に変更します。このプロパティは、[プリンタ ドライバ / アドヴァンス オプション] にあります。

#### [印刷] ダイアログ ボックスの設定

1. プリンタ内蔵 HDD にフォームを保存
2. キャッシュ サイズ指定
3. OPI を使用 (画像をスプールしない)



## 印刷テクノロジー

AHT (Windows のみ)

AHT RIP をお使いの場合は、このテクノロジーを選択してください。AHT では、最適化されたポストスクリプトと同様の最適化メカニズムが使用されています。

### **[印刷] ダイアログ ボックスの設定**

1. プリンタ内蔵 HDD にフォームを保存
2. キャッシュ サイズ指定
3. OPI を使用 (画像をスプールしない)





## 印刷テクノロジー

Creo VPS

VPS (Variable Print Specifications) は、PostScript の拡張言語で、クレオ社が作成し管理しています。

PrintShop Mail では、VPS によって、ページ上の各要素を再利用可能（繰り返し発生するもの）またはインライン（一度のみ発生するもの）に分類します。このように分類することによって、画像データの再利用が可能な場合、VPS RIP がそれを識別することができます。そのため、不要な反復処理が回避され、印刷プロセスが高速化します。

「最適化された PostScript」と VPS との大きな相違点の 1 つは、VPS は PostScript とは異なり、ラスタライズされたデータを使用します。

### [印刷] ダイアログ ボックスの設定

1. **ブックレットを生成します。**ブックレットを使用して各サブセットにフィニッシング（たとえば、綴じ仕様など）を適用することができます。サブセットは、同一レコードに属する一連のページを指します。3 つのレイアウトを含む書類で、レイアウトの条件設定機能やレイアウト繰り返し機能を使用していない場合、各サブセットは、3 ページで構成されます。

2. **APR を使用します。**APR (Automatic Picture Replacement) は、VPS RIP の画像置換機能を使用し印刷プロセスを高速化します。APR 画像フォーマット サポートは EPS のみで使用可能ですが、RIP のバージョンによっては、TIFF、JPEG など、他のフォーマットがサポートされている場合もあります。



## 印刷テクノロジー

Fiery FreeForm

FreeForm は、書類のデータがいくつかの階層に分割されており、この中にテキストおよび画像オブジェクトが含まれることを利用しています。

FreeForm ジョブのマスター階層には、静的なオブジェクトのみが含まれていますが、バリエーション階層には、レイアウトにおけるオブジェクトの順序によって、バリエーション データと静的データの両方が混在している可能性があります。これは、FreeForm ではマスター階層のデータを、バリエーション階層の最上位のデータに印刷できないためです。

これらの層は、2 つの別のジョブで FreeForm RIP に送信されます。必ずしも同時に送信されるとは限りません。マスター データ ジョブは、ラスターライズされ、ユーザー定義の数値で構成される ID の下で保存されます。RIP によって、このラスターライズされたマスター データと、同一のIDを参照するラスターライズされた任意のバリエーション データ ジョブが重ねられます。このようにして、同一のマスター データを異なるバリエーション データ ジョブに再利用することが可能になります。  
オブジェクトが分割される仕組み

静的なオブジェクトには、レコード セット全体を通じて不変のコンテンツが含まれています。画像オブジェクトが定数結果の式の場合は、その画像オブジェクトは静的です。テキスト オブジェクトにバリエーション マーカーが含まれていない場合は、そのテキスト オブジェクトは静的です。PDF オブジェクトは常に静的です。その他のオブジェクトはすべて可変であるとみなされます。レコード セット内の最後の 2 つの異なるレコードについてコンテンツが同じ場合には、バリエーション オブジェクトは再利用できます。

印刷時には、PrintShop Mail は、レイアウトの背面のオブジェクトから前面まで、できるだけ多くの静的なオブジェクトをマスター階層に割り当てようとしています。最初のバリエーション オブジェクトまでのすべての静的なオブジェクトは、マスター階層に定義されます (ただしバリエーション オブジェクトは含みません)。その他のオブジェクトはすべてバリエーション階層になります。バリエーション階層で再利用できるデータはすべて、PostScript フォームにキャッシュされます。

**注：**Freeform を使用する場合には、レイアウトのオブジェクト順で、静的オブジェクトがバリエーション オブジェクトの先頭にあるようにします。

FreeForm では、ページ ピッキングは完全にはサポートされていません。特に、条件を設定してレイアウトをスキップする機能はサポートされていません。

### プリファレンス設定

1. フォーム番号マスター データ ジョブは、数値 ID によって識別されます。

### [印刷] ダイアログ ボックスの設定

1. プリンタ内蔵 HDD にフォームを保存
2. キャッシュ サイズ指定
3. OPI を使用 (画像をスプールしない)

### 印刷テクノロジーの特別な設定:

1. マスター データの送信
2. バリエーション データの送信
3. マスターおよびバリエーション データの送信



## 印刷テクノロジー

Fiery FreeForm 2

FreeForm は、書類のデータがいくつかの階層に分割されており、この中にテキストおよび画像オブジェクトが含まれることを利用しています。

FreeForm ジョブのマスター階層には、静的なオブジェクトのみが含まれていますが、バリエーション階層には、レイアウトにおけるオブジェクトの順序によって、バリエーション データと静的データの両方が混在している可能性があります。これは、FreeForm ではマスター階層のデータを、バリエーション階層の最上位のデータに印刷できないためです。

これらの層は、2 つの別のジョブで FreeForm RIP に送信されます。必ずしも同時に送信されるとは限りません。マスター データ ジョブは、ラスタライズされ、ユーザー定義の数値で構成される ID の下で保存されます。RIP によって、このラスタライズされたマスター データと、同一のIDを参照するラスタライズされた任意のバリエーション データ ジョブが重ねられます。このようにして、同一のマスター データを異なるバリエーション データ ジョブに再利用することが可能になります。オブジェクトが分割される仕組み

静的なオブジェクトには、レコード セット全体を通じて不変のコンテンツが含まれています。画像オブジェクトが定数結果の式の場合は、その画像オブジェクトは静的です。テキスト オブジェクトにバリエーション マーカーが含まれていない場合は、そのテキスト オブジェクトは静的です。PDF オブジェクトは常に静的です。その他のオブジェクトはすべて可変であるとみなされます。レコード セット内の最後の 2 つの異なるレコードについてコンテンツが同じ場合には、バリエーション オブジェクトは再利用できます。

印刷時には、PrintShop Mail は、レイアウトの背面のオブジェクトから前面まで、できるだけ多くの静的なオブジェクトをマスター階層に割り当てようとします。最初のバリエーション オブジェクトまでのすべての静的なオブジェクトは、マスター階層に定義されます (ただしバリエーション オブジェクトは含みません)。その他のオブジェクトはすべてバリエーション階層になります。バリエーション階層で再利用できるデータはすべて、PostScript フォームにキャッシュされます。

**注：**Freeform を使用する場合には、レイアウトのオブジェクト順で、静的オブジェクトがバリエーション オブジェクトの先頭にあるようにします。

FreeForm 2 は、FreeForm の拡張機能です。相違点は次のとおりです。

1. FreeForm 2 では、ページ ピッキングがサポートされています。
2. FreeForm 2 のマスター ID は、数値ではなく名前で構成されます。

### プリファレンス設定

1. **マスター ID** マスター データ ジョブは、名前によって識別されます。

### オプション

1. プリンタ内蔵 HDD にフォームを保存
2. キャッシュ サイズ指定
3. OPI を使用 (画像をスプールしない)

### 印刷テクノロジーの特別な設定:

1. マスター データの送信
2. バリエーション データの送信
3. マスターおよびバリエーション データの送信



## 印刷テクノロジー

PPML

PPML は、Personalized Printing Markup Language の略です。ファイルには、パーソナライズされた印刷ジョブ全体についての記述およびそのコンテンツの印刷に必要なすべての要素（レイアウトおよびバリエーション データ）が含まれています。

PrintShop Mail に実装されている PPML テクノロジーは、PPML/VDX とほぼ同一のテクノロジーです。相違点は、コンテンツ（PDF） およびページ レイアウトの記述（PPML） が個別に送信される点です。

### Windows の場合

[印刷] ダイアログ ボックスの設定で次の項目を選択できます。

#### 1. ZIP アーカイブの作成

確認が完了すると、PDF およびPPML ファイルは圧縮されプリンタに送信されます。このオプションは、PPML-ZIP ファイルを、特定のプリンタに対して使用します。ZIP ファイルには PPML ファイルと PDF ファイルが含まれています。

#### 2. PDF に埋め込まれた画像

チェック時には、pdf、eps、tiff、jpeg、gif の画像フォーマットのみがサポートされています。

#### 3. 環境

[環境] の設定で指定されたパスにより、グローバル スコープに設定した画像が環境に配置されます。後日利用できるように、コンシューマ（RIP）に画像が格納/キャッシュされます。

#### 4. 送信

##### 4.1- すべての画像が送信されます。

グローバル スコープまたはローカル スコープに設定した画像を含む PDF ファイルが作成されます。またこのオプションはこの PDF を使用して、ローカル スコープおよびグローバル スコープ画像の使用を指示する PPML ジョブも作成します。グローバル スコープに設定された画像は、指定された環境に保存されます。このジョブが完了すると、繰り返し印刷するプロジェクトに対して、たとえば、[ローカル画像の送信] オプションを使用して、グローバル スコープを再利用できます。

##### 4.2- グローバル画像の送信

グローバル スコープに設定された画像を含む PDF ファイルが作成されます。またこのオプションはこの PDF を使用して、これらの画像を指定された環境に保存することを指示する PPML ジョブも作成します。

##### 4.3- ローカル画像の送信

ローカル スコープに設定された画像を含む PDF ファイルが作成されます。またこのオプションはこの PDF を使用して、指定された環境に保存されたこれらのローカルおよびグローバル画像の使用を指示する PPML ジョブも作成します。したがって、グローバル スコープに設定された画像は指定された環境に存在する必要があります。グローバル スコープに設定された画像は、PPML ジョブでのみ参照されます。

**注：**[環境] と[送信] の設定は、PPML に習熟していない場合は変更しないでください。

PPML の詳細は、次の PODi (Print On Demand Initiative) の Web サイトを参照してください。 <http://www.podi.org>

PrintShop Mail では、グローバル スコープとしたい画像に対して使用できるオプションを提供しています。**[プロパティ パネル]** で画像のグローバル スコープが [はい] に設定されている場合、画像はグローバル スコープとなります。繰り返し印刷するプロジェクトの場合、PPML の主要な利点は、グローバル スコープを使用して再利用可能オブジェクトを参照できることです。この機能により、送信するデータセットのサイズを縮小でき、再利用可能オブジェクトの反復処理を無用にすることができます。

### Mac OS の場合

Mac OS の場合は、印刷ダイアログ ボックス ([ファイル] > [印刷] > [PrintShop Mail]) に、PPML.zip のオプションがあります。このオプションはすべての画像を対象とします。この機能により、PrintShop Mail ジョブで使用されたすべての画像のコピーが作成されます。PPM.zip オプションが選択されていない場合は、そのジョブで使用された画像への参照を含む PPML ファイルが出力されます。



## 印刷テクノロジー

PPML/VDX 7 (Windows のみ)

PPML/VDX is an abbreviation for Personalized Print Markup Language/Variable Data Exchange. PPML/VDX では、再利用可能なコンテンツ要素が一度のみ発生する、最適化された PDF ファイルが出力されます。このファイルには、ページレイアウトを記述する PPML データのブロックも含まれます。

**注** : PPML/VDX 7 では、インストールに際し Adobe Acrobat® および Distiller® が必要です。

正確な出力を支援するために、Printshop Mail インストール フォルダー内に Acrobat Distiller のバージョン 5、6、または 7 用の「PSMail joboptions」ファイルがあります。

これらの設定により、Acrobat Distiller は最適化された PDF を作成する際に、フォント、色、画像などを処理します。これを行うには、Distiller ジョブオプションを変更することにより、これらの PML および VDX 用の出力オプションを変更できます。変更したい ジョブオプション ファイルをダブルクリックし、変更後保存してください。

PSMailx. ジョブオプション ファイルは、PrintShop Mail インストール フォルダーに保存する必要があります。このフォルダーは実行可能ファイルの隣にあります。「x」により Acrobat Distiller のファイルに対応するバージョンが識別されます。

Acrobat Distiller ジョブオプションに関する詳細は、Acrobat Distiller のヘルプを参照してください。

### [印刷] ダイアログ ボックスの設定

#### 1. 環境

[環境] の設定で指定されたパスにより、グローバル スコープに設定した画像が環境に配置されます。後日利用できるように、コンシューマ (RIP) に画像が格納/キャッシュされます。

#### 2. 送信

2.1- すべての画像が送信されます。

グローバル スコープまたはローカル スコープに設定した画像を含む PDF ファイルが作成されます。またこのオプションはこの PDF を使用して、ローカル スコープおよびグローバル スコープ画像の使用を指示する PPML ジョブも作成します。グローバル スコープに設定された画像は、指定された環境に保存されます。このジョブが完了すると、繰り返し印刷するプロジェクトに対して、たとえば、[ローカル画像の送信] オプションを使用して、グローバル スコープを再利用できます。

##### グローバル画像の送信

グローバル スコープに設定された画像を含む PDF ファイルが作成されます。またこのオプションはこの PDF を使用して、これらの画像を指定された環境に保存することを指示する PPML ジョブも作成します。

2.3- ローカル画像の送信

ローカル スコープに設定された画像を含む PDF ファイルが作成されます。またこのオプションはこの PDF を使用して、指定された環境に保存されたこれらのローカルおよびグローバル画像の使用を指示する PPML ジョブも作成します。したがって、グローバル スコープに設定された画像は指定された環境に存在する必要があります。グローバル スコープに設定された画像は、PPML ジョブでのみ参照されます。



## 印刷テクノロジー

PrintStreamer (Mac OS のみ)

この印刷テクノロジーは、マスターファイルと可変データの2つの別個のファイルをRIPに送ります。

[印刷] ダイアログ ボックスの設定

1. OPI を使用 (画像をスプールしない)

**印刷テクノロジーの特別な設定:**

1. マスターおよびバリアブル データの送信
2. マスター データの送信
3. バリアブル データの送信



## 印刷テクノロジー

VIPP

VIPP は、Variable-data Intelligent PostScript Printware の略です。このテクノロジーによる出力は、再利用可能画像が一度のみ発生する PostScript ストリームです。

VIPP と最適化されたポストスクリプトとの主な相違点は、VIPP では PostScript フォームではなく、独自のVIPP固有メカニズムを使用して画像がキャッシュされます。キャッシュされた画像はただちに印刷できるフォーマットで保存されます。

### 印刷テクノロジーの特別な設定:

1. **画像ファイル (EPS, TIFF, JPEG) は、スプールしないでください。** このオプションでは、繰り返し使用される画像を RIP へ 2 回送信することはできません。出力には、プロジェクト フォルダ内でソートされた画像に対する参照 (ファイル名) のみが含まれます。
2. **プロジェクト フォルダ** : このオプションを使用して、繰り返し使用する画像をその場で格納することができます。また、ジョブを印刷する前に、(VIPP 対応の) RIP のプロジェクト フォルダに格納することができます。フォルダ名は、[印刷] ダイアログで指定できます。

カプセル化された VIPP では、次の画像フォーマットがサポートされます。JPEG、TIFF、EPS、および PDF。

**注** : このテクノロジーは、カプセル化された VIPP 対応の RIP を必要とします。また、アップグレード済みのハードウェア キーが VIPP をサポートする必要があります。ハードウェア キーのアップグレード手順の詳細は、次の項を参照してください。PrintShop Mail のアップグレード。



## 印刷設定

### 書類の印刷

作成した書類の**ページ設定**によって、出力先のプリンタ、用紙サイズ、ソース、および使用する印刷媒体のその他の特性を指定することができます。

[印刷] ダイアログ ボックスの設定は、現在の印刷ジョブにのみ適用されますが、[ページ設定] ダイアログ ボックスの設定内容は書類ファイルに保存されます。

各レイアウトに対してそれぞれ異なる**ページ設定**を指定できますが、レイアウトは 1 つのプリンタにのみ送信できます。この機能により、用紙サイズ (**Windows のみ**)、配置方向、媒体の種類、およびフィニッシング オプションを、作成した書類全体でミックスすることができます。ただし、お使いのプリンタがこの機能をサポートしている必要があります。

### Windows の場合

**ページ設定**を変更する方法は 2 通りあります。

1. [ファイル] > [ページ設定] をクリックし、[現在のレイアウト]、[このレイアウト以降]、または [書類全体] を選択します。
2. [プロパティ パネル] で [レイアウト] タブを選択し、1 つ以上のレイアウトを選択します。さらに [ページ設定] を選択して [...] ボタンをクリックします。
3. レイアウトを右クリックし、[ページ設定] を選択してダイアログを開きます。

[ページ設定] ダイアログ ボックスを使用して、プリンタのオプションおよびジョブを印刷する媒体を指定してください。

### Mac OS の場合

**ページ設定**を変更する手順

1. [ファイル] メニューの [ページ設定] を選択します。
2. このダイアログ ボックスで次の項目を変更できます。
  - 設定
  - フォーマット
  - 配置方向
  - 拡大縮小倍率

このダイアログ ボックスを使用して、プリンタ オプションおよびジョブの印刷に使用する媒体を指定してください。





## サブセット フィニッシング

書類の印刷

### サブセット フィニッシングについて

PrintShop Mail では、サブセットは、同一レコードに属する一連のページと定義されています。設定時に、レイアウト繰り返し機能またはレイアウト条件の設定を使用した場合、各サブセットのページ数は、書類に含まれるレイアウトの数と等しくなります。

サブセット フィニッシングはフィニッシング オプション (綴じ仕様など) を印刷ジョブ内の各サブセットに適用するプロセスです。

### サブセット フィニッシングを使用する手順

[印刷] の [プロパティ] ボタン、または [印刷設定] ダイアログ ボックスの [アドヴァンスド] ボタンを使用して、プリンタ ドライバのフィニッシング オプションを指定できます。

PrintShop Mail では、特定の PostScript 命令を出力に組み込み、フィニッシング オプションの適用を指定することができます。

組み込む命令は、[組み込みポストスクリプト] ダイアログ ボックスで指定できます。

独自の PostScript を作成して保存することができます。**[新規作成]** を使用して、作成した PostScript に名前を付けることができます。[ページ開始位置]、[ジョブ開始位置]、および [セット間] で設定した命令が保存されます。また、**[デフォルトとして設定]** ボタンを選択して、設定内容をデフォルトに設定することもできます。

このダイアログ ボックスの場所

- このダイアログ ボックスの場所  
[ファイル] > [組み込みポストスクリプト]  
4 つのオプションがあります。

- 全般** : このオプションを使用して、作成した PostScript に対して名前と説明を入力できます。
- ページ開始位置** : この指示は、各ページの開始位置に挿入されます。
- ジョブ開始位置** : この指示は、各ジョブのヘッダーに挿入されます。
- セット間** : このフィールドで設定した指示は、セット間に挿入されます。

綴じ仕様については、デフォルトの設定 (一般サブセット フィニッシング) を使用してください。

## 自動印刷



## 自動印刷

概要

### 自動印刷について

PrintShop Mail では、書類のオープンや印刷など一定のタスクの自動化ができます。

#### Windows の場合

Windows Explorer のウィンドウで PrintShop Mail 書類のファイルを右クリックすると、メニューに [印刷] と表示されます。PrintShop Mail を起動せずに書類を印刷できます。また、PrintShop Mail 書類を特定のプリンタにドラッグすることもできます。

次の使用可能な機能を使用して、印刷プロセスをより高度な方法で自動化することができます。

コマンドライン引数を使用した自動印刷

拡張スクリプトを使用した自動印刷

DDE を使用した自動印刷



この機能を使用するには、自動印刷のオプションを有効化する必要があります。PrintShop Mail のアップグレードを参照して、この機能を追加する方法を学習してください。

#### Mac OS の場合

PrintShop Mail により、印刷プロセスを大幅に自動化できます。PrintShop Mailで書類を開き、Printコマンドを選択するかわりに、本プログラムでは、HotFolder をモニターして、必要なファイル(PrintShop Mail 書類および/もしくはデータベース ファイル)が見つかりしだい、すぐに印刷するように指示を出します。

HotFolderを使用した自動印刷



## 自動印刷 (Windows のみ)

コマンドライン引数の使用

PrintShop Mail に対して、一定のアクションの実行命令をコマンドラインで発行することができます。

次のコマンドライン引数がサポートされています。

引数	説明
<書類名>	たとえば、PrintShop Mail の書類のファイル名は「 <i>Mailing November.psm5</i> 」という名前になります。
-p	指定された書類をデフォルトのプリンタに出力します。例 : <i>Document.psm5 -p</i>
-pt	指定された書類を特定の、引用符で囲まれたプリンタに出力します。例 : <i>Document.psm5 -pt "Laserwriter 16/600"</i>
-db <データベース>	指定された書類を特定のデータベースにリンクします。例 : <i>Document.psm5 -db "Database.mdb"</i>

### コマンドライン引数を使用する手順

コマンドライン引数の簡単な使用例を、次の手順で作成できます。

1. たとえば、「Sample.psm5」という PrintShop Mail 書類を作成します。
2. この書類で使用するデータベースを作成します。または、既存のデータベースを PrintShop Mail 書類を保存したフォルダにコピーします。
3. PrintShop Mail の実行可能ファイルへのショートカットを作成します。通常、このファイルは C:\Program Files\PrintShop Mail \PSMail51.exe にあります。このショートカットを手順 1 で作成した書類の保存フォルダにコピーします。
4. ショートカットを右クリックして、[プロパティ] を選択します。「ターゲット」フィールドで、ターゲットに書類名を追加し書類を指定します。C:\Program Files\PrintShop Mail\PSMail51.exe" Sample.psm5 のようになります。

作成したショートカットをダブルクリックすると、PrintShop Mail が起動して指定された書類が開きます。これで、サポートされている他のコマンドライン引数をターゲットに追加し使用する準備が完了しました。

例 :

"C:\Program Files\PrintShop Mail\PSMail51.exe" Sample.psm5 -db "Database.mdb"

"C:\Program Files\PrintShop Mail\PSMail51.exe" Sample.psm5 -p

### ショートカットへのデータベースのドロップ

PrintShop Mail でサポートされる任意のデータベースをドロップして開くためのショートカットを作成することができます。そのためには、[ショートカットのプロパティ] の "ターゲット" フィールドに次のテキストを指定します。

"C:\Program Files\PrintShop Mail\PSMail51.exe" Sample.psm5 -db

データベースをショートカットにドロップすると PrintShop Mail が起動し、ドロップしたデータベースを含む 書類 Sample.psm5 が開きます。



## 自動印刷

(Windows のみ)

拡張スクリプトの使用

拡張スクリプトは、すばやく柔軟に印刷ジョブを自動化できる手法です。この機能を使用して、任意のデータベースと結合されたあらゆる PrintShop Mail 書類を任意のプリンタに出力することができます。拡張スクリプト ジョブを、プリンタを使用しない特定の日にスケジュールすることも可能です。

アクションまたは一連のアクションは、通常のプレーンテキストで指定し、そのファイルを PrintShop Mail のショートカットに追加して実行できます。

1. PrintShop Mail の実行可能ファイルへのショートカットを作成します。通常、このファイルは C:\Program Files\PrintShop Mail\PSMail51.exe にあります。
2. ショートカットのプロパティの [ターゲット] に "-script scriptfile.txt" を追加します。

このスクリプトで、一定のアクションを実行する一連の定義済みコマンドを指定することができます。次のコマンドがサポートされています。

コマンド	説明
FileOpen ファイル名	指定された書類を開きます。別の書類が開いている場合、その書類を自動的に閉じます。例： <i>FileOpen C:\Documents\MassMailing.psm5</i> C:\Documents フォルダから PrintShop Mail 書類、MassMailing.psm5 を開きます。
FileClose	現在開いている書類を閉じます。 例： <i>FileClose</i>
FilePrint	現在開いている書類をデフォルトのプリンタに出力します。 例： <i>FilePrint</i>
FilePrintTo プリンタ名	現在開いている書類を指定されたプリンタに出力します。プリンタ名は [プリンタのプロパティ] で指定された名前と同一の名前です。 例： <i>FilePrint Distiller</i> 現在開いている書類を Distiller プリンタに出力します。
SetPrintTech テクノロジー	現在の印刷テクノロジーを変更します。 例： <i>SetPrintTech Standard</i> PrintTechnology として [Optimized PostScript] を使用して書類を保存した場合は、「SetPrintTech Standard」で、Print Technology として [標準的なポスト スクリプト] を使用して書類が印刷されます。
FilePrintRange 開始 終了	指定されたレコード範囲をデフォルトのプリンタに出力します。 注：レコード範囲はデフォルト以外のプリンタには出力できません。 例： <i>FilePrintRange 5 10</i> 現在開いている書類のレコード 5 ~ 10 を出力します。
FileExit	PrintShop Mail を終了します。このコマンドの後のスクリプト コマンドは実行されません。 例： <i>FileExit</i>
DatabaseOpen ファイル名	指定されたデータベースを開きます。別のデータベースが開いている場合、その書類を自動的に閉じます。 例： <i>DatabaseOpen C:\Documents\Example.mdb</i> C:\Documents フォルダから Microsoft Access データベース、Example を開きます。
DatabaseOpenODBC ソース	指定されたデータソースを開きます。別のデータベースが開いている場合、その書類を自動的に閉じます。 例： <i>DatabaseOpenODBC MyDSN</i> MyDSN というデータソースを開きます。
DatabaseFilter フィルタ	指定されたフィルタでデータベースをフィルタリングします。 例： <i>DatabaseFilter [CITY] = 'New York'</i> データベースをフィルタリングします。この場合、CITY フィールドの値が「New York」であるレコードのみが使用されます。
DatabaseClose	現在開いているデータベースを閉じます。例： <i>DatabaseClose</i>

## 拡張スクリプトのジョブを作成する手順

拡張スクリプトのジョブは、次の手順で作成します。

1. たとえば、「Sample.psm5」という PrintShop Mail 書類を作成して保存します。
2. 実行するすべてのコマンドを含むテキスト ファイルを作成します。
3. PrintShop Mail へのショートカットを作成します。
4. 引数 "-script scriptfile.txt" をコマンドラインに追加します ('scriptfile.txt' はコマンドの入ったテキスト ファイルです)。

スクリプト ファイルで、実行するすべてのコマンドを指定します。

```
FileOpen ScriptTest.psm5
FilePrint
FileExit
```

この簡単なスクリプト ファイルによって、書類、ScriptTest.psm5 が開きデフォルトのプリンタに出力され、PrintShop Mail は終了します。

次のように、別の書類の使用を指定して、バッチプ ロセスを作成できます。

```
FileOpen ScriptTest.psm5
FilePrint
FileOpen AnotherDocument.psm5
FilePrint
FileExit
```

書類、ScriptTest.psm5 が開きデフォルトのプリンタに出力されます。そのプロセスが完了すると、第 2 の書類、AnotherDocument.psm5 が開き同様にデフォルトのプリンタに出力されます。FilePrintTo コマンドを使用して別のプリンタを指定することもできます。最後に、PrintShop Mail が終了します。

異なるデータベースを含む同一書類を使用することも可能です。

```
FileOpen ScriptTest.psm5
FilePrint
DatabaseOpen AnotherDatabase.MDB
FilePrintTo Printer2
FileExit
```

前述のスクリプトにより、書類、ScriptTest.psm5 が開きデフォルトのプリンタに出力されます。このプロセスが完了すると、データベース、AnotherDatabase.MDB が開き、「Printer2」という別のプリンタに出力されます。最後に、PrintShop Mail が終了します。

前述のコマンドを組み合わせ使用することもできます。

```
FileOpen ScriptTest.psm5
FilePrintRange 5 10
DatabaseOpen AnotherDatabase.MDB
FilePrintRange 10 15
DatabaseOpen ThirdDatabase.XLS
FilePrintTo Printer2
FileOpen Document2.psm5
FilePrint
FileExit
```

前述のスクリプトにより、PrintShop Mail 書類、ScriptTest.psm5 が開き、レコード 5 ~ 10 がデフォルトのプリンタに出力されます。このプロセスが完了すると、データベース、AnotherDatabase.MDB が開き、レコード 10 ~ 15 がデフォルトのプリンタに出力されます。次に、データベース、ThirdDatabase.XLS が開き、すべてのレコードがプリンタ Printer2 に出力されます。最後に、PrintShop Mail 書類、Document2.psm5 が開きデフォルトのプリンタに出力され、PrintShop Mail が終了します。

書類を作成したときに使用した印刷テクノロジーを変更したり、別の印刷テクノロジーを使用して同じ書類を印刷することもできます。

```
FileOpen Script Test.psm5
SetPrintTech Optimized
FilePrint
FileOpen Script Test.psm5
SetPrintTech Standard
FilePrint
```



引数 <technology> として、あらかじめ定義された次の値のいずれかを使用します。

印刷テクノロジー	スクリプト値
Standard PostScript	SetPrintTech Standard
Optimized PostScript	SetPrintTech Optimized
AHT	SetPrintTech AHT
Creo VPS	SetPrintTech VPS
FreeForm	SetPrintTech FreeForm
FreeForm2	SetPrintTech FreeForm2
PPML	SetPrintTech PPML
PPML/VDX	SetPrintTech PPMLVDX
VIPP	SetPrintTech VIPP

## データベース フィルタ

データベース フィルタはフィールド名、演算子、および条件で構成されます。次のデータベースを例に説明します。

NAME	CITY	GENDER
Eddy	New York	M
Pamela	Los Angeles	F
Tim	Washington	M
Robert	New Jersey	M

このデータベースで使用できるファイル名は、Name、City、および Gender です。このデータベースにはレコードが 4 つあります。

演算子は、次の一覧に示す ANSI SQL 演算子のいずれかです。

=	等しい
<>	等しくない
<	より小さい
>	より大きい
<=	以下
>=	以上

フィルタを使用して、SQL 文の WHERE 句を構成します。予約語である WHERE は、レコード セットのフィルタリングには使用できません。

Distinct、Like、および Between 以外のすべての SQL コマンドがサポートされています。SQL コマンドの詳細情報は、次のサイトを参照してください。www.sql.org.

CITY フィールドの値が「New York」であるレコードを選択して印刷する場合は、次の行をスクリプト ファイルに追加します。

```
DatabaseFilter [CITY] = 'New York'
```

結果：レコードは 1 つのみ印刷されます。

**注：**条件値「New York」を囲む引用符として、一重引用符を使用しました。SQL では、一重引用符を使用してテキスト値を囲みます。数値は引用符で囲まないでください。

[GENDER] の値が「F」ではないすべての人物に郵便物を送信するとします。フィルタは次のようになります。

```
DatabaseFilter [GENDER] <> 'F'
```

結果：3 つのレコードが印刷されます。

または、[GENDER] の値が「F」であるか、[CITY] の値が「Washington」ではないすべてのレコードを印刷するとします。

```
DatabaseFilter [GENDER] = 'F' OR [CITY] <> 'Washington'
```

結果：3 つのレコードが印刷されます。

データベース フィルタの 3 つの例を説明しました。非常に高度で強力なデータベース フィルタも作成できます。高度な例については、お手元の SQL のドキュメントまたはオンライン リソースを参照してください。

データベース内の複数の表にあるデータが必要な場合は、SQL または MS Access で問合せを作成して、問合せの結果を、Excel ファイル、Access ファイル、またはテキスト ファイルにエクスポートすることができます。このファイルは、PrintShop Mail でデータベースとして使用できます。

## **ジョブのスケジューリング**

特定のジョブを特定の日時に実行するように、スケジュールすることができます。そのためには、Windows スケジューラを使用します。Windows スケジューラの詳細およびスケジュールされたタスクを作成する手順は、Microsoft Windows® のマニュアルを参照してください。



## 自動印刷 (Windows のみ)

DDE の使用

DDE (Dynamic Data Exchange) による印刷の自動化は、コマンドライン引数を使用する方法より柔軟な方法ですが、Visual Basic、C++ などの DDE をサポートするプログラミング言語の知識が必要です。Win32 API のドキュメントを参照して、DDE 接続の確立方法を学習してください。

PrintShop Mail の DDE Server へ接続するには、PrintShop Mail が稼動していることを確認し、サーバー PrintShopMail5 に対する DDE 接続を開きます。

### Visual C++ 6.0

```
// include "ddeml.h"
UINT iReturn = DdeInitialize(&idInst, (PFNCALLBACK)DdeCallback,
A0;A0;A0;APPCLASS_STANDARD | APPCMD_CLIENTONLY, 0);
HSZ hszApp = A0;A0::DdeCreateStringHandle(idInst, "PrintShopMail5", 0);
HSZ hszTopic = ::DdeCreateStringHandle(idInst, "C:¥¥untitled.psm5", 0);
HCONV hConv = ::DdeConnect(idInst, hszApp, hszTopic, NULL);
::DDEExecute(idInst, hConv, "[FileExit]");
```

### Visual Basic 6.0

```
TextBox.LinkTopic = "PrintShopMail5|Connect" ' リンク トピックの設定
TextBox.LinkMode = vbLinkManual ' リンク モードの設定
On Error Resume Next '実際には実行しているのに、
'TextBox は DDE が稼動していないとみなす
TextBox.LinkExecute "[FileExit]"
On Error GoTo 0
```

PrintShop Mail では、次の DDE コマンドをサポートしています。

コマンド	説明
[FileNew]	現在の書類 (開いている書類がある場合) を閉じ新規書類を作成します。
[FileOpen "ファイル名"]	指定された書類を開きます。
[FileClose]	現在の書類を閉じます。
[FilePrint]	現在の書類をデフォルトのプリンタに出力します。
[FilePrintRange "開始,"終了"]	一連のレコードをデフォルトのプリンタに出力します。
[FileExit]	PrintShop Mail を終了します。
[DatabaseOpen "ファイル名"]	指定されたデータベースを開きます。
[DatabaseClose]	現在のデータベースを閉じます。
[DatabaseOpenODBC "ソース"]	指定された ODBC データソースを開きます。

注：この修正は、PrintShop Mail 5.1 以降にのみ適用されます。PrintShop Mail 4.x および 5.x では若干異なります。





## 自動印刷

(Mac OS のみ)

### HotFolder の使用方法

この機能により、複数のユーザがデータベース ファイルや書類を HotFolder にドロップして、簡単に(コンピュータから PrintShop Mail プログラムにアクセスする必要もなく)印刷ジョブを実行できます。

#### HotFolder の初期化

- 1 - [PrintShop Mail] メニューから [プリファレンス] を選択し、オプショングループの [HotFolder] をクリックします。
- 2 - [編集] ボタンをクリックして、HotFolder が指定された書類を探します。
- 3 - PrintShop Mail 書類をすべて閉じ、[ファイル] メニューから [HotFolder をモニタリングする] を選択します。
- 4 - モニタリングと書類の自動印刷を止めるには、[キャンセル] ボタンをクリックします。

#### HotFolder 使用法

- 1 - PrintShop Mail 書類を作成して、HotFolder 内に保存します。  
書類の自動印刷中はユーザが行う処理はないため、保存前に書類を十分確認してください。
- 2 - 書類またはデータベース ファイルを HotFolder にドロップします。  
30 秒以内に、PrintShop Mail は有効な PrintShop Mail 書類にデータベースを組み合わせ、印刷ジョブを開始します。  
HotFolder 以外に、3 レベルのサブフォルダにデータベース ファイルをドロップできます。これは複数のユーザが、異なるデータベースファイルでメールを作成する場合に便利です。
- 3 - PrintShop Mail による書類の印刷が完了すると、データベースファイルは HotFolder の隣に作られた [PSMAIL\_PRINTED] フォルダへ移されます。PrintShop Mail 書類は移動されないため、再度使用できます。
- 4 - PrintShop Mail は動作の記録をログファイルに書き込みます。ログファイルのタイムスタンプは、PrintShop Mail がアクティブになると自動的に調整されるため、タイムスタンプを使って PrintShop Mail が稼動中かどうかを確認できます。  
PrintShop Mail 書類またはデータベース ファイルが見つからない場合でも、ログファイルは更新されます。ログファイルは、HotFolder 同じ場所に置かれています

# 書類操作の基礎

## アイテムのプロパティ



### プロパティ パネル

書類操作の基礎

### プロパティ パネル

[プロパティ パネル] は、PrintShop Mail の画面の一部で、現在選択されているアイテムのプロパティが表示されます。プロパティ パネルを隠して、レイアウトをより多く表示することもできます。このようにするには、[プロパティ]、[レイアウト]、[バリエーション]、[データベース] または [警告] をクリックします。

これらのプロパティは、[プロパティ パネル] で次のように分類されています。

#### 枠のプロパティ

これらのアイテムは、アイテムを囲むバウンディング ボックス（枠）に適用されます。

オプション	説明
オブジェクト名	このオブジェクトを表す一意の名前
位置をロックする	オブジェクトの位置、サイズ、および回転角度の属性をロックします。
バウンディング ボックス	左上隅の位置、高さ、および幅を使用してバウンディング ボックスのサイズを表示します。これらの値は手入力することも可能です。
枠をコンテンツに吸着 (Windows のみ)	このオプションが「はい」に設定されていると、オブジェクトのバウンディング ボックス（枠）のサイズは自動的に画像サイズに合わせて変更されます。または、テキスト ボックスに収まらないバリエーション テキストの場合は、垂直方向にサイズが変更されます。「いいえ」に設定されていると、バリエーション テキストがボックスに収まらない場合は、印刷時に確認の警告メッセージが表示されます。
枠の線幅	枠の線幅を変更します。ヘアライン幅またはピクセル幅 (1 ~ 12 ピクセル) を選択できます。また、カスタムの線幅を作成することもできます。
枠の色	標準色から 1 色選択できます。または、カスタムで RGB または CMYK による枠の色を作成することができます。
枠のスタイル (Windows の場合のみ)	枠のスタイルを選択します。次のオプションがあります。 実線 四角い点線 破線 1 点破線 長いダッシュの破線 長いダッシュの 1 点破線 長いダッシュの 2 点破線
塗りの色	枠を塗りつぶす不透明な色を指定するか、透明に設定します (塗りつぶしなし)。
回転角度	現在アイテムに適用される回転角度を表示します。

## コンテンツ

これらのアイテムは、オブジェクトのプロパティの説明となります。

オプション	説明
<b>整列</b>	水平および垂直の整列を指定します。 画像 水平方向：左寄せ、中央寄せ、右寄せ 垂直方向：上寄せ、中央寄せ、下寄せ テキスト 水平方向：左寄せ、中央寄せ、右寄せ、頭揃え 垂直方向：上寄せ、中央寄せ、下寄せ
<b>画像の拡大縮小 (画像のみ)(Windows のみ)</b> <b>クリッピング (Mac OS の場合)</b>	オブジェクト枠を基準に、画像サイズを変更するオプションを指定できます。 <b>元のサイズ</b> ：画像は、枠のサイズにかかわらず、常に元のサイズで表示されます。枠が小さくなると、画像は切り取られます。画像の拡大縮小は行われません。 <b>枠にフィット</b> ：枠に合わせて、画像の縦横比を維持しながら画像のサイズを変更します。画像の切り取りは行われません。 <b>枠に合わせてカット</b> ：画像を枠に合わせて同じ比率で拡大縮小します。画像が切り取られる場合があります。
<b>コピー フィットting (テキスト ボックスのみ)</b>	コピー フィットtingは、テキストボックスの収容面積を超えるテキスト量がある場合に、フォントサイズを縮小してテキストを自動的に小さくする機能です。フォントサイズは、テキストがテキストボックスに収まるように縮小されます。しかし、テキストは指定された最小サイズ以下に縮小されることはありません。
<b>空白行の削除 (テキスト ボックスのみ)</b>	「いいえ」に設定されている場合、テキスト ボックスに空白行が表示されます。このオプションを「はい」に設定すると、空白行は削除されます。[バリエーションの場合のみ] オプションを指定すると、バリエーション オブジェクト内の空白行のみが削除されます。2 つのバリエーション間の空白行は削除されません。
<b>縦書き (テキスト ボックスのみ) (Windows の場合のみ)</b>	この設定は、特にアジア言語の文字を含む縦書きテキスト用に設計されています (他の文字は90度回転するだけです)。この機能は、Windows XP および Windows 2003 でサポートされます。
<b>画像ファイル名 (画像のみ)</b>	フル パスを含む画像ファイル名を表示します。コンテンツは式ビルダからのみ変更できます。
<b>画像フォルダ (画像のみ)</b>	このオプションは、バリエーション画像が格納されているパスを指します。このアイコンをクリックすると、別の検索フォルダを参照できます。
<b>サブフォルダの検索 (画像のみ)</b>	PrintShop Mail が現在のフォルダのみを検索する (「いいえ」に設定されている場合) か、サブフォルダも検索する (「はい」に設定されている場合) かを指定します。

オブジェクト名には、次の制限事項が適用されます。

- 先頭または末尾に白いスペースは使用できない
- 文字数は最大 255 文字
- 複数のオブジェクトが選択されている場合は編集できない

## Mac OS の場合

[式ビルダ] ウィンドウのチェックボックスを使用して、[空白行の削除] 機能を切り替えることができます。



## PDF ページのプロパティ

書類操作の基礎

### PDF ページのプロパティを指定する手順

#### Windows の場合

1. PDF を表すオブジェクトをクリックします。
2. [プロパティ パネル] でプロパティを指定します。

[-] オブジェクト	
名前	PDF 1
[-] フレーム	
位置をロックする	<input checked="" type="checkbox"/> はい
[-] バウンディング ボックス	
左	0
上	0
幅	209.903
高さ	297.039
[-] 枠の線	
枠の線	境界なし; 黒; 黒
サイズ	境界なし
色	<input checked="" type="checkbox"/> 黒
スタイル	<input checked="" type="checkbox"/> 黒
塗りつぶしの色	<input type="checkbox"/> 透明
[-] コンテンツ	
画像ファイル名	..\..\..\PSMail Example.pdf
PDF ページ番号	1

#### Mac OS の場合

1. PDF を表すオブジェクトをダブルクリックします。または、[アイテム] メニューの [オブジェクト プロパティの表示] を選択します。
2. プロパティを指定します。
3. [OK] をクリックします。



バウンディング ボックスで位置を指定します。

オプション	指定内容
オブジェクト名	このオブジェクトを表す一意の名前
位置をロックする	オブジェクトの位置、サイズ、および回転角度の属性をロックします。
水平位置 (Windows の場合) X 座標 (Mac OS の場合)	作成したレイアウトの左上隅からオブジェクト枠左上隅への水平方向のオフセット
垂直位置 (Windows の場合) Y 座標 (Mac OS の場合)	作成したレイアウトの左上隅からオブジェクト枠左上隅への垂直方向のオフセット
幅	オブジェクトの幅
高さ	オブジェクトの高さ

注：

次のオブジェクトの場合、編集ボックスは読み取り専用です。ロックされている場合 PDF をレイアウトに配置する際、[ファイル] > [PDF ベース] を使用した場合は、左上隅位置はロックされ、PDF は元の比率で拡大縮小できます。幅と高さは変更できます。

ボーダー ボックスで表示形態を指定します。

オプション	指定内容
枠の線幅	枠の幅をポイント数で表したものを
枠の色	オブジェクトを囲む枠の色
枠のスタイル (Windows のみ)	オブジェクトを囲む枠のスタイル
塗りの色	塗りの色は透明の設定もできます。また、色で塗りつぶす設定も可能です。Windows の標準のパレットを使用できますが、RGB または CMYK スライドバーを使用してカスタム色を作成することもできます。

コンテンツ ボックスで PDF 画像の属性を指定します。

オプション	指定内容
画像ファイル名	PDFのファイル名、およびページが定義されるパス
PDF ページ番号	PDF のページ番号 (1 から PDF のページ番号まで)



## 固定画像とバリエーション画像のプロパティ

書類操作の基礎

### 画像のプロパティを指定する手順

#### Windows の場合

1. 固定画像を表すオブジェクトをクリックします。
2. [プロパティ パネル] でプロパティを指定します。

位置をロックする	いいえ
□ バウンディング ボックス	39.952; 20.373; 25.4; 31.044
左	39.952
上	20.373
幅	25.4
高さ	31.044
枠をコンテンツに吸着	いいえ
□ 枠の線	境界なし; 黒; 黒
サイズ	境界なし
色	■ 黒
スタイル	— 黒
塗りつぶしの色	□ 透明
回転	0°
□ <b>コンテンツ</b>	
□ 整列	中央寄せ; 中央寄せ
水平	中央寄せ
垂直	中央寄せ
画像の大きさ	フレームをはめる
画像ファイル名	C. van der Bijl photo.tif
画像フォルダー	..\
サブフォルダーの検索	いいえ

#### Mac OS の場合

1. 画像オブジェクトをダブルクリックするか、またはA0:[アイテム] メニューの [オブジェクト プロパティの表示] を選択します。
2. プロパティを指定します。
3. [OK] をクリックします。

バウンディング ボックスで位置を指定します。

オプション	指定内容
オブジェクト名	このオブジェクトを表す一意の名前
位置をロックする	オブジェクトの位置、サイズ、および回転角度の属性をロックします。
水平位置 (Windows の場合) X 座標 (Mac OS の場合)	作成したレイアウトの左上隅からオブジェクト枠左上隅への水平方向のオフセット
垂直位置 (Windows の場合) Y 座標 (Mac OS の場合)	作成したレイアウトの左上隅からオブジェクト枠左上隅への垂直方向のオフセット
幅	オブジェクトの幅
高さ	オブジェクトの高さ
枠をコンテンツに吸着 (Windows の場合のみ)	このオプションが「はい」に設定されていると、オブジェクトのバウンディング ボックス (枠) のサイズは自動的に画像サイズに合わせて変更されます。または、テキスト ボックスに収まらないパリアブル テキストの場合は、垂直方向にサイズが変更されます。「いいえ」に設定されていると、パリアブル テキストがボックスに収まらない場合は、印刷時に確認の警告メッセージが表示されます。

注：次のオブジェクトの場合、編集ボックスは読み取り専用です。ロックされている場合

ボーダー ボックスで表示形態を指定します。

オプション	指定内容
枠の線幅	枠の線幅を変更します。ヘアライン幅またはピクセル幅 (1 ~ 12 ピクセル) を選択できます。また、カスタムの線幅を作成することもできます。
枠の色	標準色から 1 色選択できます。または、カスタムで RGB または CMYK による枠の色を作成することができます。
枠のスタイル (Windows のみ)	枠のスタイルを選択します。次のオプションがあります。 実線 四角い点線 破線 1 点破線 長いダッシュの破線 長いダッシュの 1 点破線 長いダッシュの 2 点破線
塗りの色	塗りの色は透明の設定もできます。また、色で塗りつぶす設定も可能です。Windows の標準のパレットを使用できますが、RGB または CMYK スライドバーを使用してカスタムの色を作成することもできます。
回転角度	右回りの回転角度

コンテンツ ボックスで固定画像の属性を指定します。

オプション	指定内容
整列 (水平)	画像の水平方向の整列 (左寄せ、中央寄せ、右寄せ)
整列 (垂直)	画像の垂直方向の整列 (上寄せ、中央寄せ、下寄せ)
画像の拡大縮小 (Windows の場合)	<b>元のサイズ</b> ：画像は、枠のサイズにかかわらず、常に元のサイズで表示されます。枠が小さくなると、画像は切り取られます。画像の拡大縮小は行われません。
クリッピング (Mac OS の場合)	<b>枠にフィット</b> ：枠に合わせて、画像の縦横比を維持しながら画像のサイズを変更します。画像の切り取りは行われません。 <b>枠に合わせてカット</b> ：画像を枠に合わせて同じ比率で拡大縮小します。画像が切り取られる場合があります。
画像ファイル名	画像のファイル名とパス
画像フォルダ	このオプションは、画像が格納されているパスを指します。
サブフォルダの検索	PrintShop Mail が現在のフォルダのみを検索する (「いいえ」に設定されている場合) か、サブフォルダも検索する (「はい」に設定されている場合) かを指定します。





## テキストのプロパティ

書類操作の基礎

### テキストのプロパティを指定する手順

#### Windows の場合

1. テキスト オブジェクトをクリックします。
2. [プロパティ パネル] でプロパティを指定します。

□	<b>マレーム</b>	
	位置をロックする	いいえ
+	バウンディング ボックス	37.042; 65.881; 52.387; 30.956
	枠をコンテンツに吸着	いいえ
□	枠の線	境界なし; 黒; 黒
	サイズ	境界なし
	色	■ 黒
	スタイル	— 黒
	塗りつぶしの色	□ 透明
	回転	0°
□	<b>コンテンツ</b>	
□	整列	左寄せ; 上
	水平	左寄せ
	垂直	上
□	コピー フィットting	いいえ; 8
	フォント サイズを小さく...	いいえ
	最小フォント サイズ	8
	空白行を削除します。	いいえ
	垂直レイアウト	いいえ
□	<b>印刷中</b>	
	色スペース	RGB

#### Mac OS の場合

1. テキスト オブジェクトをダブルクリックします。または、[アイテム] メニューの [オブジェクト プロパティの表示] を選択します。
2. プロパティを指定します。
3. [OK] をクリックします。



バウンディング ボックスで位置を指定します。

オプション	指定内容
オブジェクト名	このオブジェクトを表す一意の名前
位置をロックする	オブジェクトの位置、サイズ、および回転角度の属性をロックします。
水平位置 (Windows の場合) X 座標 (Mac OS の場合)	作成したレイアウトの左上隅からオブジェクト枠左上隅への水平方向のオフセット
垂直位置 (Windows の場合) Y 座標 (Mac OS の場合)	作成したレイアウトの左上隅からオブジェクト枠左上隅への垂直方向のオフセット
幅	オブジェクトの幅
高さ	オブジェクトの高さ
枠をコンテンツに吸着 (Windows のみ)	このオプションが「はい」に設定されていると、オブジェクトのバウンディング ボックス (枠) のサイズは自動的に画像サイズに合わせて変更されます。または、テキスト ボックスに収まらないバリアブル テキストの場合は、垂直方向にサイズが変更されます。「いいえ」に設定されていると、バリアブル テキストがボックスに収まらない場合は、印刷時に確認の警告メッセージが表示されます。

注：次のオブジェクトの場合、[水平位置]、[垂直位置]、[幅]、および [高さ] の編集ボックスは読取り専用です。ロックされている場合

ボーダー ボックスで表示形態を指定します。

オプション	指定内容
枠の線幅	枠の幅をポイント数で表したものの
枠の色	オブジェクトを囲む枠の色Windows の標準のパレットを使用できますが、RGB または CMYK スライドバーを使用してカスタムの色を作成することもできます。
枠のスタイル (Windows のみ)	枠のスタイルを選択します。次のオプションがあります。 実線 四角い点線 破線 1 点破線 長いダッシュの破線 長いダッシュの 1 点破線 長いダッシュの 2 点破線
塗りの色	塗りの色は透明の設定もできます。また、色で塗りつぶす設定も可能です。Windows の標準のパレットを使用できますが、RGB または CMYK スライドバーを使用してカスタムの色を作成することもできます。
回転角度	右回りの回転角度

コンテンツ ボックスでテキストの属性を指定します。

オプション	指定内容
整列 (水平)	テキストの水平方向の整列 (左寄せ、中央寄せ、右寄せ、頭揃え)
整列 (垂直)	テキストの垂直方向の整列 (上寄せ、中央寄せ、下寄せ)
コピー フィットティング	コピー フィットティングは、テキストボックスの収容面積を超えるテキスト量がある場合は、フォントサイズを縮小して、テキストを自動的に小さくする機能です。フォントサイズは、テキストがテキストボックスに収まるように縮小されます。しかし、テキストは指定された最小サイズ以下に縮小されることはありません。
空白行を削除します。	「いいえ」に設定されている場合、テキスト ボックスに空白行が表示されます。たとえば、バリエーションが住所で、データベースに空のレコードがある場合に役立ちます。この機能を選択すると、空のフィールドによって生成された空白行が保持されます。 「はい」に設定されていると、データベース内の空のフィールドによって生成された空白行と手入力で挿入された空白行の両方が削除されます。 「バリエーションの場合のみ」に設定されていると、バリエーションのみのすべての空白行が削除されます。固定オブジェクトの空白行は保持されます。
縦書き	この設定は、縦に印刷する必要があるアジア言語の文字用に設計されています。他の言語の文字は 90 度回転するだけです。 この機能は、Windows XP および Windows 2003 でのみサポートされています。

印刷ボックスでテキストの色の設定を指定します。

オプション	指定内容
色スペース	CMYK A0;では、オブジェクト全体でテキストの色を統一する必要があります。この場合には、各テキスト オブジェクトは 1 色にしか関連付けできないという制約があります。

# テキストのフォーマット



## テキスト スタイル

書類操作の基礎

### テキスト スタイルについて

#### Windows の場合

テキスト オブジェクトの任意の部分のテキスト スタイル (たとえば、フォント、サイズ、色、スタイル属性) を変更することができます。バリエーションのテキスト スタイルは、そのバリエーションの先頭のバリエーション マーカーのスタイルによって決まります。

PrintShop Mail では、次のフォント スタイルがあります。

- 標準
- **太字** (Ctrl + B)
- *斜体* (Ctrl + I)
- 下線 (Ctrl + U)
- 上付き文字
- 下付き文字
- 取り消し線

**注：** 上付き、下付き文字または取り消し線を選択する場合は、[テキスト] メニューの [フォント] を選択します。これらのフォント スタイルは組み合わせて使用できます。

フォントの制限事項：

- 作成した書類に PostScript フォントを使用するには、Adobe Type Manager が必要です。
- OpenType フォントを使用するには、Windows 2000、XP、または 2003 が必要です。

#### 1 つ以上のテキスト オブジェクトにテキスト スタイルを適用する手順

1. オブジェクトを選択します。
2. テキスト スタイルを適用します。

#### テキスト スタイルを一連の文字に適用する手順

1. テキスト オブジェクトをダブルクリックして編集モードにします。
2. 文字を選択します。
3. 次のツールバーの適切なボタンをクリックします。[テキストのフォーマット] ツールバー。(または、[テキスト] メニューの [フォント]、[サイズ]、[スタイル]、または [色] を選択します。)

#### カスタムのフォント サイズを指定する手順

- [フォント] メニューで、[サイズ] サブメニューの [その他] を選択します。
- 次のツールバーの [フォント サイズ] ポップアップで、選択したテキストを編集します。[テキストのフォーマット] ツールバー。

**注：** たとえば、ポイントの指定は 0.5 単位で丸められます。たとえば10.3 ポイントの指定は、10.5 ポイントとなります。

#### テキストの色を指定する手順

[テキストのフォーマット] ツールバーの [テキストの色] ボタンのドロップ ダウン アローをクリックします。これで、定義済みの色指定パレットにアクセスできます。

このパレットには、カスタムで色を追加できます。パレットの下の [カスタム] ボタンをクリックします。標準の [色] ダイアログ ボックスが表示されます。

このダイアログ ボックスには次のようにアクセスします。[テキスト] > [色]

スポイト ツール ([ツール])



## 段落のスタイル

書類操作の基礎

### 段落スタイルについて

段落は、次のようなフォーマット プロパティを共有する一連の文字です。

- 整列
- マージン
- インデント
- タブ
- フォーマットのマーク
- コピー フィットting

段落は、改行マークで区切られます。

新しい段落を開始する場合は、[Enter] キーを押し、テキストを入力します。

### Windows の場合

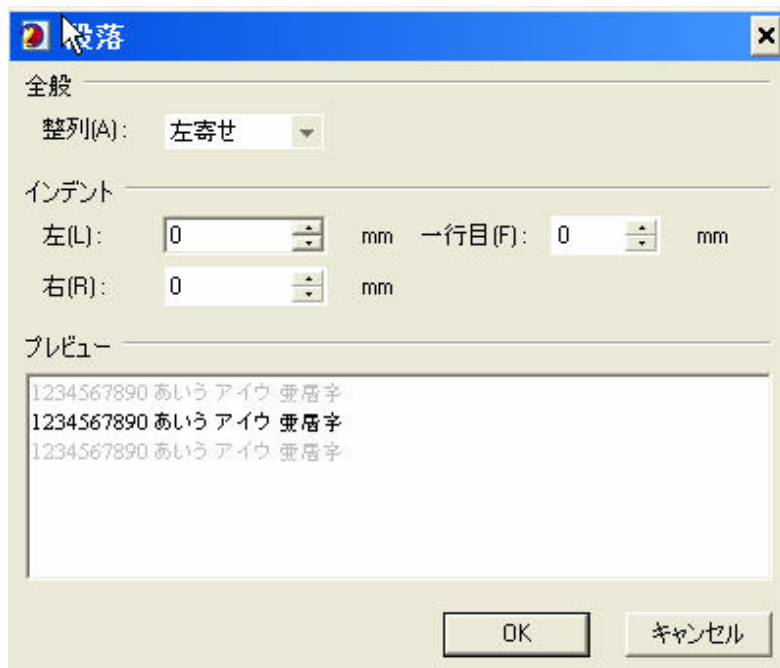
#### テキストを整列する手順

整合設定を1 つ以上のテキスト オブジェクトに含まれる すべての段落に適用する場合は次の手順に従います。

1. 対象とするオブジェクトを選択します。
2. 次のツールバーの整列ボタンをクリックします。[テキストのフォーマット] ツールバー。または [プロパティ パネル] で、[整列] を選択します。

テキストの整列を特定の段落に対して設定する場合は次の手順に従います。




1. テキスト オブジェクトをダブルクリックして編集モードにします。
2. 段落を選択します。
3. 次のツールバーの整列ボタンをクリックします。[テキストのフォーマット] ツールバー。または、[テキスト] メニューの [段落] を選択します。ダイアログ ボックスで、整列、マージン、および第 1 行目のインデントの値を指定できます。現在の設定が?プレビューできる、表示例が提示されます。



#### タブ位置について

タブを使用すると、テキストを左、右、または中央に揃えることができます。

次のタブが選択できます。

-  左タブ      テキストはタブ位置から右側に配置されます。
-  中央タブ      テキストはタブ位置でセンタリングされます。
-  右タブ      テキストは、タブのスペースがすべて埋まるまではタブ位置の左側に配置され、その後は右側に配置されます。

## タブ位置を変更する手順

デフォルトのタブ位置を変更する場合は次の手順に従います。

1. [テキスト] メニューの [規定タブ位置] を選択します。
2. 行間の値を選択します。

カスタムのタブ位置の設定または解除には、次の 2 つの方法があります。

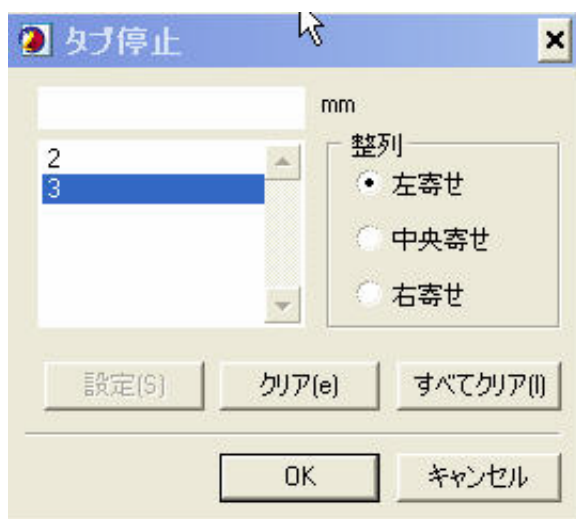
- [タブ位置] ダイアログ ボックスを使用する方法
- 水平定規を使用する方法

[タブ位置] ダイアログ ボックスを使用する手順

1. テキスト オブジェクトをダブルクリックして編集モードにします。
2. 段落を選択します。
3. [テキスト] メニューの [規定タブ位置] を選択します。

タブ位置の基準は、テキスト オブジェクトの左端です。

4. タブを追加する場合は、編集ボックスに値を入力して [設定] をクリックします。
5. 整列設定を追加する場合は、次のオプションを使用できます。
  - **左**：テキストはタブ位置から右側に配置されます。
  - **中央**：テキストはタブ位置でセンタリングされます。
  - **右**：テキストは、タブのスペースがすべて埋まるまではタブ位置の左側に配置され、その後は右側に配置されます。
6. 位置と整列の設定解除は、リスト ボックスで目的の設定を選択して [クリア] をクリックします。



## フォーマットのマーク

PrintShop Mail A0;では、テキスト オブジェクト内でフォーマット マークの非表示・表示を制御することができます。フォーマットのマークは、改行、タブおよびスペースです。デフォルトでは、PrintShop Mail の起動直後は、すべてのフォーマットのマークは非表示になっています。

[表示] の [フォーマットのマーク] を選択するか、または次のツールバーで [フォーマットのマークの表示] または [フォーマットのマークの非表示] ボタンを使用して、フォーマットのマークを表示することができます。[ビュー] ツールバー。これによって、すべてのテキスト オブジェクトについて、マークの表示と非表示が切り替えられます。

フォーマットのマークは、外観を見やすくするだけのもので、A0;印刷はされません。このマークは、書類のズーム倍率に合わせて、また周囲のテキストのフォント サイズに合わせて拡大縮小されます。このマークは、テキストを編集しているときも表示されます。

改行記号: ¶  
スペース記号: .  
タブ記号: (右矢印)

## コピー フィットting

[コピー フィットting]A0; オプションを使用すると、テキスト オブジェクト内のテキストの量、および枠のサイズに合わせて、A0; テキスト オブジェクトで使用したフォントが自動的にサイズ調整されます。





このオプションを変更するには、次のようにします。

1. テキスト ボックスを選択します。複数のテキスト ボックスがある場合は、すべて選択します。
2. [プロパティ パネル] の [コンテンツ] で、[コピー フィットting] を選択します。
3. [フォント サイズを小さくする] を [はい] に設定します。
4. [最小フォント サイズ] を適切な値に変更します。

## Mac OS の場合

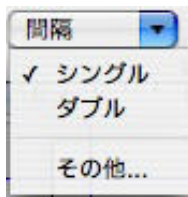
### テキストを整列する手順

1. テキスト オブジェクト内にカーソルを位置付けます。
2. 書類ツールバーで適切なボタンをクリックするか、または [テキスト] メニューの [整列] サブメニューでコマンドを選択します。

ツールバー	[整列] メニュー	説明
	左	テキスト オブジェクトのテキストを左に整列する
	中央寄せ	テキスト オブジェクトのテキストを中央に整列する
	右	テキスト オブジェクトのテキストを右に整列する
	位置調整	テキスト オブジェクトのテキストの位置を調整する

### 段落設定を変更する手順

テキストの行間は、テキスト ボックスを編集モードにし、PrintShop Mail の定規上の [行間] ポップアップ メニューを使用して設定できます。



行間の設定には、テキスト オブジェクトをダブルクリックして調整したいテキストを選択し、[行間] ポップアップ メニューの [シングル]、[ダブル]、または [その他] を選択します。

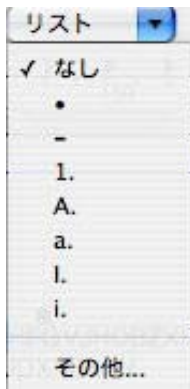


[その他] を選択した場合は、行の高さ (行の上端からその下の行の上端までの距離)、行間 (行の下端からその下の行の上端までの距離)、および段落の間隔 (段落の下端からその下の第 1 行目の上端までの距離) のオプションを選択してください。

## 項目一覧の作成

黒丸や数字を使用して、一覧の項目を目立たせることができます。

1. テキスト オブジェクト内にカーソルを位置付けます。
2. [一覧] ポップアップ メニューで黒丸または数字を選択します。黒丸または数字をカスタマイズするには、[その他] を選択します。



## デフォルトのタブ位置を変更する場合は次の手順に従います。

テキスト ボックスの編集モードで表示される定規を使用して、マージン、段落のインデント、およびタブ位置を設定できます。

タブ位置は 4 種類、マージンは 2 種類あり、それぞれ形の異なるアイコンで示されます。

- 右向きの三角形は、テキストが行頭揃えされるタブ位置を示します。
- 菱形は、テキストがセンタリングされるタブ位置を示します。
- 左向きの三角形は、テキストが行末揃えされるタブ位置を示します。
- 円は、小数点が揃うタブ位置を示します。
- 下向きの三角形は、ページのマージンを示します。
- 水平の矩形は、パラグラフの第 1 行目のインデントを示します。

水平定規を使用する場合は次の手順に従います。

1. 水平定規を左クリックして段落マーカーを表示します。  
マーカーの種類は、2 つの定規が交差する領域 (左上) に表示される段落マーカー ボタンの状態が決まります。



2. 段落マーカーボタンを左クリックすると、第 1 行目のインデントを含む段落マーカーの使用可能な種類がすべて順に表示されます。このボタンを右クリックすると、メニューにある段落マーカーが選択できます。

**注：** 水平定規を使用して左および右のマージンも指定できます。左右のマージンを指定する場合は、テキスト ボックスの左端または右端で左クリックして、マージンを目的の位置にドラッグします。

## コピー フィットting

このオプションを変更するには、次のようにします。

1. テキスト ボックスを選択します。
2. [アイテム] メニューから [オブジェクト プロパティの表示] を選択します。
3. [オブジェクト プロパティ] で、[コピー フィットting] を [はい] に変更します。
4. [最小フォント サイズ] を適切な値に変更します。

## レイアウトの基本



### レイアウトの基本

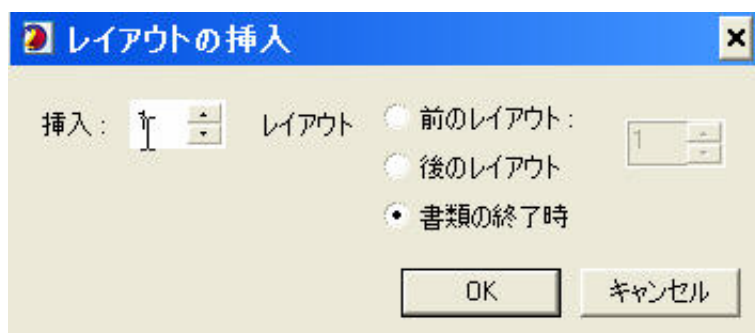
書類操作の基礎

#### レイアウトについて

PrintShop Mail 書類は、複数のレイアウトで構成することができます。

#### レイアウトを挿入する手順

[レイアウト] メニューの [挿入] を選択します。  
これで、レイアウトの挿入、削除、移動、コピーができます。



#### 現在の書類にあるレイアウトを追跡する手順

##### Windows の場合

[プロパティ パネル] の [レイアウト] タブを選択します。または、[ビュー] ツールバーレイアウトを参照します。

##### Mac OS の場合

[ウインドウ] メニューの [書類レイアウトの表示] を選択するか、または書類レイアウトのツールバーでレイアウトを参照します。



### レイアウトを複製する手順

#### Windows の場合

1. [プロパティ パネル] の [レイアウト] タブで複製するレイアウトを右クリックします。
2. [複製]を選択します。  
または、複製するレイアウトを参照します。次のように実行します。[ビュウ] ツールバー を使用して [レイアウト] メニューからレイアウトを選択し、[複製] を選択します。

#### Mac OS の場合

1. 複製するレイアウトを表示します。
2. [レイアウト] メニューの [複製] を選択します。

### レイアウトを削除する手順

#### Windows の場合

1. [プロパティ パネル] の [レイアウト] タブで、削除するレイアウトを右クリックします。
2. [削除]を選択します。  
または、削除するレイアウトを参照します。次のように実行します。[ビュウ] ツールバー を使用して [レイアウト] メニューからレイアウトを選択し、[削除] を選択します。

#### Mac OS の場合

1. 削除するレイアウトを表示します。
2. [レイアウト] メニューの [削除] を選択します。

### 現在選択されているページのレイアウトのサイズと配置方向を変更する手順

1. [レイアウト] メニューの [サイズ] を選択します。
2. 必要な項目を変更します。

Windows では、変更は次の内容に適用されます。

- 現在のレイアウト
- このレイアウト以降
- 書類全体

**注** : Mac OS では、PrintShop Mail は同じ書類内で複数のレイアウト サイズをサポートしません。



## ガイド ライン

書類操作の基礎

### ガイド ラインについて

ガイド ラインは、印刷されない格子線で、オブジェクトのアレンジおよび配置に役立ちます。オブジェクトをガイド ラインから一定の距離内に移動した場合、またはその中に収まるようにサイズを変更した場合、選択されているオブジェクトはそのガイド ラインに吸着されます。

### ガイド ラインを表示する手順



1. **(Windows の場合)**: [挿入] メニューの [ガイド ライン] を選択するか、定規を左クリックします。垂直のガイドを表示するには水平の定規を使用し、水平のガイドを表示するには垂直の定規を使用します。定規を左クリックすると、作業領域の左上隅に表示されているアイコンの種類により、ガイド ラインまたは折り線が付加されます。このアイコンをクリックし、[ガイド ライン] アイコンに変更します。

**(Mac OS の場合)**: [ビュー] メニューの [レイアウト定規] を選択します。

水平または垂直のガイド ラインを選択します。

**注**: ガイド ラインをドラッグすると、デフォルトでは、既存オブジェクトに吸着されます。**Windows の場合**は、[ビュー] メニューの [ガイドをオブジェクトに吸着] オプションを選択するか、または消去すると、この動作を変更できます。**Mac OS の場合**、[ビュー] メニューの [ガイドに吸着] を選択して、動作を変更できます。

### 「吸着」距離を設定する手順

オブジェクトのガイド ラインへの吸着の有効距離は、[プログラム設定 プリファレンス] にある [吸着の距離] で設定します。表示されるポイント数はガイドからの距離を表し、オブジェクトはこれの中でガイドの位置に描画されます。

### ガイド ラインを削除する手順

ガイド ラインは、レイアウト外の無効領域にドラッグすると削除できます。ドラッグ カーソルのアップデートで、線の移動または削除がマウス ボタンでできます。



## 折り線

書類操作の基礎

### 折り線について

折り線を使用して、書類に折り加工を行う位置を設定できます。折り線は、書類の可視部分に印刷されます（折り線は、書類が正しいサイズにカットされる場合でも残ります。たとえばブリード マージンがない場合でも印刷されます）。ガイドラインとは異なり、折り線は印刷に付随しているものなので、書類のいずれかの側、およびすべてのページに印刷されます。

### 折り線を追加する手順



1. **(Windows の場合)** : [挿入] メニューの [折り線] を選択するか、定規を左クリックします。垂直の折り線を追加するには水平の定規を使用し、水平の折り線を追加するには垂直の定規を使用します。定規を左クリックすると、作業領域の左上隅に表示されるアイコンの種類により、折り線またはガイドラインが追加されます。

**(Mac OS の場合)** : [ビュー] メニューの [レイアウト定規] を選択します。

水平または垂直の折り線を選択します。

### 折り線を変更する手順

- **長さ - 面付け設定 [プリファレンス]** ダイアログ ボックスを使用します。折り線の長さは、書類の表示部分の長さを指定します。(たとえば、マージンは除外など。次を参照してください。ブリード マージン)
- **色 - プログラム設定 A0:[プリファレンス]** ダイアログ ボックスを使用します。

### 折り線を削除する手順

折り線は、レイアウト外の無効領域にドラッグすると削除できます。ドラッグ カーソルのアップデートで、線の移動または削除がマウス ボタンでできます。



## ブリード マージン

書類操作の基礎

### ブリード マージンについて

ブリード マージンは、レイアウトの一部で、仕上がリページの端に印刷されます。

ページが印刷機で印刷されると、ブリード マージンは除去されます。

PrintShop Mail では、マージンは全レイアウト サイズに含まれます ([レイアウト] メニューの [サイズ] を参照)。

### 各レイアウトにブリード マージンを追加する手順

1. (Windows の場合) : [編集] メニューの [プリファレンス] を選択するか、または [Ctrl + K] キーを押します。  
(Mac OS の場合) : [PrintShop Mail] メニューの [プリファレンス] を選択するか、または [コマンド] キーを押します。



2. 左側のペインで、[面付け] アイコンをクリックします。
3. 次のいずれかを選択します。
  - なし : ブリード マージンなし
  - ジョブに追加 : ブリード マージンをレイアウト外に設定します。レイアウト サイズは大きくなります。
  - ジョブに含む : ブリード マージンをレイアウト内に設定します。レイアウト サイズは元のサイズと同じになります。

ブリード マージンを設定したら、[裁ちトンボ] オプションをチェックして [隙間のサイズ] を指定します。これは、裁ちトンボと書類の端との間の距離を表します。



## 裁ちトンボ

書類操作の基礎

### トンボについて

トンボは、マージンを裁ち落とし書類を所定のサイズに断裁するために印刷した線状のマークです。

トンボは、レイアウトにマージンが設定されている場合にのみ印刷されます。

### トンボを追加または除去する手順

1. (Windows の場合) : [編集] メニューの [プリファレンス] を選択します。  
(Mac OS の場合) : [PrintShop Mail] メニューの [プリファレンス] を選択します。
2. 左側のペインで、[面付け] アイコンをクリックします。

トンボは、次の 3 種類から選択できます。

なし

標準

日本語



注 : [間隔] は、断ち切りからトンボまでの間隔です。

# アイテムの操作



## アイテムの選択

書類操作の基礎

### アイテムを選択する手順

アイテムを選択するいくつかの方法があります。次の 2 つの方法があります。

#### Windows の場合

- 選択されたアクティブなアイテムを左クリックすると、選択を解除して新しいアイテムを選択できます。
- Shift キーまたは Ctrl キーを押したまま、レイアウト上の複数のアイテムを左クリックします。または複数のアイテムの周囲に選択ボックス (枠) をドラッグします。
- [編集] メニューの [すべて選択] (Ctrl + A) を選択します。

#### Mac OS の場合

- Shift キーを押しながら、レイアウト上のアイテムをクリックします。
- その周囲に選択ボックス (枠) をドラッグします。
- [編集] メニューの [すべて選択] (Ctrl + A) を選択します。

### 下に隠れているオブジェクトを選択する手順

アイテムがほかのアイテムの背後に隠れマウスでクリックできない場合は、Tab キーを繰り返し押し、表示されているレイアウトのオブジェクトを順に前面に表示します。

Shift キーと Tab キーを同時に押すと、1 つ前のオブジェクトを選択できます。

### 選択範囲を拡張する手順

選択範囲を拡張するいくつかの方法があります。次の 2 つの方法があります。

#### Windows の場合

- 選択されたアクティブなアイテムの選択が解除されないよう、Shift キーまたは Ctrl キーを押したまま操作します。
- 現在の選択範囲を拡張するには、Shift キーを押しながら追加するアイテムを左クリックします。
- 選択、非選択を切り替えるには、Ctrl キーを押しながらそのアイテムを左クリックします。

#### Mac OS の場合

- Shift キーを押しながら、レイアウト上のアイテムをクリックします。
- その周囲に選択ボックスをドラッグします。
- [編集] メニューの [すべて選択] (Ctrl + A) を選択します。





## オブジェクトの移動とサイズの変更

書類操作の基礎

### マウスを使用してアイテムを移動する手順

#### Windows の場合

- 1 つ以上のアイテムを選択します。
- 選択したアイテムを左クリックして、移動先にドラッグします。  
**注意**：ドラッグされたアイテムは、近くのガイドラインに吸着されます。次を参照してください。ガイドライン

#### Mac OS の場合

- 1 つ以上のアイテムを選択します。(Shift キーを押してクリック)
- 選択したアイテムをクリックして、マウスを押しのまま移動先にドラッグします。

### キーボードを使用してアイテムを移動する手順

#### Windows の場合

- 1 つ以上のアイテムを選択します。
- キーボードの矢印キーを使用して、選択したアイテムをレイアウト上の移動先に少しずつ移動させます。(オブジェクトは、1 回のキー操作で 1 ピクセル移動します。)

### 新しい座標を入力してアイテムを移動する手順 (アイテムを特定の場所に配置する手順)

#### Windows の場合

- アイテムを 1 つ選択します。
- [プロパティ パネル] の [枠] に、目的とする左および上の位置を入力します。

#### Mac OS の場合

- アイテムを選択します。
- [アイテム] メニューの [オブジェクトのプロパティの表示] を選択します。または、Shift キーを押しながらダブルクリックします。
- [位置] に、X 座標と Y 座標を入力します。
- [OK] をクリックします。

### マウスを使用してアイテムのサイズを変更する手順

- アイテムを 1 つ選択します。
- (Windows の場合)：いずれかのサイズ設定用のハンドルを左クリックします。  
(Mac OS の場合)：サイズ設定用のハンドルをクリックして、マウス ボタンを押します。
- ハンドルをドラッグしてオブジェクトのサイズを変更します。  
**注**：固定イメージの場合、サイズ変更後も画像の元の縦横比が必ず維持されます。その他のオブジェクトの場合は、Ctrl キーを押えながらドラッグすると、元の比率でサイズが変更されます。ドラッグする際、サイズを変更するアイテムの各辺は、近くのガイドラインに吸着されます。次を参照してください。ガイドライン

## 新しい寸法を入力してアイテムのサイズを変更する手順

### Windows の場合

1. アイテムを 1 つ選択します。
2. [プロパティ パネル] の [枠] に、変更後の幅と高さを入力します。

### Mac OS の場合

1. アイテムを選択します。
2. [アイテム] メニューの [オブジェクトのプロパティの表示] を選択します。または、Shift キーを押しながらダブルクリックします。
3. [位置] に、幅と高さを入力します。
4. [OK] をクリックします。



## アイテムのコピー

書類操作の基礎

### Windows の場合

#### マウスを使用してオブジェクトをコピーする手順

1. 選択したオブジェクトを 1 つ以上右クリックして、別の場所にドラッグします。
2. マウスボタンを放します。
3. メニューの [ここへコピー] を選択して、選択したオブジェクトを複製します。

#### クリップボードを使用してオブジェクトをコピーする手順

1. 1 つ以上のオブジェクトを選択します。
2. [編集] メニューから [コピー] (Ctrl + C) を選択します。

注：クリップボードの内容は、PrintShop Mail のほかのインスタンスも含め、任意のレイアウトに貼り付けることができます。

[編集] メニューから [貼り付け] (Ctrl + V) を選択します。

#### オブジェクトを複数のレイアウトに貼り付ける手順

作成した書類が複数のレイアウトで構成されている場合、その書類のすべてのページについて複数のコピーを作成できます。次のいずれかの手順に従ってください。

- [貼り付け先指定] を選択し [全書類] を選択して、クリップボードの内容を書類内の各レイアウトに貼り付けます。
- [貼り付け先指定] を選択し [残りの書類] を選択して、書類の残りの部分に (たとえば、次のレイアウトから始めてそれ以降の各レイアウトに) 貼り付けます。注：次のレイアウトが現在のレイアウトである場合は、[残りの書類] は使用できません。

注：現在のレイアウトが書類の中の最後のレイアウトである場合は、[残りの書類への貼り付け] オプションは使用できません。

### Mac OS の場合

1. オブジェクトを選択します。複数のオブジェクトを選択するには、Shift キーを押しながら各オブジェクトをクリックし、それらのオブジェクトを囲むようにボックスを描画します。現在のページのすべてのオブジェクトを選択するには、[編集] メニューの [すべて選択] を選択します。
2. [編集] メニューの [コピー] を選択します。
3. [編集] メニューの [貼り付け] を選択し、現在のレイアウト、または書類内の他のレイアウトにオブジェクトを貼り付けます。



## アイテムの整列

### 書類操作の基礎

#### アイテムを整列する手順

##### Windows の場合

**注：** 選択したアイテムの縁を最後に選択したオブジェクトに揃えます。オブジェクトの縁の左寄せ、右寄せ、上寄せ、下寄せが可能です。

1. 整列するアイテムを選択します。
2. 次のツールバーから整列ボタンを1つ選択します。[アイテム] ツールバー 選択したアイテムを右クリックして、[縁の整列] 下のサブメニューからオプションを選択することもできます。また、[アイテム] メニューから [縁の整列] を選択することも可能です。

例：左縁の整列前

例：左縁の整列後

左上の画像が最後に選択されたものです。

**ヒント：** 最後に選択したオブジェクトが不明な場合、たとえば、[すべてを選択] (Ctrl + A) を使用してすべてを選択した場合は、Shift キーを押しながら整列するオブジェクトを選択し直してください。

##### Mac OS の場合

1. Shift キーを押しながら整列するオブジェクトを選択します。または、整列の必要があるすべてのオブジェクトを囲む枠を描画します。
2. [アイテム] メニューで [整列] サブメニューを開きます。
3. サブメニューから使用できるオプションを 1 つ選択します。

##### 整列オプション

左縁

右縁

上縁

下縁

横中心

縦中心

##### 説明

選択されているオブジェクトを左縁に整列します。

選択されているオブジェクトを右縁に整列します。

選択されているオブジェクトを上縁に整列します。

選択されているオブジェクトを下縁に整列します。

選択されているオブジェクトを横方向の縁に整列します。

選択されているオブジェクトを縦方向の縁に整列します。



## アイテムのアレンジ

書類操作の基礎

### アイテムをアレンジし直す手順

アイテム (テキストオブジェクトや画像オブジェクト) は別のアイテムの前面または背後に移動できます。

1. アイテム (複数選択できます) を選択します。
2. [アイテム] メニューから [アレンジ] を選択します。(または、選択したアイテムを右クリックして、[アレンジ] を選択します。)
3. 適切なオプションを選択します。
  - **最前面へ** : オブジェクトを、他のすべてのオブジェクトの前面に移動します。
  - **前面へ** : オブジェクトを一つ前面へ移動します。
  - **背面へ** : オブジェクトを一つ背後へ移動します。
  - **最背面へ** : オブジェクトを他のすべてのオブジェクトの背後へ移動します。



## オブジェクトのロック

書類操作の基礎

### オブジェクトのロックについて

オブジェクトのロックは、サイズまたは位置の誤った変更を防止します。ただし、テキスト ボックス内のテキストはロック後も編集可能です。

### Windows の場合

#### オブジェクトをロックする手順

1. オブジェクトを選択します。
2. [アイテム] メニューの [位置のロック] を選択します。またはオブジェクトを右クリックして [ロック] を選択するか、[プロパティ パネル] で [位置をロックする] を [はい] に変更します。

#### オブジェクトのロックを解除する手順

1. ロックされたオブジェクトを選択します。
2. [アイテム] メニューの [位置ロックの解除] を選択します。またはオブジェクトを右クリックして [ロック解除] を選択するか、[プロパティ パネル] で [位置をロックする] を [いいえ] に変更します。

### Mac OS の場合

#### オブジェクトをロックする手順

1. オブジェクトを選択します。
2. [アイテム] メニューの [オブジェクトのプロパティの表示] を選択し、[ロック解除] をクリックします。または [アイテム] メニューの [位置をロックする] を選択します。

#### オブジェクトのロックを解除する手順

1. オブジェクトを選択します。
2. [アイテム] メニューの [オブジェクトのプロパティの表示] を選択し、[ロック] をクリックします。または [アイテム] メニューの [位置のロックを解除する] を選択します。



## テキスト オブジェクトのリンク

(Windows のみ)

書類操作の基礎

### テキスト オブジェクトのリンクについて

複数のテキスト オブジェクトをリンクし、オブジェクト間でテキストをオーバーフローさせることができます。

テキスト オブジェクトは同一ページ内、または異なるページ間でリンクできます (ページ オーバー フロー)。

テキスト オブジェクトをリンクする手順

1. テキストのオーバーフロー先のテキスト オブジェクトが存在することを確認します。
2. 最初のテキスト オブジェクトを選択します。
3. [テキスト] メニューの **[前方リンクの一致]** を選択します。または、[テキスト リンク] ツールバーの **[テキスト リンクの作成]** ボタンをクリックします。
4. オーバーフロー先のテキスト オブジェクト (オーバーフロー先オブジェクト) をマウス カーソルでポイントします。

**注：** リンクできるテキスト オブジェクトにマウスを移動すると、このオブジェクトの枠はリンクできる場合は緑になり、できない場合は赤になります。

## ツールバー リアファレンス



### ツールバーの概要

ツールバー リアファレンス

[データベース] ツールバー

[アイテム] ツールバー

[標準] ツールバー

[テキスト フォーマット] ツールバー

[テキスト リンク] ツールバー

[ツール] ツールバー

[ビュー] ツールバー



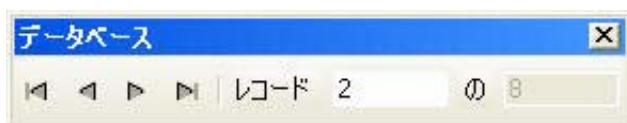


## [データベース] ツールバー

(Windows のみ)

書類操作の基礎

### [データベース] ツールバーについて



#### ボタン



Record 1

of 19

#### 目的

先頭レコードに戻ります。

1 つ前のレコードに戻ります。

次のレコードに進みます。

最終レコードに進みます。

現在のレコードに戻ります。

データベース内のレコードの合計件数を表示します。

**注：** [合計レコード件数] 編集ボックスは、データベースが開いている間は読取り専用です。その他の場合は、このボックスの内容を編集して、次の数値を変更することができます。データベースに依存しない件数



## [アイテム] ツールバー

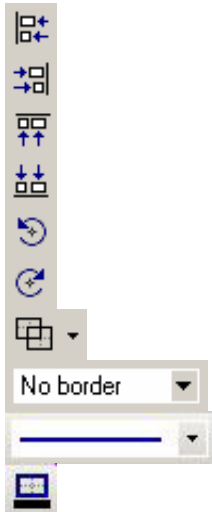
(Windows のみ)

書類操作の基礎

### [アイテム] ツールバーについて



#### ボタン



#### 目的

左縁を最後に選択したアイテムの左縁に揃えます。

右縁を最後に選択したアイテムの右縁に揃えます。

上縁を最後に選択したアイテムの上縁に揃えます。

下縁を最後に選択したアイテムの下縁に揃えます。

アイテムを左回りに 90 度回転させます。

アイテムを右回りに 90 度回転させます。

枠の背景色を選択します。

枠の線幅 (または枠なし) を指定します。

枠のスタイルを選択します。

枠の色を選択します。



## [標準] ツールバー

(Windows のみ)

書類操作の基礎

### [標準] ツールバーについて



#### ボタン



#### 目的

- レイアウトが空白な新規書類を作成します。
- 既存の書類を開きます。
- 現在の書類を保存します。
- 現在のジョブを印刷します。
- 選択されたアイテム (複数可) を切り取ります。
- 選択されたアイテム (複数可) をコピーします。
- 選択されたアイテム (複数可) を貼り付けます。
- 最後のアクションを取り消します。
- 最後のアクションをやり直します。

注：複数のアクションの取消またはやり直しを一度に実行する場合は、矢印の隣のドロップダウン リストをクリックします。



## [テキスト フォーマット] ツールバ

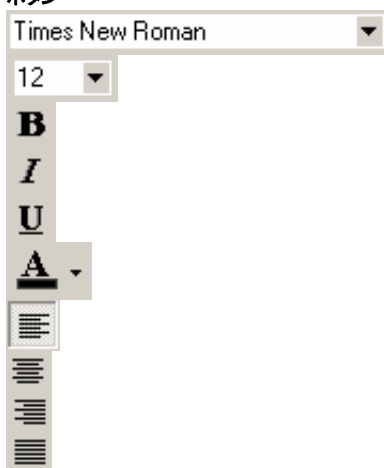
(Windows のみ)

書類操作の基礎

### [テキスト フォーマット] ツールバーについて



#### ボタン



#### 目的

- フォント名を選択します。
- フォント サイズを選択します。
- 選択したテキストを**太字**にします。
- 選択したテキストを*斜体*にします。
- 選択したテキストに下線を付けます。
- フォントの色を選択します。
- テキストを左揃えにします。
- テキストを中央揃えにします。
- テキストを右揃えにします。
- テキストをジャスティファイ (両端揃え) にします。



## テキスト リンク

(Windows のみ)

書類操作の基礎

### [テキスト リンク] ツールバーについて



#### ボタン



#### 目的

前方テキスト リンクの作成

前方テキスト リンクの解除

1 つ前のテキスト ボックスの選択

次のテキスト ボックスの選択

**注：**複数のテキスト ボックスをリンクして、オブジェクト間でテキストをフローさせることができます。テキスト ボックスは同一ページ内のほかに、異なるページ間でもリンクできます。



## [ツール] ツールバー

書類操作の基礎

### [ツール] ツールバーについて

#### Windows の場合



##### ボタン



##### 目的

ツールを選択します。

テキスト編集ツールを選択します。

拡大する場合は左クリック、縮小する場合は右クリックするか、または Ctrl キーを押しながら操作します。

画面上の任意のピクセルの RGB 値をベースとして、背景、テキスト、または枠の色をピックします。

PDF ファイルを配置します。

固定画像を配置します。

テキスト配置ツールを選択します。

バリエーション画像配置ツールを選択します。

マウス カーソルをドラッグして、選択されたオブジェクトを任意の角度で回転させます。

#### Mac OS の場合

##### ボタン



##### 目的

ツールを選択します。

テキスト編集ツールを選択します。

バリエーション画像配置ツールを選択します。

固定画像を配置します。

拡大縮小ツールを選択します。

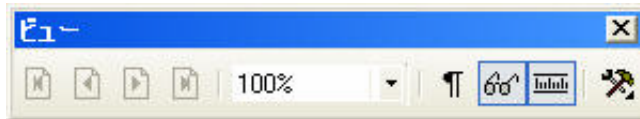


## [ビュー] ツールバー

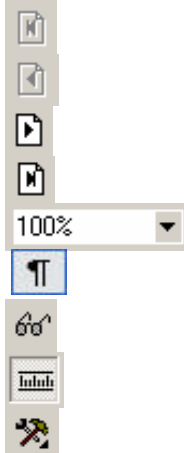
(Windows のみ)

書類操作の基礎

### [ビュー] ツールバーについて



#### ボタン



#### 目的

先頭レイアウトに戻ります。

1 つ前のレイアウトに戻ります。

次のレイアウトに進みます。

最終レイアウトに進みます。

拡大縮小レベルを指定します。

フォーマットのマーク

**プレビュー** モードを切り替えます。

定規の表示/非表示を切り替えます。

特定のツールバーの表示/非表示を切り替えます。

## サポートされているファイル形式



### サポートされているデータベース フォーマット

サポートされているファイル形式

サポートされているデータベース フォーマットおよび各フォーマットに関連付けられたファイル名の拡張子は次のとおりです。

データベース フォーマット	ファイル名拡張子	
dBase	DBF	
Microsoft FoxPro	DBF	
Microsoft Access	MDB	(Windows のみ)
Microsoft Excel	XLS	
Paradox	DB	(Windows のみ)
テキスト	TXT または CSV	
Oracle/SQL	ODBC 接続を通じたサポート	(Windows のみ)

注 : Mac OS 上で実行される PrintShop Mail は、XLS、DBF および TXF フォーマットをサポートします。





## サポートされている画像フォーマット

サポートされているファイル形式

### Windows の場合

サポートされているグラフィック フォーマットおよび各フォーマットに関連付けられたファイル名の拡張子は次のとおりです。

グラフィック フォーマット	ファイル名拡張子
カプセル化ポストスクリプト	EPS
アイコン	ICO
GIF	GIF
JFIF (JPEG File Interchange フォーマット)	JPG、JPE、または JPEG
TIFF (Tagged Image File フォーマット)	TIF または TIFF
Windows ビットマップ	BMP

**注** : PrintShop Mail では、EPS ファイルの LZW 圧縮による TIFF プレビューをはじめとして、LZW 圧縮画像がサポートされています。

### Mac OS の場合

PrintShop Mail は QuickTime を使用して画像ファイルを処理します。そのため、サポートされている画像ファイルのフォーマットは、Macintosh にインストールされている QuickTime のバージョンによって異なります。アクセスできる画像ファイルのフォーマットは、次を参照してください。[www.apple.com](http://www.apple.com)

# プリファレンス設定



## プリファレンス設定

プリファレンス

### プログラムのプリファレンス設定を指定する手順



1. (Windows の場合) : [編集] メニュー (Ctrl + K) の [プリファレンス] を選択します。  
(Mac OS の場合) : [PrintShop Mail] メニューの [プリファレンス] を選択します。

2. 左側のペインで、[組み付け] アイコンをクリックします。

**プログラムの設定**

一般的なオプション

変数マーカー: @ 開始 @ 終了

単位: mm

データベースに依存しないレコード数: 25

インターフェース言語: Japanese

印刷レイアウト

印刷マージンの色

折線の色

印刷可能範囲 背面

ガイドライン 前面

スナップの距離: 7 ポイント

OK キャンセル 適用(A)

## 全般プリファレンスについて

オプション	目的
バリアブル マーカー	テキスト オブジェクトを区切る (囲む) 文字を指定します。
単位	PrintShop Mail で使用する単位を選択します。
データベースに依存しない件数	データベースを開いていない状態で印刷するレコードの合計件数を指定します。
インターフェイス言語 (Windows のみ)	使用言語を指定します。

## 表示形態のプリファレンスについて

オプション	目的
塗り足し	色を指定します。
折り線数	色を指定します。
裁ちトンボ (Mac OS の場合)	色を指定します。
印刷可能範囲	オブジェクトを基準にして、印刷可能範囲が描画される形式を指定します。[上] は、印刷可能範囲が常に表示されるように指定します。[下] は、オブジェクトの陰に隠れて十分には表示されないことを指定します。
A0;ガイドライン	オブジェクトを基準にして、印刷可能範囲が描画される順序を指定します。[上] は、印刷可能範囲が常に表示されるように指定します。[下] は、オブジェクトの陰に隠れるように指定します。
吸着力	オブジェクトの移動またはサイズの変更に適用されるガイド ラインの吸着力を定義します。ガイド ラインのいずれの側からにかかわらず、カーソルが、ピクセル数で指定された範囲に入ると、オブジェクトがガイド ラインに吸着します。

Related Topics



## 印刷ジョブの設定

プリファレンス

### 印刷ジョブのプリファレンス設定を指定する手順



1. (Windows の場合): [編集] メニュー (Ctrl + K) の [プリファレンス] を選択します。  
(Mac OS の場合): [ファイル] メニューの [プリファレンス] を選択します。

2. 左側のペインで、[印刷ジョブの設定] アイコンをクリックします。

### ジョブの印刷 設定

印刷マージン

X オフセット:  Y オフセット:  mm

印刷技術:



**Adobe PostScript**

最適化されたポストスクリプトでは、データがすべて再利用可能な形式で格納され、プリンターに一度送信するだけで充分です。

トラブルシューティング

レポートページの印刷  カスタム エラー ハンドラを送信

OK キャンセル 適用(A)

## 印刷ジョブのプリファレンスについて

オプション	目的
印刷マージン	ページの左上隅を基準にした、出力をシフトさせる際のオフセットを指定します。レイアウト ビューでは、印刷可能領域の境界線の表示に印刷オフセットが含まれています。正の X オフセットを指定すると、印刷可能領域は左にシフトします。
テクノロジー	使用するPostScript 装置の出力を最適化するための印刷テクノロジーを選択します。テクノロジー オプションの詳細は、「サポートされている印刷テクノロジー」の項を参照してください。
レポート ページの印刷	ジョブ終了時にレポート ページの印刷を指定します。
カスタム エラー ハンドラを送信 (Windows のみ)	Postscript エラーが発生した場合、問題解決のためのヒントを含むカスタム エラー ページを生成するかを指定します。プリンタにエラー処理をさせる場合は、このボックスにはチェックを入れないでください。



## 繰り返し

プリファレンス

注：次の設定は、マルチアップ印刷に使用してください。この機能の詳細は、レイアウト繰り返し機能の使用を参照してください。

### 繰り返しのプリファレンス設定を指定する手順



1. (Windows の場合)：[編集] メニュー (Ctrl + K) の [プリファレンス] を選択します。  
(Mac OS の場合)：[ファイル] メニューの [プリファレンス] を選択します。
2. 左側のペインで、[繰り返し設定] アイコンをクリックします。

### 組付け 設定

印刷マージン

外側につける ▾ 幅： 6.35 mm

トンボ

標準 ▾ 間隔： 2.1167 mm

両面トンボ 色： ■ ▾

折線

長さ： 14.1111 mm

OK キャンセル 適用(A)

## 繰り返しのプリファレンスについて

オプション	目的
レイアウト繰り返し機能の使用	マルチアップ印刷の実行方法を指定します。括弧の中の数字は、現在のレイアウトおよび印刷設定の可能な繰り返し処理の最大数を示します。
面付け間隔	レイアウト間の水平方向および垂直方向の距離を指定します。
優先順位	<p>データベースの印刷順序を指定します。次のオプションを指定できます。</p> <p><b>左右、上下、および前後。</b></p> <p>例：「スタック全体」を印刷するためには、[1前面から背面] を最優先（第 1 優先順位）に、[上から下2] を第 2 優先順位に、[左から右] を第 3 優先順位に設定します。この場合、第 1 のレコードは第 1 ページの右上隅に、第 2 のレコードは第 2 ページの左上隅に印刷され、それ以降順に印刷されます。この方法により、ジョブの印刷終了後にページ順に揃える必要がなくなります。</p>
ミラーリング	<p>各ページ裏面のレイアウトの位置がそのページ表面のレイアウトの位置と一致するように指定します。実際に、裏面のレイアウトの位置は水平のミラーリングです。次のオプションを指定できます。<b>シンプルレックス、ドライバの設定どおり、長辺にフリップ（重なりなし）。</b></p> <p><b>注：</b> プリンタ ドライバの中には、重複設定を正しくレポートできないものもあります。[長辺にフリップ（重なりなし）] を指定することで、裏面のレイアウトの位置を強制的にミラーリングできます。</p>



## 面付け設定

プリファレンス

### 面付けのプリファレンス設定を指定する手順



1. (Windows の場合): [編集] メニュー (Ctrl + K) の [プリファレンス] を選択します。  
(Mac OS の場合): [ファイル] メニューの [プリファレンス] を選択します。
2. 左側のペインで、[面付け] アイコンをクリックします。

### 組付け設定

印刷マージン

外側につける ▾ 幅: 6.35 mm

トンボ

標準 ▾ 間隔: 2.1167 mm

両面トンボ 色: ■ ▾

折線

長さ: 14.1111 mm

OK キャンセル 適用(A)



## 面付けプリファレンスについて

オプション	目的
ブリード マージン	<p>次のように、マージン情報を指定します。</p> <p><b>なし</b>：ブリード マージンを設定しないことを示します。</p> <p><b>ジョブに追加</b>：ブリード マージンをレイアウト外に設定します。レイアウト サイズは大きくなります。</p> <p><b>ジョブに含む</b>：ブリード マージンをレイアウト内に設定します。レイアウト サイズは元のサイズと同じになります。</p> <p><b>幅</b>：用紙の端からレイアウトの端までの距離を設定します。</p>
裁ちトンボ	<p><b>注</b>：トンボは、マージンを指定した場合にのみ指定することができます。</p> <p><b>トンボ</b>：[なし]、[標準]、または [日本仕様] のいずれかを選択できます。</p> <p><b>両面</b>：このオプションを選択すると、トンボは用紙の両面に印刷されます。</p> <p><b>間隔</b>：[間隔] には、断ち切りからトンボまでの間隔を指定します。</p> <p><b>色 (Windows の場合)</b>：トンボの色を選択することができます。</p>
折り線	<p>折り線の長さを指定します。</p>

# 式の使用



## PrintShop Mail 式ガイド

式ガイドの概要

### PrintShop Mail の式について

式を使用して、データベースから取得したテキストおよびデータを操作できます。また、データベース フィールドの条件の追加にも使用できます。たとえば、Gender フィールドを使用した敬称の作成などに役立ちます。

式は、演算を構成する関数の組み合わせです。

次に、関数で構成された有効な式の例を示します。

```
IF(UPPER([GENDER]) = "M", "Dear Mr" & PROPER([LAST_NM]), "Dear Mrs" & PROPER([LAST_NM] ))
```

この例では、次の関数を使用します。

1. IF(論理テスト, True の場合の値, False の場合の値)
2. PROPER(文字列)
3. UPPER(文字列)

作成する式に合わせたさまざまな関数タイプが使用できます。

- バーコード関数
- レイアウト関数
- 論理関数
- 数値関数
- 文字列関数

また、全関数の一覧から選択することもできます。次を参照してください。

- 関数の概要

### バリアブルへの依存

PrintShop Mail では、「バリアブルな依存」という概念を導入しています。この概念により、ある式の結果は他の式の結果によって変わることがあります。このため式がより柔軟になり、ユーザーは次のことが行えるようになります。

1. 式を再利用する
2. 複数の式を、より小さく扱いやすい単位に分割する
3. グローバルな変数 (特定のオブジェクトにリンクされない変数など) を作成する

他の式の中で、その変数への参照を含めることによって、式をリサイクルまたは再利用できます。

テキスト オブジェクト内のバリアブル参照と同様に、式の中のバリアブル参照は、@ 文字、続いて変数名 (大文字/小文字を区別)、さらにもうひとつ @ 文字を付けて表します。例 : @Variable 1@.

バリアブル参照は文字列として扱われ、文字列の引数をとる関数に渡すことができます。

計算でバリアブル参照を使用する例は、次のとおりです。

```
1.- @Title@ & " " & @First name@ & " " & @Surname@  
2.- TRIM(LEFT(@Address@, 5))
```

この 2 つの例の最初の式は、簡潔でわかりやすく見えます。しかし、変数「Title」の内容は複雑になることもあり、ネストされた IF 文が含まれる場合もあります。式の中でバリアブル参照を使用すると、式がわかりやすくなります。

参照先の変数がない場合は、PrintShop Mail は、適当な名前と空の式で新しい変数を自動的に作成します。この新しい変数は、オブジェクトにはリンクされていません。

PrintShop Mail は、式の結果を計算できないことがあります。循環参照 (自身を参照する変数) を使用すると、デッドロックの状態になります。デッドロックの状態の変数は、[deadlock] と評価されます。

デッドロック状態の例

名前	式	結果
A	@A@	[deadlock]
B	@B@	[deadlock]

A0;変数が数値型の場合でも、式ビルダ内の変数は文字列とみなされます。文字列は必要に応じ、VAL 関数を使用して数値に変換できます。



頻繁に使用される関数については、次を参照してください。頻繁に使用される関数の概要。

## よく使用される式



### PrintShop Mail 式ガイド

頻繁に使用される関数の概要

最もよく使用される式については、次を参照してください。

- 名前の大文字表記
- 敬称の挿入
- 連番を作成する手順



## PrintShop Mail 式ガイド

頻繁に使用される関数の概要—名前の大文字表記

データベースに入力されたデータが不正確な場合、次のように表示されることがあります。

名前	姓
john	abrahams
theREsa	Johnson
William	fremont

人名は、すべての書類で先頭の 1 文字を大文字で印刷する必要があります。そのような場合は、PROPER 関数を使用します。この関数は、各語の先頭の 1 文字を大文字にし、残りは小文字にします。

次のような式を使用します。

PROPER ([First name]) & " " & PROPER ([Last name])

次に示すのは、「クリーンアップ」した結果です。

John Abrahams  
Theresa Johnson  
William Fremont



## PrintShop Mail 式ガイド

頻繁に使用される関数の概要

条件付きの IF 文を使用して敬称を生成できます。データベースに性別を指定するフィールドがある場合、IF 文を使用して「Mr.」、「Mrs.」などを名前に追加できます。

### 例

#### データベース

名前	姓	性別
John	Abrahams	M
Theresa	Johnson	F
William	Fremont	M

この例では、IF 関数を'&' 演算子と共に使用して、テキスト文字列を結合します。

IF([Gender]="M", "Dear Mr. " & [First name] & " " & [Last name], "Dear Mrs. " & [First name] & " " & [Last name])

IF(	IF 関数の始まり
[Gender]="M",	「M」が [Gender] フィールドにあるかチェックします
"Dear Mr. " & [First name] & " " & [Last name]	ある場合は、「Dear Mr. 」, ファーストネーム、スペース、およびラストネームを結合します。
"Dear Mrs. " & [First name] & " " & [Last name]	フィールドの値が「M」でない場合は、女性宛てであるとみなし、「Dear Mrs. 」, ファーストネーム、スペース、およびラストネームを結合します。
)	IF 関数の終わり

上記のデータベースを例として使用した場合の結果を次に示します。

名前	姓	性別	結果
John	Abrahams	M	Dear Mr. John Abrahams
Theresa	Johnson	F	Dear Mrs. Theresa Johnson
William	Fremont	M	Dear Mr. William Fremont



## PrintShop Mail 式ガイド

頻繁に使用される式 - カスタムの連番

### カスタムの連番について

PrintShop Mail では、カスタマイズされた連番を作成できます。このような番号を使用して、くじ札、クーポン券、セルフメイラ一広告などに連番を追加することができます。バーコード関数と組み合わせて、連番付きのバーコードを作成できます。

連番は、データベースを開かずに作成できます。**[プリファレンス]** ダイアログ ボックスで **[データベースに依存しない件数]** の数値を変更できます。**[編集]** メニューの**[プリファレンス]** を選択してください (Windows の場合)。または、**[PrintShop Mail]** メニューの **[プリファレンス]** を選択します (Mac OS の場合)。

### 例 :

この例では、Code 39 のバーコードを作成します。カスタムの連番は、"SWA" で始まり、1 から 1000 までのカウンタで終わります。使用する関数は次のとおりです。

- CODE39
- COUNTER

バーコードのバリエーションを含むテキスト ボックスの作成後、バーコード関数がバリエーションに追加されます。

```
CODE39("SWA" & COUNTER(1, 1000, 1, 4, True))
```

PrintShop Mail の結果は次のとおりです。

\*SWA0001\*, \*SWA0002\*, \*SWA0003\*, etc.

正しいバーコード フォントが選択され、次の結果が生成されます。



# 関数と演算子



## PrintShop Mail 式ガイド

### 関数の概要

PrintShop Mail で使用できる関数は次のとおりです。

演算子	関数
ABS	数値の絶対値を返します。
AND	論理演算子
ASC	文字列の先頭の文字を ASCII の数値に変換します。
BLANK	空白のページを出力します。
CHR	ASCII のインデックス番号を対応する文字に変換します。
CODABAR	CODABAR のバーコードを計算します。
CODE128	CODE128 のバーコードを計算します。
CODE39	CODE39 のバーコードを計算します。
CONTAINS	指定された文字列に対象の検索文字列が含まれる場合は TRUE を、含まれない場合は FALSE を返します。
COUNTER	カウンタの位置を返します。
DATE	YYYYMMDD 形式の日付バリアブルを、カスタム フォーマットに変換します。
DIV	除算の結果として得られた値の整数部 (小数点以下切り捨て) を返します。
EAN13	EAN13 のバーコードを計算します。
EAN8	EAN8 のバーコードを計算します。
FALSE	論理演算子
FILE_EXISTS	そのファイルがディスク上に存在する場合、TRUE を返します。
IF	論理演算子
INT	浮動小数点数値の整数部を返します。
ITF	ITF のバーコードを計算します。
JAN13	JAN13 バーコードを計算します。
JAN8	JAN8 バーコードを計算します。
KIX	KIX のバーコードを計算します。
LEFT	テキスト文字列の左から数えて、指定された文字数の下位文字列を返します。
LEN	テキスト文字列の長さ (数値) を返します。
LOWER	テキスト文字列のすべての文字を小文字に変換します。
LTRIM	テキスト文字列から、先頭のスペース、タブ、および改行文字を削除します。
MID	テキスト文字列から、指定された文字数の下位文字列を返します。
MOD	2 つの値で除算を行ったときの余りを返します。
MSI	MSI のバーコードを計算します。
NOT	論理演算子
NW7	NW7 バーコードを計算します。
OR	論理演算子
OBJECT_EMPTY	指定された名前のオブジェクトが空の場合に True を返します。
PAGE_NR	印刷時にページ番号を返します。書類のプレビュー時には、PAGE_NR の値は「1」のみ表示します。実際のページ番号は印刷時にのみ表示されます。
POS	テキスト文字列内の下位文字列の位置 (数値) を検索して返します。
POSTNET	POSTNET のバーコードを計算します。
PRINT	ページを印刷します。
PROPER	各語の先頭文字を大文字に、残りの文字を小文字に変換します。
RECORDNUMBER	レコードのインデックスを示します。
REPLACE	文字列の一部を別の文字列で置き換え、その結果を返します。
RIGHT	テキスト文字列の右から数えて、指定された文字数の下位文字列を返します。
ROUND	指定された小数点以下の桁数で浮動小数点数値を四捨五入します。
RTRIM	テキスト文字列 から、末尾のスペース、タブ、および改行文字を削除します。



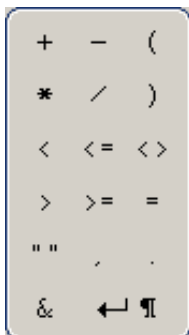
SGN	値の符号 (正または負符号) を返します。
SKIP	ページを印刷しないでスキップします。
STR	文字列を数値に変換します。
TEXT_FILE	TXT または RTF ファイル<文字列> の内容を返します。
TODAY	[プリファンレンス] パネルで指定された日付フォーマットと同一のフォーマットで現在の日付を返します。
TRIM	文字列 から、先頭および末尾のスペース、タブ、および改行文字を削除します。
TRUE	論理演算子
UPCA	UPCA のバーコードを計算します。
UPCE	UPCE のバーコードを計算します。
UPPER	テキスト文字列 のすべての文字を大文字に変換します。
VAL	テキスト文字列の数値を返します。
YuBar	YuBar バーコードを計算します。



## PrintShop Mail 式ガイド

### 式演算子の概要

PrintShop Mail で使用できる式演算子は次のとおりです。



+	加算
-	減算
*	乗算
/	除算
(	左括弧
)	右括弧
<	より小さい
<=	以下
<>	等しくない
>	より大きい
>=	以上
=	等しい
" "	文字列を表す
,	式のパラメータを区切る
.	小数点
&	アンパーサンド：テキスト文字列を結合する
¶	改行文字

## バーコード関数



### PrintShop Mail 式ガイド

式 - バーコードの概要

#### バーコードの基本

バーコードは、「光学的モールス信号」と呼ぶことができます。ラベルに印刷されたさまざまな長さの一連の黒いバーと白いスペースが、品目の一意な識別に役立ちます。バーコード ラベルはスキャナで読み取ります。スキャナは反射光を測定して、コードをコンピュータに渡す数字や文字に変換します。

バーコードをコンピュータに読み込むにはリーダーが必要です。リーダーは次の要素で構成されています。

- バーコードをスキャンする入力デバイス
- バーコードを ASCII テキストに変換するデコーダ
- リーダーをコンピュータに接続するケーブル

#### 密度

他の要素が同一である場合、あるスペース内で暗号化できる文字の数は、バーコードの種類によって異なります。インターリーブド 2 of 5 などの数値のみのバーコード方式では、Code 128 などのより柔軟性の高いバーコード方式と比べ、同じスペースでより多くの数字を暗号化できます。あるバーコード方式で必要なサイズのバーコードが作成できる場合でも、別のバーコード方式を使用した方が初期読取り率が高くなる場合があります。

#### チェックサム

チェックサムは、読取り性能を保证するためにバーコードに付加される追加の文字です。エラーが起こりやすい一部のバーコードではチェックサムは必須です。たとえば、インターリーブド 2 of 5 は非常に密度が高い数値専用バーコードですが、代入エラーが発生しやすいバーコードです。このコードについては、常に、チェックサムを使用することが必要です。Code 128 や Code 39 など、他のコードの場合はセルフチェックが実行されるため、チェックサムが必要となることは稀です。

バーコードのデータ収集システムを使用すると、あらゆるビジネスにとって様々なメリットがあります。バーコードのデータ収集ソリューションによって、データをすばやく正確に取得できる、低コストで実現できる、誤りが最少になる、在庫管理が簡単になる、といったメリットがあります。

PrintShop Mail で使用できるバーコードは次のとおりです。

- Codabar
- CODE128
- CODE39
- EAN13
- EAN8
- ITF
- JAN13
- JAN8
- KIX
- MSI
- NW7
- POSTNET
- UPCA
- UPCE

一コードは、次のものに対して使用できます。

#### Codabar

Codabar (NW7 と呼ばれる) は通常、医療、化学処理、宅急便および政府機関で使用されます。

#### Code 128

Code 128 は、出荷ラベルでもっともよく使用されます。

#### Code 39

Code 39 は広く使用されている工業用のバーコードで、英数字のデータを表現できることから、いくつかの自動車産業および米国防総省で義務付けられています。Code 39 は双方向性でセルフチェック機能を持つ、個別の可変長のコードです。

#### EAN/UPC

EAN (欧州統一商品番号) および UPC (統一商品コード) は、実際の商品を小売店でマークするために、全世界で使用されています。

## ITF (インターリーブド 2 of 5)

ITF は、船舶輸送および倉庫産業で識別のために最も一般的に使用されているバーコードのひとつです。医薬および自動車の業界でも使用されています。

## JAN

JAN (Japanese Article Numbering) は、EAN に類似したバーコードで日本で使用されています。

## KIX

KIX のバーコードは、オランダの郵便局で宛先記入に使用されます。

## MSI/Plessy

MSI/Plessy (Modify Plessy Code) バーコードは、在庫を制御するために小売店の棚をマークするためにもっともよく使用されます。MSI は可変長のコードですが、多くのアプリケーションは固定長のコードを使用しています。

## NW7

図書館、郵便物の配達など様々な目的に使用されます。

## POSTNET

POSTNET (Postal Numeric Encoding Technique) コードは、郵便を自動的にソートするためにアメリカ合衆国で開発されました。POSTNET は、郵便物の住所をマークするためだけに使用されます。

## バーコードのフォント

次の表は、各バーコードで使用できるフォント名の例を表しています。

バーコード	PrintShop Mail のフォント名	例
CODABAR	PSMCbar	PSMCbarHrP24DhTt
CODE128	PSMC128	PSMC128Bwr3P36DhTt
CODE39	PSMC39	PSMC39HrP24DhTt
EAN13/EAN8	PSMEan	PSMEanBwrP36Tt
ITF	PSMInt	PSMIntHrP72DmTt
JAN8/JAN13	PSMJan	PSMJanBwrP36Tt
MSI	PSMMSi	PSMMSiHr72DhTt
NW7	PSMnw7	PSMnw7HrP48DmTt
POSTNET	PSMPostNet	PSMPostNetHrTt
UPCA/UPCE	PSMUpc	PSMUpcP72Tt

## PrintShop Mail のフォント名の説明

**A0;P** はポイント サイズを表します。ポイント サイズは、フォントの高さのみを表します。たとえば、C39HrP24DmTt の場合、ここで使用されている P はポイント サイズが 24 であることを表します。

**Dh, Dm** および **DI** は、密度 (高、中、低) を表します。バーコードの密度は、印刷されたA0;バーコードの 1 インチあたり (cpi) の文字数を意味します。この値によって、情報の印刷に必要なバーコードの最少の長さが決まるため、これは実際には非常に重要です。密度が高くなるほど、バーコードが短くなります。

**Hr** は、人が読むことができる文字を表します。これらの文字は、バーコードの下に印刷されます。

**Bwr** は、バー幅補正を表します。このフォントには、バーコードの中心線を変えずに、バーコード全体で個々のバーの幅を一律に補正するテクノロジーが含まれています。

CD の PrintShop Mail のインストーラ フォルダからフォント ライブラリをインストールできます。

POSTNET バーコードの生成で使用される **PSMFimCodesTt** フォントは、業務用の返信郵便を区別するために米国の郵政省で使用される特別なフォントです。A0; **FIM** フォントは、4 つの一意のバーコードで構成され、各バーコードは、一意の返信郵便の分類を表します。

## フォント情報

- それぞれのフォント名の先頭文字は PSM です。
- フォントの中には、人が読める形式で提供されているものがあります。
- 各フォントには、プリンタの機能によって様々な密度 (濃さ) があります。A0;品質および読みやすさを確認するために、各密度のサンプルを印刷しておくことをお勧めします。
- フォント スタイル : 常に [標準] にします。

## バーコードの設定

バーコードを設定する手順は次のとおりです。この例では、Postnet バーコードを使用します。

1. Click on the text tool on the[ツール] ツールバーのテキスト ツールをクリックしてテキスト ボックスを描画するか、**[挿入]** メニューの **[バリエーション テキスト]** を選択します。
2. 変数名として、@Barcode@ などの名前を入力します。
3. **[バリエーション]** タブの **[バーコード]** フィールドをダブルクリックし、**式ビルダ**を開きます。
4. **[バーコード]** というラジオ ボタンをクリックして、すべてのバーコード ジェネレータを表示し、一覧から必要な関数を選択します。バーコード関数は、数値のコードをテキスト文字列へ変換します。これによって、印刷したときに特別なバーコード フォントを持つバーコードが生成されます。POSTNET をダブルクリックして選択します。
5. バーコード関数の引数として、バーコードに変換するコードが含まれているデータベース フィールドを入力します。バーコード関数によっては、別の因数が必要な場合があります。
6. **[OK]** をクリックします。  
**注** : PrintShop Mail の Postnet 関数およびフォントは、5 桁、9 桁 および 11 桁の数値の文字列でのみ機能します。文字列内でハイフンは使用できません。
7. 変数 @Barcode@ を選択し、バーコード フォントを選択します。これは、選択したバーコード ジェネレータで使用するためのものです。
8. **[テキスト]** メニューの **[テキストのフォーマット]** ツールバーで、該当する PSM フォントを選択します。特定のサイズ、または希望のサイズでバーコードが表示されるようフォント サイズを調整します。

## Codabar

構文	CODABAR(文字列、スタート文字、ストップ文字、チェック デジット)
説明	CODABAR のバーコードを計算します。
例	CODABAR("123456", "A", "B", True)
	 1 2 3 4 5 6 7 8

### パラメータの説明

文字列	バーコードが表す値
スタート コード	スタート文字
ストップ文字	ストップ文字
チェック デジット	省略可能、True または False


Codabar バーコードでは、数字、6 種類の句読点文字 (-\$/./+), および空白スペースが使用できます。

そのほか、4 種類の特別なスタート/ストップ文字も含まれます。- A、B、C、および D です。

Codabar は、ドルの金額を表す数字および算術数字を暗号化するのに便利です。このタイプのバーコードは、インターリーブド 2 of 5 バーコードよりやや長くなります。

Codabar では、スタート文字とストップ文字が必須です。チェック デジットは省略できます。

## Code 128

構文	CODE128(文字列)
説明	Code 128 のバーコードを計算します。
例	CODE128("123456")
	

### パラメータの説明

文字列	バーコードが表す値
-----	-----------

非常にコンパクトなバーコード方式で、すべての英数字を扱います。

拡張 Code 39 方式で使用される全角文字以外、ASCII キャラクタ セットの全文字 (128 文字) を暗号化できます。

バーコードに 4 つ以上の連続する数字 (0 ~ 9) が含まれる場合は、その数字は倍密度モード (2 つの文字を 1 つの文字の位置で表す方式) で暗号化されます。

Code 128 では、実際 3 種類の文字コードのサブセットが使用されます。エラーは 2 つの方式でチェックされるため、非常に安定性の高いバーコードです。

チェックサムは必須ではありません。

バーコードを選択できる場合、あらゆる用途に使用できる最も優れた方式として Code 128 が一般的です。

## Code 39

構文	CODE39(文字列[, チェック デジット])
説明	Code 39 のバーコードを計算します。チェックデジットは省略可能で、デフォルトは False です。
例	CODE39("ATLAS2002", True)
	

### パラメータの説明

文字列	バーコードが表す値
[, チェック デジット]	省略できます。デフォルトは False です。チェックサムを計算する場合は、「True」と入力します。

Code 39 (Code 3 of 9 と同じ) は、カスタム アプリケーションで最も広範囲に使用されているバーコードです。その理由は次によります。


- テキストと数字の両方 (A ~ Z, 0 ~ 9, +, -, ., およびスペース) をサポートする。
- ほとんどすべてのバーコードリーダーのデフォルト構成で読み取り可能です。
- 現代バーコードの中で最も古い方式の一つです。

Code 39 は、可変幅のバーコード方式で、リーダーがスキャン可能な任意の数の文字をサポートできます。

多くの国防および官公庁の仕様で使用されています。

Code 39 のバーコードではセルフチェックが実行されるため、代入エラーは発生しません。一般的にはチェックサムは不要です。

## EAN-13

構文	EAN13(文字列)
説明	EAN-13 のバーコードを計算します。
例	EAN13("978123456789")
	

### パラメータの説明


文字列	バーコードが表す値
-----	-----------

この関数は、EAN 13 標準を使用して、指定した文字列に対する可変バーコードを印刷する 13 桁の数値コードです。このバーコードの印刷には、特別なバーコード フォントが必要です。

EAN-13 のコードは、国コードが義務付けられる海外向けの用途に使用されます。UPC-A バーコード方式は、実際にこの EAN-13 方式のサブセットです。

このバーコードは、2 桁の国コード、10 個の数字で表現されるデータ文字、およびチェックサムで構成されます。チェックサムは自動的に生成されます。

## EAN-8

構文	EAN8(文字列)
説明	EAN-8 のバーコードを計算します。
例	EAN8("9712345") 


### パラメータの説明

文字列	バーコードが表す値
-----	-----------

この関数は、EAN 8 標準を使用して、指定した文字列に対する可変バーコードを印刷する 8 桁の数値コードです。このバーコードの印刷には、特別なバーコード フォントが必要です。

EAN-8 のコードは、EAN-13 とほぼ同様で、国コードが義務付けられる場合に使用されますが、EAN-8 では 5 つの数字のみが使用されます。

## ITF (インターリーブド 2 of 5)

構文	ITF(文字列、チェック デジット)
説明	インターリーブド 2 of 5 のバーコードを計算します。
例	ITF("1234567890", True) 

### パラメータの説明

文字列	バーコードが表す値
チェック デジット	省略できます。チェックデジットを追加する場合は、「True」を入力します。

12of5 と呼ばれる数値専用のバーコード方式です。10 桁の数が暗号化された場合、UPC-A のバーコードよりやや長いバーコードを印刷します。

このバーコード方式は、任意の桁数の偶数を暗号化できる柔軟性があります。奇数を扱う場合は、先頭にゼロが追加されます。

このバーコードは、数値専用の用途に最適で、固定マウント式のリーダーを使用する場合に最適な方式です。

インターリーブド 2 of 5 では、代入エラーが発生しやすいため、常にチェックサムを使用する必要があります。

## JAN13

構文	JAN13(文字列)
説明	JAN13 バーコードを計算します。
例	JAN13 ("123456789012") 

### パラメータの説明

文字列	バーコードが表す値
-----	-----------




JAN は、店舗で販売される商品に最も広く使用されるバーコードです。 JAN13 は標準コードと呼ばれます。

JAN13 は、固定長の 13 桁の数字を表します。入力には、固定長の 12 桁の数字を使用する必要があります。

MOD10 のチェック デジットは、自動的に計算され追加されます。

JAN コードは、EAN コードに相当します。

## JAN8

構文	JAN8 (文字列)
説明	JAN8 バーコードを計算します。
例	JAN8 ("1234567")
	

### パラメータの説明

文字列	バーコードが表す値
-----	-----------

JAN コードは、非常に広く普及しているコードです。 JAN8 は簡易コードと呼ばれます。

JAN8 は、固定長の 8 桁の数字を表します。入力には、固定長の 7 桁の数字を使用する必要があります。

MOD10 のチェック デジットは、自動的に計算され追加されます。

JAN コードは、EAN コードに相当します。

## KIX

構文	KIX(郵便番号, 町名と番地, [国])
説明	KIX のバーコードを計算します。
例	KIX("3842BX", "Daltonstraat 42-44", "NL") 結果: NL3842BX

KIX のバーコードは、オランダの郵便局で大量宛先記入に使用されます。

KIX コード フォントのポイント サイズは 10 ポイントに定められています。

## MSI Plessey

構文	MSI(文字列)
説明	MSI Plessey のバーコードを計算します。
例	MSI("1234567890")
	

### パラメータの説明

文字列	バーコードが表す値
-----	-----------

MSI Plessey のバーコードは、英国の Plessey Company によって 1970 年代に設計され、主に図書館や小売業の用途に

使用されます。

数値専用のコード方式で、使用頻度が高いケースに適しています。

このコード方式ではセルフチェックは実行されないため、チェックサムの使用を強くお勧めします。

MSI Plessey方式 のキャラクタ セットは、0 ~ 9 までの数字、スタート文字、およびストップ文字を表すバーコード符号で構成されます。

## NW7

構文	NW7 (文字列, スタート文字, ストップ文字, チェック デジット)
説明	NW7 バーコードを計算します。
例	NW7 ("123456", "A", "B", True)
	

### パラメータの説明

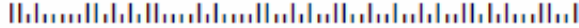
文字列	バーコードが表す値
スタート コード	スタート文字
ストップ文字	ストップ文字
チェック デジット	省略可能、True または False

NW7 は、図書館、郵便物の配達など様々な目的に使用されます。

NW7 は、最大 100 桁までの可変長の数字を表現できます。

DR7、DSR7、DR9、DSR9 のいずれかが使用され、元の文字列に 16 桁を超える数字が含まれる場合はエラーが返されません。

## POSTNET

構文	POSTNET(文字列)
説明	POSTNET のバーコードを計算します。
例	POSTNET("91505123423")
	

### パラメータの説明

文字列	バーコードが表す値
-----	-----------

このバーコードは、封筒の右下に配置される特別なコードです。

郵便物の配達のスPEEDアップ (自動ソート化) と低料金化のために使用されます。

スタート文字およびストップ文字は、PrintShop Mail によって自動的に追加されます。

米国郵便公社のメールピース設計アナリストのレビューを受けて、PrintShop Mail で生成したすべての POSTNET バーコードに対する承認を受けることをお勧めします。メールピース設計アナリストは、POSTNET のバーコードを分析し、それらが米国郵便公社の技術要件を満足するか判定する訓練を受けています。出力は、電子メール (デジタル ファイル)、ファックス、または郵送で送信できます。Web ブラウザで次のサイトを参照してください。

[http://pe.usps.gov/mpdesign/mpdright\\_mda\\_intro.htm](http://pe.usps.gov/mpdesign/mpdright_mda_intro.htm) それぞれの地域を担当するメールピース設計アナリストの名前および連絡先情報が掲載されています。

## UPC-A

構文	UPCA(文字列, システム番号)
説明	UPC-A のバーコードを計算します。
例	UPCA("12345543211", 9)
	

### パラメータの説明

文字列	バーコードが表す値
システム番号	必要なシステム番号 (数値のみ)

UPC は、一般に流通する商品用の標準バーコードです。各地域のスーパーマーケットの商品に使用されているのが、このコードです。UPC-A は、固定長の数値専用バーコードです。

構成要素は次のとおりです。

- 1桁のシステム番号
- 5桁のメーカー番号
- 5桁の製品番号
- 1桁のチェックサム

各桁の位および値は食料雑貨業界の委員会の標準です。UPC-A および UPC-E では、2～5桁の補助番号の使用も認められています。


UPC-A および UPC-E のコードでは、チェックサムは自動的に実行されます。

UPC-E は、使用できるバーコードの中で最小のバーコードであるため、小型パッケージに適しています。このバーコード方式では、少なくともゼロが4つ非表示になることを除き、UPC-A と同じ情報が含まれます。

このバーコード方式では、システム文字の0が付いたタグのみが暗号化されます。

UPC-A および UPC-E のコードでは、チェックサムは自動的に実行されます。

## UPC-E

構文	UPCE(文字列)
説明	UPC-E のバーコードを計算します。
例	UPCE("123456")
	

### パラメータの説明

文字列	バーコードが表す値
-----	-----------

UPC-A は、固定長の数値専用バーコードです。

構成要素は次のとおりです。

- 1桁のシステム番号
- 5桁のメーカー番号
- 5桁の製品番号
- 1桁のチェックサム

各桁の位および値は食料雑貨業界の委員会の標準です。UPC-A および UPC-E では、2～5桁の補助番号の使用も認められています。

UPC-A および UPC-E のコードでは、チェックサムは自動的に実行されます。

UPC-E は、使用できるバーコードの中で最小のバーコードであるため、小型パッケージに適しています。このバーコード方式では、少なくともゼロが4つ非表示になることを除き、UPC-A と同じ情報が含まれます。

このバーコード方式では、システム文字の 0 が付いたタグのみが暗号化されます。

UPC-A および UPC-E のコードでは、チェックサムは自動的に実行されます。

## ローラン バーコード関数



### PrintShop Mail 式ガイド

式 - ローラン バーコードの概要

ローラン バーコードは YuBar で構成されています。

YuBar は、郵政省が定義する日本の郵便番号のバーコードです。

PrintShop Mail で使用できるローラン バーコード機能は次のとおりです。

- YuBar

## YuBar

構文	YuBar(文字列 1, 文字列 2)
説明	日本の郵便番号のバーコードを計算します。
例	YuBar("Zip_code", "住所文字列") YuBar("1030013", "1-1-11")

### パラメータの説明

文字列 1	7 桁の郵便番号
文字列 2	「～町」より小さい地域を表す住所文字列

YuBar は、日本の郵便番号のバーコードです。文字列 1 の郵便番号は、7 桁すべてを入力する必要があります。YuBar は、それ以外の数値の結果として NULL を返します。

## レイアウト関数



# PrintShop Mail 式ガイド

式 - レイアウト関数の概要

### レイアウト関数について

PrintShop Mail で使用できるレイアウト関数は次のとおりです。

- Blank
- Print
- Skip

これらの関数を使用して、印刷するレイアウト、ブランクのままにしておくレイアウト、または印刷せずにスキップするレイアウトを指定します。

### レイアウト条件を編集する手順

1. 式を変更するレイアウトを表示します。
2. [レイアウト] メニューの [条件編集] を選択します。
3. レイアウト関数を 1 つ選択します。

### 例

特定の販売員（「John」）の担当するクライアントには特定のページを割り当てます。このフィールドは、このデータベースでは「SALES REP」と呼ばれています。

使用する式は次のとおりです。

IF([SALES\_REP] = "John", Print, Skip)

PrintShop Mail で、SALES REP フィールドに「John」という名前が検出された場合、そのページが印刷されます。それ以外のページはスキップされます。



Fiery FreeForm は、SKIP 関数をサポートしません。代わりに BLANK が使用されます。

Fiery FreeForm 2 では、レイアウト条件設定がレイアウト繰り返し機能と併用された場合、SKIP ではなく BLANK が使用されます。

## Blank

構文	Blank
説明	レイアウト アクション定数。レイアウト条件が Blank と評価された場合、レイアウトは空白のままとなります。
例	IF([SALES_REP] = "John", Print, Blank)

この例では、データベースの SALES\_REP フィールドに、「John」以外のエントリがない場合、空のページが出力されます。

## Print

構文	印刷
説明	レイアウト アクション定数。レイアウト条件が Print と評価された場合、レイアウトは印刷されます。
例	IF([SALES_REP] = "John", Print, Blank)

この例では、データベースの SALES\_REP フィールドに「John」という名前が検出された場合、そのレイアウトは印刷されます。

## Skip

構文	Skip
説明	レイアウト アクション定数。レイアウト条件が Skip と評価された場合、レイアウトはスキップされます。
例	IF([SALES_REP] = "John", Print, Skip)

この例では、データベースの SALES\_REP フィールドに「John」という名前以外のエントリが検出された場合、そのレイアウト

トはスキップされます。

## 論理関数



# PrintShop Mail 式ガイド

### 式 - 論理関数の概要

PrintShop Mail の条件定義に使用できる論理演算子は次のとおりです。

- AND
- FALSE
- FILE\_EXIST
- IF
- NOT
- OBJECT\_EMPTY
- OR
- TRUE

## AND (ブール演算子)

構文	(論理値 1) AND (論理値 2)
説明	論理値 1 および論理値 2 の両方が True のとき、True を返します。
例	(1<10) AND (5<10) => True (1<10) AND (5>10) => False

第 1 の例では、両方の引数が True であるため、この関数は True という結果を返します。

第 2 の例では、引数の 1 つが False であるため、False という結果を返します。

## FALSE (ブール演算子)

構文	False
説明	ブール演算の結果は True または False です。
例	(1<10) = False => False

この例の結果は False です。「1<10」が True である場合は、False になりません。

## FILE\_EXIST

構文	FILE_EXIST (文字列)
説明	その文字列がディスク上に存在する場合、True を返します。
例	FILE_EXIST ([画像])

画像ファイルなどのリソースが、使用中のコンピュータにあるかチェックします。この関数は、その画像がディスク上に存在する場合、True を返します。

## IF (ブール演算子)

この関数は、データベースの内容を変更せずに、その出力を操作します。データベースからの条件の選択がその目的です。

構文	IF(論理テスト, True の場合の値, False の場合の値)
説明	"logical_test" が True なら、"value_if_true" を返します。"logical_test" が False なら、"value_if_false" を返します。
例	IF([Country]="US", "United States of America", "Other parts of the world")

この例では、IF 関数は、データベース フィールド [Country] をチェックします。「US」が含まれる場合は、文字列「United States of America」を返します。このデータベース フィールドにほかのエントリが含まれる場合は、「Other parts of the world」の文字列を返します。

IF 関数は、たとえば、敬称の作成などに使用できます。詳細については、次を参照してください。敬称の挿入



## NOT (ブール演算子)

構文	NOT
説明	論理テストから引数を除外します。
例	NOT(True) => False

## OBJECT\_EMPTY

(Windows の場合のみ)

構文	OBJECT_EMPTY(オブジェクト名)
説明	指定された名前のオブジェクトが空の場合に True を返します。
例	OBJECT_EMPTY("Text1")

そのオブジェクト名が存在するかチェックします。オブジェクトが同じレイアウトの後方または前方に移動したり、別のレイアウトに移動している場合もチェックします。

この関数は、メニュー ([レイアウト] > [オブジェクトが空の場合はスキップする]) からでもコールできます。

## OR (ブール演算子)

構文	(論理値 1) OR (論理値 2)
説明	2 つの論理引数を結合して、いずれかの論理値が True なら True を返します。
例	True OR False => True False OR True => True True OR True => True False OR False => False

## True (ブール演算子)

構文	True
説明	ブール演算の結果は True または False です。
例	(1<10) = True => True

この例では、論理テスト (1<10) の結果が True であるため True を返します。

## 数値関数



# PrintShop Mail 式ガイド

式—数値関数の概要

PrintShop Mail で番号や数値の操作に使用できる数値関数は次のとおりです。

- ABS
- CHR
- COUNTER
- DIV
- INT
- MOD
- PAGE\_NR
- ROUND
- SGN
- STR
- VAL

## ABS (絶対値)

構文	ABS(数値)
説明	数値の絶対値を返します。
例	ABS(-2.3) => 2.3

## CHR

構文	CHR(数値)
説明	ASCII のインデックス <数値> で表す文字を返します。
例	CHR (72) => "H" CHR (64) => "@"

この関数は、数値に対して ASCII 文字を返します。

## COUNTER

構文	COUNTER(開始値、終了値 [, 刻み値] [, 桁数] [, 先頭ゼロ表示])
説明	<開始> から <終了> までをカウントするカウンタの位置を返します。括弧内の引数は省略できます。
例	CODABAR(1,100) COUNTER (1,100, 5, 3, True) COUNTER (1, 100, 0.5, 3, False) COUNTER()

### パラメータの説明

開始	カウンタの開始値
終了	カウンタの終了値
刻み値	次の数字までの刻みの大きさ
桁数	カウンタが生成する文字の数
先頭ゼロ表示	先頭ゼロ表示を設定する場合は True、設定しない場合は False となります。

カウンタは、チケットの印刷または発送する郵便物のナンバリングに使用できます。COUNTER がただ 1 つのバリエーションである場合、PrintShop Mail のデータベースを開く必要はありません。

第 1 の例では、1 で始まり 100 で終わる番号が生成されます。データベースの各フィールドを参照すると、次のような連番が表示されます。

1, 2, 3, 4, ..., 99, 100, 1, 2, 3, ...

100 に達すると 1 からカウントが再開されます。

第 2 の例では次のような連番が生成されます。  
 001, 005, 010, ..., 090, 100, 005, 010, ...  
 (刻み値、桁数、先頭ゼロ表示の各パラメータが追加されています。)

第 3 の例では、刻み値に小数が使用されています。このことは、カウンタの増分が 0.5 であることを意味します。  
 1, 1.5, 2, 2.5, 3, ..., 99.5, 100, 100.5, ...

最後の例では、COUNTER() は 1 で始まり、[データベースを必要としない件数] で設定された番号で終わります ([プリファレンス] の [プログラム設定])。プリファレンス)。

## DIV

構文	DIV(数値 1, 数値 2)
説明	<数値 1> を<数値 2> で割った結果を小数点以下を切り捨てた整数値で返します。数値が両方とも浮動小数点数の場合も、整数を返します。
例	DIV (15, 3) => 5 DIV (16, 3) => 5 DIV (17, 3) => 5 DIV (18, 3) => 6

## INT (整数)

構文	INT (数値)
説明	浮動小数点数 <数値> の整数部を返します。
例	INT(2.78) => 2

## MOD

構文	MOD(数値 1, 数値 2)
説明	<数値 1> を <数値 2> で割った余りを返します。
例	MOD (15, 3) => 0 MOD (16, 3) => 1 MOD (15.5, 3) => 0.5 MOD (15, 4.5) => 1.5

## PAGE\_NR

構文	PAGE_NR ([reset_after_each_record])
説明	印刷時のページ番号を返します。書類のプレビュー時には、PAGE_NR の値は「1」しか表示されません。実際のページ番号は印刷時にのみ表示されます。 <reset_after_each_record> が TRUE の場合は、各レコード セット (1 つのレコードに属するレイアウト セット) の後でページ番号は 1 にリセットされます。
例	PAGE_NR()=>10

PAGE\_NR 関数は、データベース内の各レコードに対して指定されたレイアウト セットに番号を付けるオプションを使用して拡張されます。PrintShop Mail の以前のバージョンでは、PAGE\_NR 関数は各出力を連続してカウントしていました。現在のバージョンでは、各レコードの後にカウンタをリセットするオプションがあるため、レコードごとのレイアウト セットに番号付けることができます。

この関数は、メニューの

[挿入] > [ページ番号] からコールできます。

**ジョブ全体** : ジョブ全体のページ番号を印刷します

**各レコード後リセット** : レコード セット内のレイアウト番号を印刷します

## RECORDNUMBER()

(Mac OS のみ)

recordnumber() 関数は、現在のレコード番号を示します。この関数は引数をとらず、何も計算しません。  
レコードがフィルタアウトされておらず、レイアウトの式として BLANK が使用されていない場合は、関数は一度に 1 ずつ加算されます。

構文	RECORDNUMBER()
説明	レコードのインデックスを示します。
例	RECORDNUMBER()>10

## ROUND

構文	ROUND(数値, 小数点以下の桁数)
説明	<小数点以下の桁数> で指定された精度で浮動小数点数を四捨五入します。
例	ROUND (2.332234123, 2) => 2.33 ROUND (12.46887, 2) => 12.47

## SGN

構文	SGN(数値)
説明	数値の符号を示す整数を返します。与えられた数値によって次の整数を返します。 正の数 : 1 ゼロ : 0 負の数 : -1
例	SGN (43534) => 1 SGN (0) => 0 SGN (-123.342) => -1

## STR

構文	STR(数値)
説明	数値を文字列に変換します。
例	STR (42312) => "42312"

## VAL

構文	VAL(文字列)
説明	<文字列> の数値を返します。
例	VAL ("2122") => 2122

この関数は文字列を数値に変換します。

この関数を使用して、テキスト フィールドを数値を持つフィールドに変換できます。

数値文字が入力されたテキスト フィールドを変換し、その値を算術計算に使用できるようにします。

例 :

[COUPON] のフィールドにはテキスト文字列があります (たとえば、「7」)。

VAL([COUPON])/365 => 0.02

## 文字列関数



### PrintShop Mail 式ガイド

式—文字列関数の概要

PrintShop Mail で文字列の操作に使用できる関数は次のとおりです。

- ASC
- CONTAINS
- DATE
- LEFT
- LEN
- LOWER
- LTRIM
- MID
- POS
- PROPER
- REPLACE
- RIGHT
- RTRIM
- TEXT\_FILE
- TODAY
- TRIM
- UPPER

### ASC

構文	ASC(文字列)
説明	<文字列> の先頭の文字を ASCII の数値に変換します。
例	ASC ("Hello") => 72 ASC ("H") => 72 ASC ("@" ) => 64

この関数は、文字列の最初の文字に対して ASCII 値を返します。

### CONTAINS

構文	CONTAINS(文字列, 検索文字列)
説明	<文字列> に <検索文字列> が含まれる場合に True を返します。
例	CONTAINS("PrintShop", "Mail")=>False

指定された文字列内で別に指定された文字列を検索します。この例では、文字列値に検索文字列が含まれないため False を返します。

# DATE

## Windows の場合

構文	DATE(日付文字列, 文字列フォーマット)
説明	日付を表すバリアブルは、YYYYMMDD 形式とする必要があります。<文字列フォーマット> が「」である場合は、プリファレンス設定のフォーマットが使用されます。
例	DATE("20010601", "dddd, mmmm dd, yyy") => Friday, June 01, 2001

文字列フォーマットとして使用できるパラメータは次のとおりです。

d	日付を表す先頭ゼロ表示なしの数値	1
dd	日付を表す先頭ゼロ表示ありの数値	01
ddd	曜日を表す略語	Mon
dddd	曜日	Monday
M	月を表す先頭ゼロ表示なしの数値	6
mm	月を表す先頭ゼロ表示ありの数値	06
mmm	月を表す略語	Jun
mmmm	月名	June
yy	2桁表記の年号	01
yyy	4桁表記の年号	2001

## Mac OS の場合

次のようにフォーマット指定子で式のフォーマットを指定することができます。これらの指定子は、DATE 関数および TODAY 関数に使用できます。

フォーマット指定子	結果
%%	「%」文字
%a	曜日を表す略語
%A	曜日
%b	月を表す略語
%B	完全な月名
%c	「%X %x」の短縮形で、日付と時刻のフォーマットのロケール
%d	十進数の日付 (01 ~ 31)
%e	%d と同じですが、1 ~ 9 までの日付に対して先頭のゼロは印刷しません (strftime() とは異なり、先頭のスペースも印刷しません)。
%F	十進数のミリ秒 (000 ~ 999)
%H	十進数で表した 24 時間時計ベースの時刻 (00 ~ 23)
%I	十進数で表した 12 時間時計ベースの時刻 (01 ~ 12)
%j	十進数の日付 (001 ~ 366)
%m	十進数で表した月 (01 ~ 12)
%M	十進数で表した分 (00 ~ 59)
%p	ロケールに対する午前/午後の指定
%S	十進数で表した秒 (00 ~ 59)
%w	日曜を 0 とする、十進数で表した曜日 (0 ~ 6)
%x	タイムゾーンを含む、ロケールの日付表現を使用した日付 (strftime() とは異なる結果を生成)
%X	ロケールの時刻表現を使用した時刻 (strftime() とは異なる結果を生成)
%y	2桁表記の年号 (00 ~ 99)
%Y	4桁表記の年号 (1990 など)
%Z	タイムゾーン名 (太平洋夏時間などで、strftime() とは異なる結果を生成)
%z	タイムゾーンの GMT からのオフセット (HHMM)

### 例

フォーマット指定子を使用して、異なる結果を生成することができます。

DATE(): 指定されたフォーマットまたは日付のプリファレンス設定 (フォーマット「」を指定) に基づいた日付を生成します。  
DATE("20020701", "") => 2002-07-01 00:00:00 +0000

DATE("20020701","%m-%d-%y") => 07-01-02  
 DATE("20020701","%m-%d-%y") => 07-01-02  
 DATE("20020701","%b-%A-%Y") => Jul-Monday-2002  
 DATE("20020701","%b-%B-%Y") => july-1-2002

TODAY(): 指定されたフォーマットまたは日付のプリファレンス設定 (フォーマット = "" の場合) を使用し本日の日付を生成  
 TODAY("") => "2002-11-07 12:40:10 +0100"  
 TODAY("%A %d-%m-%Y %H:%M:%S") => Thursday 07-11-2002 12:40:10

## LEFT

LEFT は、一番左側の「nr\_of characters」個分の文字列を返します。「nr\_of\_characters」が「string\_value」の値よりも大きい場合は、完全な文字列が返されます。「nr\_of\_characters」が 0 以下の場合は、空の文字列が返されます。

注：式内のテキストは、必ず二重引用符で囲みます。囲まない場合は、データベース フィールドと解釈されます。

構文	LEFT(文字列, 文字数)
説明	<文字列> 内の左から <文字数> 個目までの文字を返します。
例	LEFT ("John Abrahams", 4) => John LEFT ("John Abrahams", 7) => John Ab

この関数を使用して、定義済みのデータベース フィールドの左端から数えた、指定された数の文字を印刷できます。

この関数を使用して、フィールドの内容を分離し、人物名の一部を使用した一意のコードを作成できます。

## LEN

構文	LEN(文字列)
説明	<文字列> の文字数を返します。
例	LEN ("John") => 4 LEN ("John Abrahams") => 13

この関数を使用してデータベース フィールドの長さ (文字数) を計算できます。たとえば、郵便番号やバーコードの中には、所定の文字数を使用しないと正しく印刷されないものもあります。

LEN は一般的には、LEFT、RIGHT、MID、および IF などの他の関数と組み合わせて使用しますが、組み合わせを使用することで、選択されたデータベース フィールドにある文字のうち、印刷される文字の数を正確に決定することができます。

次の例では、IF と LEN を組み合わせ Gender (性別) データベース フィールドの長さを計算します。この方法ではテキストがなくスペースのみのフィールドも認識でき、正確な出力が生成できます。

### データベース

名前	姓	性別
John	Abrahams	M
Theresa	Johnson	F
William	Fremont	M
Tom	Cooper	

IF(LEN([GENDER]) = 0, "Dear Sir, Madam", IF([GENDER] = "m", "Dear Mr." & [Name], "Dear Ms" & [Name] ) )

次の結果が返されます。

Dear Mr John Abrahams  
 Dear Ms Theresa Johnson  
 Dear Mr William Fremont  
 Dear Sir, Madam

## LOWER

構文	LOWER(文字列)
説明	<文字列> のすべての文字を小文字に変換します。
例	LOWER ("JoHn AbRAHAmS") => john abrahams

この関数を使用して、選択されたデータベース フィールドを小文字で印刷できます。

たとえば、データベースが大文字の情報でいっぱいになった場合、この式を使用して修正できます。

## LTRIM

構文	LTRIM(文字列)
説明	<文字列> から、先頭のスペース、タブ、および改行文字を削除します。
例	LTRIM (" John Abrahams") => "John Abrahams"

この関数は、バリアブルの組み合わせによる余分なスペース (単語の左端の) を削除します (たとえば、データベースに定義済みの文字数が設定されたデータベース フィールドがある場合、または、データベース フィールドが空のままになっている場合に使用します)。

## MID

構文	MID(文字列, 開始位置, 文字数)
説明	<文字列> のインデックス <開始位置> で始まる、<文字数> 個の文字で構成される下位文字列を返します。
例	MID ("John Abrahams", 3, 2) => hn MID ("John Abrahams", 6, 4) => Abra

この関数を使用して、文字列を指定した定義済みのデータベース フィールドの値の印刷ができます。

MID により、印刷開始文字およびその文字からの印刷文字数を指定できます。

## POS

構文	POS(検索対象文字列, 検索文字列, 開始位置)
説明	<検索対象文字列> に含まれる下位文字列 <検索文字列> の位置を返します。見つからない場合はゼロを返します。
例	POS("John Abrahams", "Abrahams", 1) => 6 POS("John Abrahams", "Abrahams", 9) => 0 POS("John Abrahams", "Dessert", 1) => 0

この関数を使用して、データベース フィールドの一定の値を検索できます。結果として、求める文字の位置が返されます。

第 1 の例では、「Abraham」が先頭文字から数えて 6 番目の位置で始まるため「6」を返します。

第 2 の例では「0」を返します。「Abraham」の検索開始が文字列の 9 番目の文字に指定されているため見つかることができません。

第 3 の例でも「0」を返します。文字列「Dessert」は文字列「Abraham」に含まれていません。

## PROPER

構文	PROPER(文字列)
説明	各語の先頭文字を大文字に、残りの文字を小文字に変換します。
例	PROPER ("JoHn AbRAHAmS") => John Abrahams

この関数を使用して、データベースのクリーンアップ、全文字小文字表記/全文字大文字表記の修正などができます。



## REPLACE

構文	REPLACE(文字列, 検索文字列, 置換文字列)
説明	<文字列> から <検索文字列> を検索し、検出したものはすべて <置換文字列> で置き換えます。
例	REPLACE("Personalized is fun", "Personalized", "PrintShop Mail") 次の結果が返されます。"PrintShop Mail is fun"

REPLACE 関数は、文字列の一部を別の文字列で置き換え、その結果を返します。

## RIGHT

RIGHT は、一番右側の「nr\_of characters」個分の文字列を返します。「nr\_of characters」が「string\_value」の値よりも大きい場合は、完全な文字列が返されます。「nr\_of characters」が 0 以下の場合は、空の文字列が返されます。

注： 式内のテキストは、必ず二重引用符で囲みます。囲まない場合は、データベース フィールドと解釈されます。

構文	RIGHT(文字列, 文字数)
説明	<文字列> 内の右から <文字数> 個目までの文字を返します。
例	RIGHT ("John Abrahams", 4) => hams

この関数を使用して、フィールドの内容を分離し、人物名の一部を使用した一意のコードを作成できます。

## RTRIM

構文	RTRIM(文字列)
説明	<文字列> から、末尾のスペース、タブ、および改行文字を削除します。
例	RTRIM ("John ") => John

この関数は、変数と組み合わせられた余分なスペース（単語の右端の）を削除します。この関数は、たとえば、データベースに定義済みの文字数が設定されたデータベース フィールドがある場合、または、データベース フィールドが空のままの場合に使用できます。

## TEXT\_FILE

(Windows の場合のみ)

TEXT\_FILE 関数を使用すると、段落や文字の本文などの可変的なテキスト ブロックの作成が簡単になります。.RTF (リッチ テキスト フォーマット) および .TXT ファイルを読み込む機能により、テキスト文字列を式の論理式にコピー ペーストする必要がありません。

構文	TEXT_FILE(文字列)
説明	TXT または RTF ファイルの<文字列> の内容を返します。
例	TEXT_FILE("TEST.TXT")

作成した PrintShop Mail 書類への .rtf 形式または .txt 形式の変数（外部）テキスト ファイルのリンクに使用できます。

## TODAY

構文	TODAY()
説明	[プロパティ パネル] の [分類/日付] で指定された日付フォーマットに合わせ、現在の日付が返されます。
例	TODAY() => 10/01/2001

この関数は引数を受け取りません。現在のシステム日付を返します（現在のレコード印刷時間）。

日付フォーマットは、地域設定で定義されたプリファレンスで決まります。

## TRIM

構文	TRIM(文字列)
説明	<文字列> から、先頭および末尾のスペース、タブ、および改行文字を削除します。
例	TRIM (" John Abrahams ") => John Abrahams

この関数は、変数と組み合わされた余分なスペースを削除します (たとえば、データベースに定義済みの文字数が設定されたデータベース フィールドがある場合、または、データベース フィールドが空のままになっている場合に使用します)。

TRIM は、選択されたデータベース フィールドにある語の左右のすべての余分なスペースを削除します。

## UPPER

構文	UPPER(文字列)
説明	<文字列> のすべての文字を大文字に変換します。
例	UPPER ("John Abrahams") => JOHN ABRAHAMS

この関数を使用して、選択されたデータベース フィールドを大文字で印刷できます。

宛名を大文字で表記すべき郵便物を作成する場合、データベースの小文字で入力された名前もUPPER で変換できます。



## Macintosh ショートカット

Mac OS のショートカットの概要

Macintosh のショートカット キーは次のとおりです。

- [PrintShop Mail] メニュー

メニュー	アクション
プリファレンス	コマンド
PrintShop Mail の非表示	コマンド キー + H
その他の非表示	Alt キー+ コマンド キー + H
PrintShop Mail の終了	コマンド キー + Q

- [ファイル] メニュー

メニュー	アクション
新規作成	コマンド キー + N
開く	コマンド キー + O
閉じる	コマンド キー + W
保存	コマンド キー + S
名前を付けて保存	Shift キー + コマンド キー + S
ページ設定	Shift キー + コマンド キー + P
印刷	コマンド キー + P
レコードを印刷する	Alt キー + Shift キー + コマンド キー + P
レポート ページの印刷	Alt キー + コマンド キー + P

- [編集] メニュー

メニュー	アクション
元に戻す	コマンド キー + Z
やり直し	Shift キー + コマンド キー + Z
切り取り	コマンド キー + X
コピー	コマンド キー + C
貼り付け	コマンド キー + V
すべて選択	コマンド キー + A

- [挿入] メニュー

メニュー	アクション
画像ファイル	Shift キー + コマンド キー + E
バリアブル テキスト	Shift キー + コマンド キー + T
バリアブル画像	Shift キー + コマンド キー + G

- [アイテム] メニュー

メニュー	アクション
位置をロックする	コマンド キー + Return キー
位置のロックを解除する	Shift キー + コマンド キー + L
オブジェクト プロパティの表示	コマンド キー + Return キー

- [テキスト] メニュー

メニュー	アクション
フォントの表示	コマンド キー + T
フォントをコピーする	Alt キー+ コマンド キー + C
フォントを貼り付ける	Alt キー + コマンド キー + V
太字	コマンド キー + B
斜体	コマンド キー + I
下線	コマンド キー + U
タブラーラーをコピーする	コマンド キー + 8
タブラーラーを貼り付ける	コマンド キー + 9

- [レイアウト] メニュー

メニュー	アクション
ジャンプ	コマンド キー + J

• [データベース] メニュー

メニュー	アクション
開く	Alt キー+ コマンド キー + O
閉じる	Alt キー+ コマンド キー + C
先頭レコード	Alt キー + ↑
次レコード	コマンド キー + →
前レコード	コマンド キー + ←
最終レコード	Alt キー + ↓

• [ビュー] メニュー

メニュー	アクション
ツールバー	Alt キー + コマンド キー + T
プレビュー	コマンド キー + Y
レイアウト定規	Alt キー + コマンド キー + R
拡大	コマンド キー ++
縮小	コマンド キー +-

• [ウィンドウ] メニュー

メニュー	アクション
最小化	コマンド キー + M
データベースの表示	コマンド キー + 1
パリアブルの表示	コマンド キー + 2
レイアウト条件の表示	コマンド キー + 3
フォントの表示	コマンド キー + 4
書類レイアウトの表示	コマンド キー + 5
警告の表示	コマンド キー + 6

• [ヘルプ] メニュー

メニュー	アクション
PrintShop Mail ヘルプ	コマンド キー + ?



## Windows のショートカット

Windows のショートカットの概要

Windows のショートカット キーは次のとおりです。

### • [ファイル] メニュー

メニュー	アクション
ブランクベース	Ctrl キー + N
PDF ベース	Ctrl キー + Shift キー + N
開く	Ctrl キー + O
閉じる	Ctrl キー + F4
保存	Ctrl キー + S
名前を付けて保存	Shift キー + Ctrl キー + P
印刷	Ctrl キー + P
レコードを印刷する	Alt キー + Shift キー + Ctrl キー + P
終了	Ctrl キー + Q

### • [編集] メニュー

メニュー	アクション
元に戻す	Ctrl キー + Z
やり直し	Ctrl キー + Y
切り取り	Ctrl キー + X
コピー	Ctrl キー + C
貼り付け	Ctrl キー + V
削除	Del キー
すべて選択	Ctrl キー + A
プリファレンス	Ctrl キー + K

### • [ビュー] メニュー

メニュー	アクション
プレビュー	F2
拡大	Ctrl キー + +
縮小	Ctrl キー + -
原寸大	Ctrl キー + Alt キー + 0
レイアウト全体	Ctrl キー + 0
定規	Ctrl キー + R
オブジェクトの境界線	Ctrl キー + H

### • [挿入] メニュー

メニュー	アクション
PDF	Ctrl キー + Alt キー + W
画像ファイル	Ctrl キー + Alt キー + E
バリアブル テキスト	Ctrl キー + Alt キー + T
画像ボックス	Ctrl キー + Alt キー + G

### • [テキスト] メニュー

メニュー	アクション
斜体	Ctrl キー + I
太字	Ctrl キー + B
下線	Ctrl キー + U

### • [データベース] メニュー

メニュー	アクション
開く	Ctrl キー + D
閉じる	Ctrl キー + Shift キー + D
先頭レコード	Alt キー + ↑
前レコード	Alt キー + <-
次レコード	Alt キー + ->
最終レコード	Alt キー + ↓

- [ウィンドウ] メニュー

メニュー	アクション
レイアウト	Ctrl キー +1
バリアブル	Ctrl キー +2
データベース	Ctrl キー +3
警告	Ctrl キー +4

- [ヘルプ] メニュー

メニュー	アクション
ヘルプ トピック	F1



# 使用許諾契約

PrintShop Mail ユーザー ガイド

## PrintShop Mail エンド ユーザー使用許諾契約 ユーザーへの通知

本文書は約款です。お客様は、本ソフトウェアをインストールすることにより本契約のすべての条項に同意したものとみなされます。

本 Atlas Software BV 社 (以下「アトラス社」) エンド ユーザー使用許諾契約は、Atlas PrintShop Mail 製品および関連解説資料 (以下「本ソフトウェア」) に付属しています。「本ソフトウェア」という語は、アトラス社よりお客様に使用許諾された本ソフトウェアのアップグレード、修正バージョン、またはアップデートも含まれます。次の使用許諾契約をよくお読みください。本使用許諾契約に同意されたお客様には、本ソフトウェアの使用について非排他的ライセンスを許諾いたします。

### 1. 本ソフトウェアの用途

・本ソフトウェアは、ハードディスクまたはその他の装置にインストールするものです。ネットワークで使用するファイルサーバに本ソフトウェアをインストール後の用途は、次を目的とします。

(i) ハードディスクまたはその他の装置への永続的なインストール

(ii) それらのネットワーク上での本ソフトウェアの使用、および本ソフトウェアのバックアップ用コピー作成

・本ソフトウェアは、各コピーに本契約、PrintShop Mail インストーラ、および本ソフトウェア内で言及されるものと同一の本ソフトウェア著作権表示およびその他の所有権表示を含めることを条件として、商業目的を含め無制限にコピーおよび配布することができます。インターネットまたは類似のオンライン ソースから本ソフトウェアをダウンロードする場合は、本ソフトウェアを含むすべてのオンライン配布およびあらゆる媒体による配布に、本ソフトウェアについてのアトラス社の著作権表示を含めることが義務付けられます。

### 2. 著作権および商標権

本ソフトウェアはアトラス社およびそのサプライヤが所有権を有し、その構造、編成、およびコードは、アトラス社およびそのサプライヤの企業機密に属します。本ソフトウェアはまた、オランダ著作権法によって保護されています。商標は、本使用許諾契約の第 1 条に適合する範囲において、商標所有者名の明記を含めた一般的な商標慣行に従って使用することができます。商標の使用は、その使用者に当該商標の所有権を与えるものではありません。上記のほかは、本使用許諾契約により本ソフトウェアの知的財産権がユーザーに与えられることはありません。

### 3. Restrictions.

ユーザーは、本ソフトウェアの修正、適応、翻訳、リバース エンジニアリング、デコンパイル、分解、またはその他のソース コード特定の試みを行わないことに同意します。インストーラ・プログラムの修正および本ソフトウェアの新規インストーラの作成はいかなる形でも禁止されています。本ソフトウェアは、最適化された印刷ジョブを創出するためにアトラス社により使用許諾および配布されています。

### 4. 保証の排除

本ソフトウェアは「現状のまま」で提供されているものであり、アトラス社はその用途またはパフォーマンスについて一切保証いたしません。アトラス社およびそのサプライヤは、本ソフトウェアまたはそのマニュアルの使用により生じるいかなるパフォーマンスまたは結果に対しても、いかなる保証もいたしません。アトラス社およびそのサプライヤは、明示的、黙示的を問わず、第三者の権利の不侵害、商品性、または特定目的に対する適合性に対していかなる保証もいたしません。いかなる場合も、アトラス社またはそのサプライヤは、ユーザーが被ったあらゆる遺失利益または貯蓄の損失を含めたいかなる間接損害、偶発損害、または特別損害に対しても補償義務を負うものではありません。また、アトラス社側が上記損害が発生する可能性について認識していた場合にも、また、いかなる第三者からの請求に対しても、同様とします。

州または管轄によっては、偶発損害、間接損害、および特別損害に対する補償の排除および制限を認めていない場合があります。また、黙示的保証の排除およびかかる保証の継続期間の制限を認めていない場合もあります。したがって、上記の制限事項が適用されない場合もあります。

### 5. 準拠法および一般条項

本契約はオランダ法に準拠します。ただし、その法の不一致による規則の適用は除外されます。本契約は、国際物品売買契約に関する国連条約には準拠しません。その適用は明示的に排除されています。本契約の一部が無効であり履行不可能とされる場合、本契約の残る部分の有効性は損なわれないものとし、以降も有効かつ各条項に従って履行可能なものとし、ユーザーは、本ソフトウェアが輸出法、規則、および条例の下で禁止されているいかなる国にも輸出しないこと、また、いかなる形でもそれらに反して使用しないことに同意します。本契約は、ユーザーがその条項に違反した場合は、自動的に終了します。本契約は、アトラス社の権限ある役員の署名の付された書面によってのみ変更することができます。

Atlas Software B.V.

Daltonstraat 42-44

3846 BX Harderwijk

オランダ

PrintShop Mail は、Atlas Software BV社の商標です。



## 用語集

### APR

自動画像交換機能低解像度の画像を自動的に高解像度の画像に交換します。

### CMS

カラー管理システム。このソフトウェアにより、アプリケーションおよびプリンタ ドライバは、モニター、プリンタおよびスキャナの色の特性に関する情報にアクセスできます。カラー情報を使用し、正確で整合性のとれた色を出力側に供給します。

### 裁ちトンボ

ページ サイズに合った用紙カット位置を印刷または描きラインで示します。刷版を通過する用紙は、通常、仕上がりがページ サイズより大きいので、裁ちトンボはオフセット印刷には欠かせません。

### データベース

レコード単位で分類された情報を保存するファイル。レコードは、実際の情報を保持するフィールドで構成されます。

### DDE

動的データ交換機能。2つのアプリケーション間で相互に情報を交換できます。PrintShop Mailは、クライアント アプリケーションからコマンドを受け取ると、DDE サーバとして動作します。

### ダイレクト デジタル印刷

業務用印刷機能。電子ソース ファイルを、フィルム画像設定またはプレート作成の様なアナログ印刷ではなく、刷版または印刷システムで直接処理します。ダイレクト デジタル印刷システムは、リソグラフィック オフセット技術またはレーザー / トナー技術に基づいています。フロント エンド RIP およびサーバは、これらの印刷システムに関連したコンポーネントです。

### 分散印刷

オペレータのワークステーションから遠い位置にあるプリンタ（画像セッタまたはダイレクト デジタル 版）に直接印刷します。単一ジョブに対して複数の受信先を設定できます。オンデマンドおよび短時間印刷とも連動しています。

### DPI

インチあたりのドット数。デバイスの解像度単位。数字が大きくなるほど、タイプと画像がシャープになります。

### EPS

カプセル化ポストスクリプト様々な環境下でポストスクリプト &#xAE; 言語ファイルをインポート / エクスポートするための標準ファイル フォーマットです。

### 面付け

印刷、折り畳み、バインディング後、各ページが適切な順序で配列される様に、刷版の準備段階で各ページを調整します。

### インタープリター

Adobe ポストスクリプト ラスター画像プロセッサ (RIP)。プリンタ ドライバから送信されたポストスクリプト言語ファイル内の各命令を翻訳します。

### アイテム

画像ボックス、テキスト ボックスなど、レイアウトを構成するオブジェクト。

### カーネル

2文字間を通常より詰めて設定し、2文字間のスペースを調整します。

### レイアウト条件の設定

データベース情報に従って、ページ印刷を指定します。

### 先頭ゼロの表示

2つのベースライン間にあるテキストのラインによって生じたスペースの長さを示します。先頭ゼロ値には、フォント サイズ プラス ライン間のスペースが含まれています。

### オフセット印刷

今日、最も普及している印刷技術です。オフセット印刷は、ページ上のインク層を利用します。各層毎に、ページの反転画像を刷版のローラーにのせます。版を移動中、ローラーが用紙に押し付けられ、正確な画像が用紙の左側に設定される様に、ローラー上の非画像領域にインクを塗布します。

### オンデマンド印刷

業務用印刷機能。2 - 3時間以内で納品できます。部数が多くても、少なくとも短時間で処理します。新規デバイスである直接デジタル印刷システムは、通常、オンデマンド印刷と連動しています。

### OPI

オープン プリプレス インターフェイス。電子ページ レイアウト上の画像位置を定義、指定するためのポストスクリプト言語コメントのセットです。

### 用紙トレイ

媒体のサイズまたは色の異なるプリンタの物理トレイ。

### PDF

ポータブル ドキュメント フォーマット

### 画素

コンピュータ画面上で作成できる最小ドット。

### ポイント

基準印刷単位。1ポイントは、1インチの1/72に相当します。

### ポストスクリプト

Adobe ポストスクリプトは、印刷および画像処理の世界標準規格です。本技術は、出力デバイスおよびワークフローによる統合、最適化に関して、OEM パートナーに認可されています。

**プリプレス**

刷版の最終印刷準備として、デザインを最終フォームに設定するプロセスです。プリプレス工程には、プリフライト、カラー修正、カラー トラッピング、面付け、カラー分離、ブルーフィングおよび画像設定があります。

**印刷技術**

データをプリンタまたは RIP に送信するために使用される「言語」です。

**印刷可能範囲**

ご利用のプリンタで印刷可能な媒体の範囲。

**プリンタ ドライバ**

アプリケーション間の通信リンクとして動作し、プリンタのページ詳細言語としても動作するソフトウェア。

**RIP**

ラスター画像プロセッサ。データをポストスクリプトまたは他の高水準言語からプリンタのドットまたは画素に翻訳するハードウェアまたはソフトウェアです。

**スタティック テキスト**

バリエーション情報が含まれていないテキストです。データベースを参照する場合も変わりません。

**サブセットのフィニッシング**

同じレコードのページすべてにフィニッシング オプション（ステープリングまたはバインディング）を適用するプロセスです。

**TrueType フォント**

Windows および Macintosh ソフトウェア用に使用される拡張可能な書体です。

**タイプ 1 (ポストスクリプト) フォント**

Adobe の業界標準アウトライン フォント技術です。シャープでクリアな画像を保持しながら、任意のサイズに拡張できます。20,000 以上のタイプ 1 書体が、世界各地のベンダーから利用できます。